

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(1) 投入の実績

一評価設問：投入は計画どおり実施されたか（計画値との比較）

情報源：プロジェクト資料、専門家及びカウンタパートナーインタビュー、現場目視

備考：換算レート Fefal.00=Japanese yen 0.21290 (2005年11月1日 BCAO-XOF 2005) を使用

投入項目	投入計画 (R/D 及び PDM による)	投入実績 (2005年11月現在。一部2006年1月末までに実施することが確定している予定を含む)	情報源 (データ収集法)
日本側の投入			
1. 専門家派遣	<p>総括／啓蒙一普及（行政）</p> <p>給水施設</p> <p>副総括／住民組織化</p> <p>水資源、</p> <p>村落開発1（営農）</p> <p>社会／ジェンダー配慮、</p> <p>啓蒙一普及2（住民）</p> <p>村落開発2（放牧畜）</p> <p>フオローアップ／標準マニユアル</p> <p>合計</p>	<p>石井信行 第1年次：1回（45日）、第2年次：2回（315日）、第3年次：2回（309日）、第4年次：2回（234日）。計：7回（903日）</p> <p>吉川淳 第1年次：1回（30日）、第2年次：3回（195日）、第3年次：1回（150日）、第4年次：1回（60日）。計：6回（465日）</p> <p>深井善雄 第1年次：1回（35日）、第2年次：3回（165日）、第3年次：2回（180日）、第4年次：2回（60日）。計：8回（440日）</p> <p>永沼俊道 第2年次：2回（120日）、第3年次：1回（60日）、第4年次：1回（45日）。計：4回（225日）</p> <p>井上茂 第2年次：1回（60日）、第3年次：1回（60日）、第4年次：1回（55日）。計：3回（300日）</p> <p>浜岡真紀 第2年次：1回（105日）、第3年次：1回（75日）、第4年次：1回（120日）。計：2回（175日）</p> <p>後藤雅哉 第1年次：1回（30日）、第2年次：3回（125日）、第3年次：2回（225日）、第4年次：2回（150日）。計：8回（630日）</p> <p>折田岩美 第2年次：1回（75日）、第3年次：2回（135日）、第4年次：2回（105日）。計：5回（315日）</p> <p>翠川清子 第4年次：1回（45日）。計：1回（45日）</p>	<p>プロジェクト資料 F-61</p>
		<p>9名、45trips, 3,498man-days (116.6M/M)</p> <p>本プロジェクトにおいては進捗状況にあわせ、毎年 PDM の見直しが行われている。上記のうち社会ジェンダー配慮、村落開発2（放牧畜）及びフオローアップ／標準マニユアル専門家は R/D には無かったものであるが、当初計画には「その他」という記載があり、必要にあわせこの3名が投入された。またこの3名以外の専門家の赴任時期及び期間についても実情にあわせた見直しが行われているが全体としては当初計画の枠内での実情に沿った微調整といえる。</p>	

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(1) 投入の実績

投入項目	投入計画 (R/D 及び PDM による)	投入実績 (2005年11月現在。一部2006年1月末までに実施することが確定している予定を含む)	情報源 (データ収集法)
2. 機材供与	<ul style="list-style-type: none"> - 巡回指導のための車両、バイク - 維持管理部門整備用諸機材 - 水質/水量検査用機材 - データ整理用機器 (PC、ファックス、コピー機、プロジェクターなど) 	<p>第1年次 乗用車2, ピックアップ2, パソコン12, 啓蒙用器材 (マイク, スピーカー, 発電機等) 計 Fcfa64,371,200 (約13,705千円)</p> <p>第2年次 井戸維持管理技術移転機材 21,282千円, 車両 2 その他 (水道メーター, ビデオ関連機材, 養鶏餌製造器, コピー機等) Fcfa126,458,743 (約26,923千円)</p> <p>第3年次 水道メーター Fcfa13,821,330 (約 2,943千円)</p> <p>3年間計 Fcfa204,651,273 (約43,570千円) プラス 21,282千円。合計約64,852千円 全体としては計画通りの投入であった。</p>	プロジェクト資料 F-62
3. 施設整備	<ul style="list-style-type: none"> - 農業・水利省維持管理局内に設置するプロジェクト本部事務所整備 - ルガ維持管理本部における研修施設整備 - タンバクダ維持管理本部における研修施設整備 - カオラック維持管理本部における研修施設整備 	<p>農業・水利省維持管理局内の二部屋を改造 (間仕切り変更) し、プロジェクト本部事務所とする工事はセネガル側により実施され、日本側の投入はなかった。</p> <p>平成15年度 (第2年次) : 実績ルガ維持管理本部オペレータ研修施設整備 (改修) ¥862,3000</p> <p>平成16年度 (第3年次) : 実績タンバクダ維持管理本部オペレータ研修施設整備 (新設) ¥24,706,280</p> <p>平成17年度 (第4年次) : 予算カオラック維持管理本部オペレータ研修施設整備 (新設) ¥24,003,200</p>	プロジェクト資料 F-64 現場目視
4. カウンターパート本邦研修	<ul style="list-style-type: none"> - 合計 - 必要に応じ2~3人/年 	<p>¥57,232,480</p> <p>第2年次 : 3名 69M/D Masse NIANG 16days, Aminata Sow GUEYE 30days, Ndiame DIOP 23days 第3年次 : 3名 73M/D M. Mousa DIOP 23days M. Mamadou SAMB 27days, M. Mamadou SARR 23days 第4年次 2名 50M/D M. Mamadou GASSAMA 23 days, M. Amadou SALL 27 days, 合計 8名 165M/D (5.5M/M) 各カウンターパートの研修科目については別添報告 No. F-65 参照 計画通りに実施された。</p>	プロジェクト資料 F-65

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(1) 投入の実績

投入項目	投入計画 (R/D 及び PDM による)	投入実績 (2005 年 11 月現在。一部 2006 年 1 月末までに実施することが確定している予定を含む)	情報源 (データ収集法) プロジェクト資料 F-63
5. 現地運営費		<p>2003.1-2003.3 実績 6,223 千円</p> <p>2003.4-2004.3 実績 12,517 千円</p> <p>2004.4-2005.3 実績 15,586 千円</p> <p>2005.3-2006.1 予算 19,067 千円</p> <p>計 53,395 千円</p> <p>内訳 (千円)</p> <p>備人費 (ベースライン調査、インパクト調査、保健衛生等の再委託業務を含む) 12,975 車両借上費 2,438 貸与車両関連費 2,441 旅費-交通費 6,565 通信費 1,771 資機材購入費 7,960 機材保守管理費 2,141 資料等作成費 1,501 セミナー開催費-現地研修費 10,961 国内活動費 64 消耗品費 4,030 水質分析費 115 現地広報費 93 外貨交換手数料 4,886 金額、支出時期とも適切であり、プロジェクト活動の円滑な実施に貢献している。</p> <p>派遣専門家の内容等当初計画から見れば若干の微修正がなされているが、これらの修正内容も含め、全体として日本側の投入は計画通り適切に実施されプロジェクト活動に有効に活用されている。</p>	
日本側投入全般			
セネガル側投入			
1. 人材、C/P	<p>1. PM/啓蒙普及 (行政)</p> <p>2. 給水施設</p> <p>3. 住民組織化</p> <p>4. 啓蒙普及 (住民)</p> <p>5. 社会/ジェンダー配慮</p> <p>6. 水資源</p> <p>7. 村落開発 (営農)</p> <p>8. 村落開発 (放牧畜)</p>	<p>M. Masse NIANG 第 1 年次より継続。</p> <p>セネガル北部 M. Ndiame DIOP 第 1 年次より継続。2005.09 M. Ibrahim Nbaye (元リンゲール BPF 長) に交代</p> <p>セネガル中部 M. Mamadou GASSAMA 第 3 年次後期より継続。</p> <p>セネガル南部 M. Moussa DIOP 第 3 年次前期より継続。2005.09 M. Pape Bakhom (前グデリ BPF 長) に交代</p> <p>セネガル北部 M. Mamadou SAMB 第 3 年次前期より継続。2005.11 M. Mamadou Gassama (前カオラック SM 長) に交代</p> <p>セネガル南部 M. Amadou SALL 第 3 年次前期より継続。2005.11 M. Moussa DIOP (前中部給水担当 C/P) に交代</p> <p>Mme. Aminata Sow GUEYE 第 2 年次前期より継続。</p> <p>Mme. Aminata Sow GUEYE (啓蒙普及・住民兼務) 第 2 年次前期より継続。</p> <p>M. Mamadou SARR 第 2 年次前期より継続。</p> <p>M. Ousmane LY 第 2 年次後期より継続。</p> <p>M. Abdou Wakhab NDIAYE 第 4 年次前期より新規。</p> <p>M. Moustapha Thiam 第 2 年次後期より継続。</p>	

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(1) 投入の実績

投入項目	投入計画 (R/D 及び PDM による)	投入実績 (2005 年 11 月現在。一部 2006 年 1 月末までに実施することが確定している予定を含む)	情報源 (データ収集法)
1. 人材、C/P	その他	専門家と協働でプロジェクト活動をを行い、技術移転を受けるカウンタートパートは上記 12 名であるが、本プロジェクトでは実施機関 (DEM) の地方組織である維持管理センター (BPF) のスタッフについても準カウンタートパートとして位置づけている。なお、2005 年 8 月全国 15 箇所の BPF 長の配置転換が実施され、また 2005 年 10 月にカオラック維持管理本部長の Mr.Mamadou がルガ維持管理本部長転勤となり、カオラック及びタンバクダの維持管理本部長の維持管理本部長には新任者が新たに任命された。なお、転任者については新たな勤務地で本プロジェクトでの経験を生かして ASUFOR 啓蒙・普及活動に従事することになる。	
2. 施設	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室 研修施設 	<p>農業・水利省維持管理局内の二部屋を改造 (間仕切り変更) し、プロジェクト本部事務所とする工事はセネガル側により実施され、プロジェクト執務室として提供された。</p> <p>ダカールではセミナーや合同調整委員会を開催し、ルガやタンバクダ等の地方部で研修を実施したが、行政側にはこれらの活動に適した研修施設がないため、プロジェクト側の予算でそれぞれの開催地で会場の借上げを行った。</p> <p>村落での活動に必要な協議及び準備を行う拠点として、当該村落を管轄する維持管理センター (BPF) や維持管理本部 (SM) の事務所が使用された。</p>	現場目視
3. 運営経費 - オペレータ及び水管理委員に対する研修開催費 - 電気、水、電話設備などのプロジェクト運営費 - 執務に必要な備品	村落でのプロジェクト活動拠点	DEM の年間予算はプロジェクト期間中毎年年間 550 百万 CFA フラン (約 117 百万円) とコンスタントに横ばいとなっている。このうちいくらかがプロジェクトに使用されたかは明確な仕分けがない。土地、建物、共益費 (電気・水等) や人件費といった固定経費は DEM 本部経費として管理されている。研修会開催に伴う経費 (旅費・交通費を含む)、電話代、備品購入等の活動経費は他のプロジェクトでもプロジェクト期間中はドナー側が負担してくれており、原則としてセネガル側の負担はない。	C/P インタビュー

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

評価設問：各活動は計画通り順調に実施されたか。

情報源：プロジェクト資料、専門家及びカウンタートパーインタビュー

活動項目	活動期間	活動実績
活動総括	第1年次 (2003.1-2003.3)	第1年次では、プロジェクトの立ち上げとASUFOR啓蒙普及、給水施設維持管理システム構築のための活動の準備作業が行われた。 第1年次で開催したキックオフセミナー及び合同調整委員会において、関係諸機関より本プロジェクトに関する理解と認識が得られ、第2年次以降のプロジェクト活動での連携に関する確認も行われた。
	第2年次前半 (2003.4-2003.9)	本プロジェクトでは、第1年次(2003年1月-2003年3月)及び第2年次前期(2003年4月-2003年9月)までをフェーズI(普及体制構築期)としており、第2年次前期においては、第1年次に引き続きASUFOR啓蒙普及、給水施設維持管理システム構築、生産活動多様化のための活動の準備作業が行われた。第2年次中間セミナーにおいてASUFOR啓蒙普及及び給水施設維持管理システムの構築に関する基本方針に関する理解と合意を関係諸機関より得た。
	第2年次後半 (2003.10-2004.3)	初年度の準備作業段階をへて2年次から実施活動に入ったことからPDMを実情にマッチさせる必要が生じ、プロジェクトチーム及びカウンタートパー間の認識の統一を目的として、第2年次前期にプロジェクト内でPCMワークショップが開催された。ワークショップは2回(6月23日及び7月2日)に分けて実施され、PDM(Ver.No.PDM1)の改定に関する提案が行われた。第2年次後期以降も、プロジェクトの進捗及び活動結果を踏まえたPDMに関する協議が断続的に行われ、下記の4項目に関するPDM改定案(Ver.No.PDM2)が纏められた。
	第3年次前半 (2004.4-2004.9)	1) 社会/ジェンダーに係わる指標(成果2の指標2-5~2-7)の追加 2) 水利用ガイドラインに係わる指標(成果3の指標3-2)の削除 3) ASUFOR研修に係わる活動(活動2-2)の変更 4) 給水施設オペレータの能力育成に係わる活動(活動2-2)の追加 第3年次においてPCMワークショップ等で再検討されたPDM改訂が提案された。(PDM ₃)
第3年次後半 (2004.10-2005.3)	1) 上位目標1,2の指標及び入手手段(記述内容の追加-改訂) 2) プロジェクト目標の指標及び入手手段(記述内容の改訂) 3) 成果1,4,5の指標及び入手手段(記述位置-内容の改訂) 4) 成果1の指標1-2(記述内容の改訂) 5) 成果2の指標2-7(記述内容の改訂) 上記PDM改定案がPDM ₃ として承認された。	
第4年次前半 (2005.4-2005.9)	PDM(プロジェクト・デザイン・マトリックス)の見直し プロジェクト活動の進捗に伴い、PDMはこれまでの見直し作業によりVol.3が作成されていたが、4年次において下記の追記が行なわれ、最終的なPDM(Vol.4)が確定された。 - 上位目標の指標2-1:水因性疾患率(%)の追記 - 上位目標の指標2-2:初等教育におけるドロップアウト率(%)の追記 - 投入<日本側>JICA専門家>「フォローアップ/標準マニュアル」の追記	

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績	
	第4年次後半 (2005.10-2006.1)	各分野におけるフォローアップ、整理	
プロジェクト全般事項	第1年次 (2003.1-2003.3)	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト実施方針等に関する関係機関への説明及び協議 - 第2年次の各種プロジェクト活動計画の策定 - 第1年次セミナーの開催 - インセンションレポートの作成 	
	第2年次前半 (2003.4-2003.9)	<ul style="list-style-type: none"> - インセンションレポートの説明ー協議 - 他のドナーによる関連プロジェクトとの連携準備 - プロジェクト広報用ホームページの作成及び公開 - 社会エンターテインメントの開催 - PCMワークショップの開催、PDM改訂 (PDM₂) - 第2年次中間報告セミナーの開催 - 合同調整委員会の開催 - プロGRESSレポート1の作成 	
	第2年次後半 (2003.10-2004.3)	<ul style="list-style-type: none"> - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - 第2年次活動報告セミナー/同調整委員会の開催 	
	第3年次前半 (2004.4-2004.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - PCMワークショップ - タンバクンダ地方キックオフセミナー - 第3年次中間報告セミナー/同調整委員会の開催 - プロGRESSレポート2の作成 	
	第3年次後半 (2004.10-2005.3)	<ul style="list-style-type: none"> - サイト別施設維持管理用積立金目標額の算定 - 民間維持業者との契約準備 - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - 地方給水の改革に関するドナー会合の開催 - 第3年次中間報告セミナー/合同調整委員会の開催 	
	第4年次 (2005.4-2006.1)	<ul style="list-style-type: none"> - 民間維持業者との契約準備 - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - サイト活動視察 (Moukh-Moukh) - 合同調整委員会の開催 - プロジェクトファイナルセミナーの開催 	
	第2年次 (2003.4-2004.3)	<ul style="list-style-type: none"> - 広報ボスターの作成・配布 (対象村落・関係諸機関) - 広報用展示ボードの設置 (プロジェクト紹介・活動写真) - ホームページ「PEPTAC」www.peptac.jp の開設 (一般公開：7月25日) - ホームページ「PEPTAC」広報カード (カレンダー付) の作成・配布 - 広報用卓上カレンダーの作成・配布 (第2年次活動報告セミナー) 	
	広報活動		

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績
	第3年次 (2004.4-2005.3)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR啓蒙普及活動に関するラジオ放送 (タンバンクンダ地域) - PEPTACロゴ入りTシャツの作成-配布 (対象村落-啓蒙普及チーム) - 広報ポスターの作成-配布 (対象村落-関係諸機関) - ホームページの改訂 - RTS (セネガル国営放送) 取材対応
	第4年次前半 (2005.4-2005.9)	<ul style="list-style-type: none"> - PEPTAC活動のリフレットを作成し、Moukh-Moukhサイト視察の参加者へプロジェクト概要資料と共に配布した。 - 農業・水利省の広報誌である“Nouvelle Agriculture”の2005年4月号に、「セネガル-日本の協力の新たな様相」と題してPEPTACが掲載され、プロジェクト目標・成果、ASUFOR啓蒙普及活動、水道メーターの設置に関する活動、Taiba NdoayeやMoukh-Moukhにおける生産活動多様化実証活動等の概要が紹介されている。
<p>活動1.「成果1. 行政、村落住民及び民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。」を実現するための活動</p> <p>1-1 行政、村落住民及び民間業者の給水施設維持管理に関する役割分担を明確にし、各々がその内容を理解する。</p> <p>1-2 給水施設の補修-改修-拡充システムを構築する (給水施設現況調査、資機材調査、関連データベース整備等)</p> <p>1-3 ASUFOR普及サイトを選定する。</p> <p>1-4 行政による啓蒙普及体制 (活動の評価-モニタリングを含む) を確立する。</p> <p>1-5 給水施設オペレータの能力を育成する。</p>	<p>第1年次 (2003.1-2003.3)</p> <p>第2年次前半 (2003.4-2003.9)</p> <p>第2年次後半 (2003.10-2004.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 行政、村落住民及び民間業者の連携による給水施設維持管理システム構築の準備作業 - 給水調査現況調査及び社会状況調査 - ASUFOR 普及サイトの選定 (G1) - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - ASUFOR 普及サイトの選定 (G2) - ルカ維持管理本部内の施設オペレータ研修室の改修工事 - ルカ周辺地域における維持管理業務可能な民間業者に関する調査 - 給水施設維持管理業務をレベルI、II、III (小、中、大規模)の3段階に分けて民間業者の導入・業務移管を行うことを提案 - 施設オペレータ研修用テキスト (7教科) の作成 - 施設オペレータ業務マニュアルの作成 - カオラック及びタンバンクンダ周辺地域における民間業者に関する調査 - 維持管理本部 (カオラック、タンバンクンダ) オペレータ研修施設整備に関する計画策定 - 同上オペレータ研修施設設計図書 (図面-仕様書) 及び積算書の作成
<p>1-5-1 全国3箇所の維持管理本部研修施設の整備を行う。</p> <p>1-5-2 オペレータの業務マニュアルを作成する。</p> <p>1-5-3 対象サイトのオペレータに対するトレーニングを実施する。</p>	<p>第3年次前半 (2004.4-2004.9)</p> <p>第3年次後半 (2004.10-2005.3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催 - ASUFOR啓蒙普及活動の実施 (対象サイトグループ3-2: 6サイト) - 契約候補民間業者の検討及びASUFOR側の契約受入準備の推進 (対象サイトグループ1, 2) - ASUFOR フォローアップ (対象サイトグループ1, 2, 3-1) - モニタリング手法の確立-体制構築 - 掲示板設置 (対象サイトグループ2, 3) - 施設オペレータの再訓練 - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催

付属資料 6-1 評価グリップド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績
	第4年次前半 (2005.4-2005.9)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR ライセンス取得推進を行い、維持管理業務民間委託契約受入体制の確立を進めた。 - 施設オペレーター再トレーニング (オンサイト/タンパンクンダ) - 維持管理本部オペレーター研修施設整備 (カオラック) - 給水施設維持管理システム構築に関する連絡協議会の開催
	第4年次後半 (2005.10-2006.1)	<ul style="list-style-type: none"> - 各分野におけるアローアップ、整理 <p>註記：2005年7月のDEM側の意向表明（2007年7月までの維持管理業からの撤退を目指し、①民間業者の認証に関するクライテリアの整備、②給水施設維持管理業者選定の入札制度の整備）を受けて、本プロジェクトでは、①のクライテリアの一般化、及び②の入札制度の整備に優先順位を置いて、DEMと協議を継続した。</p>
<p>活動2「成果2. 水管理委員会が適正に運営される。」を実現するための活動 (ASUFOR 啓蒙普及活動)</p> <p>2-1 各村落における水管理委員会の現状を調査する。</p> <p>2-2 15箇所の維持管理センター職員等から選定された普及員候補者に対して、住民参加型水管理組合 (ASUFOR) に関する研修を行う。</p>	第2年次前半 (2003.4-2003.9)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR 啓蒙普及教材等の作成 - 維持管理センター職員等に対する ASUFOR 啓蒙普及員養成研修の実施 - ベースライン調査及び社会エンゲージメント調査実施 - ジェンダー配慮ガイドラインの作成 - 水道メーター設置 (対象サイト：グループ1)
2-3 維持管理局職員が普及対象サイトにASUFORを普及させる。	第2年次後半 (2003.10-2004.3)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR 啓蒙普及活動の実施 (対象サイト：グループ1,2) - ASUFOR 啓蒙普及に関するモニタリング (対象サイト：グループ1,2) - 施設現況調査を実施し、水道メーター設置計画を策定 (対象サイト：グループ2)
2-4 普及対象サイトでの活動を評価する。	第3年次前半 (2004.4-2004.9)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR 啓蒙普及活動の実施 (対象サイトグループ3-1) - ASUFOR 啓蒙普及活動のモニタリング (対象サイト：グループ1,2) - タンパンクンダ、コルダ、ジガンシヨール地域のBPPF職員に対し、啓蒙普及手法の技術研修 - 社会エンゲージメント調査実施 (対象サイト：グループ3) - 水道メーター調査一設置 (対象サイト：グループ3-1) - 施設オペレーター業務マニュアルの作成 - 民間メンテナンスタ業者調査及びデータベース作成 - 維持管理本部オペレーター研修施設整備 業者選定 (契約) 一施工監理
2-5 活動実績をもとに水管理組合に関するセミナーを開催する (第1回～3回)。	第3年次後半 (2004.10-2005.3)	<ul style="list-style-type: none"> - ASUFOR 啓蒙普及活動の実施 (対象サイトグループ3-2) - ASUFOR のモニタリング - 水道メーター調査一設置 (対象サイト：グループ3-2) - 社会・エンゲージメントモニタリング評価調査実施
2-6 水管理委員のマニュアルを作成する。		

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績
活動3.「成果3.水利用ガイドラインに沿った水利用が行われる。」を実現するための活動（水資源関連） 3-1 対象サイトで地下水ポテンシャルを検証する。 3-2 井戸更正に係る維持管理本部スタッフの能力を向上させる。 3-3 対象サイトで地下水モニタリングシステムを強化・構築する。 3-4 電給バランスに基づいた水利用に関するガイドラインを作成する。 3-5 普及対象サイトのオペレータと水管理委員に対し、ガイドラインに沿った水利用について指導する。	第4年次前半 (2005.4-2005.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 対象サイトフォローアップ - 維持管理センターによる独自 ASUFOR 啓蒙普及サイトフォローアップ - 会計役フォローアップ - 社会ジェンダーにかかわるフォローアップ - 社会・ジェンダー調査/調査結果分析（対象サイトグループ3） - 各分野におけるフォローアップ、整理
	第4年次後半 (2005.10-2006.1)	
	第2年次前半 (2003.4-2003.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 対象サイト（グループ1）の地下水ポテンシャルの検証 - 対象サイト（グループ1）の水利用ガイドラインの作成準備 - ルルガ維持管理本部職員に対する井戸更生に係わる井戸カメラ操作指導の実施
	第2年次後半 (2003.10-2004.3)	<ul style="list-style-type: none"> - 地下水ポテンシャルの検証（対象サイト：グループ2） - DGPREに整備されている既存資料・データの収集 - 地下水モニタリング業務マニュアルの作成 - 井戸更生作業マニュアルの作成 - 水利用ガイドラインの作成（対象サイト：グループ1）
	第3年次前半 (2004.4-2004.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 地下水ポテンシャルの検証（対象サイト：グループ3） - 地下水モニタリングシステムに関する解説書の改訂 - 持続的な水利用モデルに関するセミナー開催 - 水利用ガイドラインの作成（対象サイト：グループ2）
	第3年次後半 (2004.10-2005.3)	<ul style="list-style-type: none"> - 水利用ガイドラインの作成及びオペレータ、ASUFORメンンバーへの指導 - 乾期における地下水ポテンシャルの検証 - 地下水ポテンシャルのモニタリングシステム指導に係わる準備作業 - ルルガ維持管理本部における井戸カメラの指導
	第4年次前半 (2005.4-2005.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 水資源モニタリングシステムの強化 - 水利用ガイドラインに即した水利用の指導
	第4年次後半 (2005.10-2006.1)	<ul style="list-style-type: none"> - 各分野におけるフォローアップ、整理
	第1年次 (2003.1-2003.3)	<ul style="list-style-type: none"> - 生産活動多様化実証調査に係わる準備作業 - 生産活動多様化実証サイトの選定
	第2年次前半 (2003.4-2003.9)	<ul style="list-style-type: none"> - 生産活動多様化実証活動の計画策定及び活動準備 - ベースライン調査の実施、住民ニーズの把握

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績
<p>4-2 一部サイトで実施されている世帯収入向上プログラムを評価する。</p> <p>4-3 世帯収入向上プログラムの立案する。</p> <p>4-4 実証サイトで世帯収入向上プログラムの実施する（農地への家畜糞尿の利用、営農、マイクロファイナンス、交流市場、水場の整備、生活排水利用、放牧民休憩所の整備）。</p> <p>4-5 世帯収入向上プログラムのモニタリング－評価を行う。</p> <p>4-6 活動実績をもとに持続的な水利用モデルに関するセミナーを開催する。（第1回～3回）。</p>	<p>第2年次後半 (2003.10-2004.3)</p> <p>第3年次前半 (2004.4-2004.9)</p> <p>第3年次後半 (2004.10-2005.3)</p> <p>第4年次前半 (2005.4-2005.9)</p> <p>第4年次後半(予定) (2005.10-2006.1)</p>	<p>－市場調査</p> <p>－営農事業家計画の立案</p> <p>－営農に関する土壌改良の実施 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－営農用柵の建設 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－営農用点滴灌漑システムの設置 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－営農用給水槽－給水配管の設置 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－養鶏トレーニングの実施 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－養鶏舎の建設 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－養鶏関連産品出荷 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－住民の生産活動への参加状況のモニタリング</p> <p>－堆肥投入－ソルガム播種 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－野菜の試験栽培 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－事務所 (ASUFOR) の建設 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－営農保管庫の建設 (TAIBA NDIAYE)</p> <p>－牛飼育用牛舎の建設 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－養鶏舎の建設－養鶏関連産品出荷 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－飼料作物の栽培試験 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－種牛の購入－飼育－交配 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－野菜の試験栽培 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－養鶏関連産品出荷 (TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH)</p> <p>－飼料作物の栽培試験 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－種牛の飼育 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－乳製品加工研修 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－各種研修マニュアル整備、研修準備</p> <p>－飼料木植林 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－交流市場の活用 (MOUKH MOUKH)</p> <p>－インパクト調査の実施</p> <p>－野菜栽培試験</p> <p>－養鶏関連 (鶏卵は Taiba Ndiaye のみ) : Taiba Ndiaye、Moukh Moukh</p> <p>－飼料作物栽培試験 (試験地: MBEYENE-NEGUE・ギエール湖畔)</p> <p>－種牛の飼育 : Moukh Moukh</p> <p>－飼料作物植林 : Moukh Moukh</p> <p>－交流市場の活用 : Moukh Moukh</p> <p>－各分野におけるフォローアップ、整理</p>

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証

(2) 活動の実績

活動項目	活動期間	活動実績
<p>活動 5. 対象サイト住民の安全な水に係わる衛生慣習が改善される。」を実現するための活動（生活環境向上プログラム）</p> <p>5-1 安全な水に係わる保健衛生に関する村落現況調査を実施する。</p> <p>5-2 安全な水に係わる保健衛生教育対象村落を選定する。</p> <p>5-3 安全な水に係わる保健衛生教育プログラムを策定する。</p> <p>5-4 安全な水に係わる保健衛生教育プログラムを実施する。</p>	<p>第 1 年次 (2003.1-2003.3)</p> <p>第 2 年次前半 (2003.4-2003.9)</p> <p>第 2 年次後半 (2003.10-2004.3)</p> <p>第 3 年次前半 (2004.4-2004.9)</p> <p>第 3 年次後半 (2004.10-2005.3)</p> <p>第 4 年次前半 (2005.4-2005.9)</p> <p>第 4 年次後半(予定) (2005.10-2006.1)</p>	<p>保健衛生教育啓蒙普及教材マニュアル等の作成</p> <p>DEM アニメーターへの保健衛生研修</p> <p>シネバスー衛生教育プログラムの実施（対象サイト：グループ1）</p> <p>車輛給水所周辺の水場整備（果樹）の実施</p> <p>保健衛生教育（対象サイト：グループ3-1）</p> <p>シネバスー衛生教育プログラムの実施（対象サイト：グループ1,2）</p> <p>改良かまど作り（TAIBA NDIAYE、MOUKH MOUKH）</p> <p>保健衛生教育（対象サイト：グループ3-1）</p> <p>インパクト調査の実施</p> <p>衛生教育プログラム（シネバスを含む）の実施（対象サイト：グループ1,2,3）</p> <p>水場の環境整備（対象サイト：グループ2）</p> <p>保健衛生教育</p> <p>シネバス・衛生教育プログラム（上映場所は衛星村落）</p> <p>水場の環境整備</p> <p>各分野におけるフォローアップ、整理</p>
<p>活動状況の総括</p>		<p>活動は特に大きな問題もなく、概ね計画通り順調に実施されている。但し、「成果 1. 行政、村落住民及び民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。」を実現するためには、水管理組合と民間業者との間の維持管理契約が締結される必要がある。そのため活動内容は、PDM 上には明記していないがプロジェクトでは、当該成果を実現するためにプロジェクトでできる範囲内での活動は充分になされている。</p>

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
 (4) プロジェクト目標の達成度

評価設問 (大項目)：成果 (アウトプット) は計画通り産出されたか。(目標値との比較)

中項目 (成果項目)	評価設問		情報源(指 標の入手 手段)	調査結果 (達成度)	達成度*
	小項目 (指標)				
成果 1. 行政、村落住民 及び民間業者 の連携による 給水施設維持 管理システム が構築される。	1-1. 対象サイトで 軽微な故障に 関する維持管 理費が100%水 管理委員会の 積立金から賅 われる。	1-1. 維持管理 記録簿	軽微な故障に関する維持管理費の財源 プロジェクト開始時：修理費を都度住民から徴収するケースや宗教指導者等からの寄付に頼るケースが見られた。 調査時点現状：軽微な故障に関する維持管理費がほぼ100%積立金から賅われているサイト数＝全24サイト 終了時見込み値：軽微な故障に関する維持管理費がほぼ100%積立金から賅われているサイト数＝全24サイト (軽微な故障：配管の漏水、メーターの故障、発電機・ポンプ等の簡易な修理を要する故障等) 本指標の目標値は調査時点までに既に達成されている。	A	
	1-2. 行政側は契約 に基づいた水 管理委員会と 民間業者の役 割に関する監 理を行う。	1-2. 維持管理 記録簿	水管理委員会と民間業者間の契約に関する行政側の行う監理は、プロジェクトにより管理できない外部条件であ り、指標として不適切である。 プロジェクト対象以外のサイトでは、既に100以上のサイトで行政側による監理が行われているので、形式的に は本指標は達成されているといえるが、本プロジェクト対象地域における水管理委員会と民間業者間の契約は、 指標 1-3 に見るように進捗が遅れ、2005年11月に始めて1サイトに始めて1サイトに始めて1サイトに始めて1サイトに 基づいた監理業務はまだ始まっていない。	B	

達成度*：A (75-100%)、B (50-74%)、C (25-49%)、D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(4) プロジェクト目標の達成度

評価設問		情報源(指標の入手手段)	調査結果(達成度)	達成度*
中項目(成果項目)	小項目(指標)			
	1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される。	1-3. 契約書	<p>民間業者との維持管理契約についての第2年次から第4年次までの活動の結果で2005年11月の時点で Mounk Moukh において、民間業者との契約の第1号が達成された。更にプロジェクトの終了までに更に1件成立する可能性が高い。</p> <p>契約成立への制約要因 民間業者との契約締結には、以下の手続きが必要である。</p> <p>① ASUFOR 総会による承認 ② 州政府(内務省傘下)による ASUFOR 活動内容の確認、法人資格の認定証明 ③ 上記証明書を添付したライセンスを DEM に申請し、DEM からライセンス発給を受ける。 ④ ライセンスに基づき業者入札実施・契約締結</p> <p>これに対し、</p> <p>①について、昨年度までの活動で本年雨期前までに15サイトで総会の承認が得られていた。雨期になると農繁期では人が集まらず、総会が開けなかったが11月に入り総会が開催されるようになった。プロジェクト終了までには20サイト(約80%)程度に達すると見られる。</p> <p>②について、DEMは州政府予想以上に時間がかかっているが、実施機関以外の省庁の所管であるため、プロジェクトの努力によって短縮することが困難な部分である。</p> <p>③について、DEMは申請があり次第迅速に対応すると言明している。</p> <p>④について、民間業者にとっても本件はサイト数が少なく、首都から遠くかつ広い地域に散在しているため営業面の魅力が薄く入札を公示しても能力のある大企業が関心を示さないという問題がある。</p> <p>これらの制約要因のうち②④については本プロジェクトの活動及びコントロールできる範囲外の行政システムにおける調達(DEMと内務省の関係)及び民間業者の意志決定に大きく影響されるものであり、PDM上にも外部条件として位置づけるべき要因である。これに対して本プロジェクトはC/PとしてのDEM及びASUFORへの働きかけは上記活動の通り十全に行ってきたと言える。従って、評価の結論としては、第2年次から第4年次までのプロジェクト活動を通じて、1件の契約が成立し、最終的には更に1件の成立が見込まれること、他方上記の制約要因及び外部要因のために未だに十分な達成度に至っていないと判断することから、両者を総合的に判断してBと判定する。</p>	B
	1-4. 対象地域で行政側により、年に1回の割合で水質が検査される	1-4. 水資源検査記録	<p>行政側による水質検査 プロジェクト開始時：行政側(DGPRE)により必ずしも定期的ではないが、水質検査が行われていた。 調査時点現状：全サイトにおいては年1回、2004年には年2回の検査が実施された。2005年には4月に全サイトでの検査が実施され更に1回実施される予定である。 本指標の目標値は調査時点までに既に達成されている。</p>	A

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(4) プロジェクト目標の達成度

評価設問		情報源 (指標の入手手段)	調査結果 (達成度)	達成度*
中項目 (成果項目)	小項目 (指標)			
	1-5. 持続的な水利体制の構築に必要なマニュアル(ドラフト)が作成される。	1-5. 標準マニュアル(ドラフト)	プロジェクトにより個別に作成されたマニュアル(ドラフト)の数 プロジェクト開始時=0 (類似プロジェクト毎にマニュアルが作成されていた) 調査時点現状=15 終了時見込み値=38 本指標の目標値は調査時点までに既に達成されているが、終了時までには更に強固になる見通しである。	A
	成果 1. の総合的達成度		民間業者との契約締結が遅れており、関連する指標の達成度は不十分であるが、遅れの理由がプロジェクトの努力ではどうにもならない要素が大きい。その他の指標は全て目標値に達しており、全体として成果 1 は発現すると見られる。	A
成果 2. 水管理委員会が適正に運営される。	2-1. 対象サイトで従量制により水料金が徴収される。	2-1. 出納台帳	従量制により水料金が徴収されるサイト数 プロジェクト開始時=0 (部分的・短期的な従量制の実施は対象外とした) 調査時点現状=23 (現在) 終了時見込み値=23 対象全サイトにおいて従量制が一旦は実現したが、遊牧地域の Gaoudi Gotti では一度は導入したものの住民の反発が大きく現在従量制を停止している。他のサイトは全て従量制を実施しており、本指標の目標値は達成されると判断される。	A
	2-2. 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる。	2-2. 出納台帳	水料金徴収率が80%以上となったサイト数 プロジェクト開始時=0 調査時点現状=24 終了時見込み値=24 現在全サイトで80%以上となっている。そのうち大多数が100%に極めて近い徴収率を達成している。本指標の目標値は調査時点までに既に達成されている。	A
	2-3. 対象サイトの水管理委員会が銀行口座が開設される。	2-3. 預金通帳	銀行口座が開設されたサイト数 プロジェクト開始時=11 調査時点現状=24 終了時見込み値=24 本指標は調査時点で既に目標を達成している。	A
	2-4. 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が監視される。	2-4. 監査報告書	定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイト数 プロジェクト開始時=1 (Moukh Moukh) 調査時点現状=24 終了時見込み値=24 調査時点では既に全サイトで監査が実施されている。但しうち4サイトでは監査内容が不十分でありプロジェクトでは改善を指導している。	A

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(4) プロジェクト目標の達成度

評価設問		情報源 (指標の入手手段)	調査結果 (達成度)	達成度*
中項目 (成果項目)	小項目 (指標)			
成果3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行われる。	2-5. 全サイトにおいて事務局女性メンバーの割合が少なくとも1/3を占める。	2-5. プロジェクト報告書	事務局女性メンバーの割合が1/3以上を占めるサイト数 プロジェクト開始時=0 調査時点現状=19 全24サイト中19サイト(79%)で目標を達成している。未達成の5サイトにおいてもメンバー9名中4サイトでは2名が、1サイトでは1名が女性であり、本指標は概ね達成に近いといえる。	A
	2-6. 代表委員会メンバーの割合が1/2以上を占めるサイト数	2-6. プロジェクト報告書	代表委員会女性メンバーの割合が1/2以上を占めるサイト数 プロジェクト開始時=0 調査時点現状：女性比率 50%以上 14サイト、40%台 8サイト、30%台1サイト、20%台1サイト 2サイトを除き20サイトで女性比率が40%以上であり、本指標は概ね達成したと言える。	B
	2-7. 選出された事務局、理事会メンバーの各会合出席率が男女とも80%を超える。	2-7. プロジェクト報告書	サイトにより、また開催時により出席率にはバラツキがある。Nguith, Mbayne Thiasde にはほぼ常時100%のところもあるが、他方 Moukh Moukh では2005年中頃までは50%前後で推移していたものが、最近急激に出席率が改善している。全サイトのデータは得られていないがデータが得られたサイトにおいて出席率は男女とも概ね80%を超えている。	A
	成果2の総合的達成度		成果2の各指標は、目標値を達成もしくは概ね達成しており、成果2は発現した。	A
	3-1. 対象サイトで、月1度の割合で井戸の揚水量が検査される。	3-1. 検査記録簿	井戸揚水量検査状況 プロジェクト開始時：従来から揚水量の検査は行われていたが、継続実施が困難なケースが多く、記録も不備であった。 現在ほぼ全てのサイトで毎月検査されている。但し月によって若干のサイトにまだ本部への報告の不備が見られ指導を継続している。	A
	3-2. 対象サイトのオペレーターと水管理委員が、水利用ガイドラインについて説明できる。	3-2. 面接試験	オペレーターと水管理委員は、水利用ガイドラインについて認識している。住民に説明はできる。ただし住民への説明内容については、サイトにより、またガイドラインの項目により大きなバラツキがあり、住民が十分に理解できていない面も見られる。	B

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(4) プロジェクト目標の達成度

評価設問		情報源(指標の入手手段)	調査結果(達成度)	達成度*
中項目(成果項目)	小項目(指標)			
	成果3の総合的達成度		若干のサイトに報告の不備が見られるが、揚水量の検査は行われている。オペレータと水管理委員の、水利用ガイドラインに対する理解度は不十分なサイトがあるが、全体としてはガイドラインに沿った水利用が行われている。成果3は達成している。	A
成果4. 実証サイトにおける生産活動が多様化する。	4-1. 水管理委員会事務局が生産活動への資金援助を行う。 4-2. 生産活動多様化プログラムに参加している営農一放牧畜グループ住民の収入が向上する	4-1. プロジェクト報告書 4-2. プロジェクト報告書	ASUFOR による資金投入実績(種子、肥料、農薬)(1,000CFAフラン) Taiba Ndiaye 第1回 38 (14%), 第2回 184 (65%) Moukh Moukh 第1回 0, 第2回 8 (9%), 第3回 73 (41%) 両サイトともすでに2回実施されている。返済は収穫時になされている。 過去2年間の生産活動の収益状況は以下の通りである。(単位 1000 CFA francs) Taiba Ndiaye Moukh Moukh 菜園活動 菜園グループ収益 506 -123 ASUFOR 収益(水代金) 1,227 488 菜園グループは水料金を規定通り支払っている。水管理に失敗して作物はできず水コストの方が高くなった場合もきちんと水料金を支払わせ、水は有償であるとの認識を深めさせている。 牧畜グループ 養鶏 1,637 291 ミル製粉 1,281 364 冷凍庫 - 322 牧畜グループは菜園と違って井戸水の使用量は極めて少なく、収益が上がっている。これらの収益は現時点では住民には分配されず ASUFOR の収益とされている。 以上、菜園、牧畜ともにプロジェクト期間中は実験であり、その間は専門家のマニュアル通りの菜園とマニユールをきちんと守らなかつた菜園をならべて比較させ、失敗から学ばせるといった手法をとっている。このため当初は失敗も水管理も含めて徐々に改善してきている。なお、現在まで菜園の一部で赤字が出ているが、菜園の損益は個人負担としている。また牧畜の収益は ASUFOR に積み立てられている。 対象サイトにおける生産活動の多様化は着実に発現しつつあり、農業大臣の視察や、国営ラジオ放送の報道等により、セネガル国内で注目を浴びつつある。 シネバス上映会実施状況 第1回 2004.9 13 サイト、参加住民 2,265 名 第2回 2004.9 11 サイト、参加住民 2,662 名 第3回 2004.9 17 サイト、参加住民 2,520 名 第4回 2004.9 22 サイト、参加住民 5,095 名 延べ 63 サイト、参加住民 12,542 名	A
成果5. 対象サイト住民の安全な水に係わる衛生慣習が改善される。	成果4.の総合的達成度 5-1. 各サイトのシネバス上映会に一定以上の住民が参加する。	5-1. プロジェクト報告書、インタビュー報告書		A

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
 (4) プロジェクト目標の達成度

評価設問		情報源 (指標の入手手段)	調査結果 (達成度)	達成度*
中項目 (成果項目)	小項目 (指標)			
	5-2. 住民の保健衛生意識が向上する。	5-2. インパクト報告書	インパクト調査によれば、以下の様に調査対象住民の保健衛生意識が向上している事が認められる。 1) 98% (定期的 69.7%、必要な時に 28.1%) それぞれのコミュニティで公共水栓周辺の共同清掃作業を実施している。 2) 女性が家庭用道具や台所を清潔に保つことができ、こどもの清潔にも気をつけるようになったと多くのサイトで回答している。 シネパスその他衛生慣習改善活動により住民、特に女性や子供たちの保健衛生意識が向上していることが認められる。成果 5 は達成されたと判定される。	A
	成果 5. の総合的達成度			A

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(4) プロジェクト目標の達成度

評価設問 (大項目)：プロジェクト目標は達成されるか。(目標値との比較)

評価設問		情報源(指標の入手手段)	調査結果	達成度*
中項目(目標)	小項目(指標)			
成果の総合的達成度			全体として成果の各項目は達成されたといえる。	A
現在までの進捗状況から判断してプロジェクト目標「プロジェクト対象サイトでの活動を通し、持続的な水利用体制が確立される」は全体として期限までに達成されると思われるか。	1. 2006年までに20サイト以上が運営維持管理能力評価で最優良または評価される。 2. 各サイトで給水停止となる施設事故の発生頻度が減少する。	プロジェクト報告書	運営維持管理能力が最優良又は優良と評価されるサイト数は、2004年12月段階で13サイト、2005年5月段階で19サイトである。終了時までには、この指標は間違いなく目標値を達成されると思われる。	A
		プロジェクト報告書	対象全24サイトにおける年間給水停止日数：ASUFOR開始前(2001年1月-12月)1サイトあたり平均5.12日、最近(2004年9月-2005年10月)1サイトあたり平均2.58日。対象24サイト中20サイトで減少し、4サイトで増加している。全体として当該指標は目標を達成したと言える。	A
	プロジェクト目標達成の総合的見込み		サイトにおける運営維持管理能力の向上(指標1)及び故障による給水停止日数の減少(指標2)から判断して、プロジェクト目標は達成したと判断される。ただし、この状況が継続するためには、行政側によるモニタリングの継続が必須となる。	A

達成度*：A (75-100%) ,B (50-74%) ,C (25-49%) ,D (0-14%)

添付資料 6-1 評価グリッド：実績の検証
(5) 上位目標・スーパーゴールの達成見込み

評価設問 (大項目)：上位目標、スーパーゴール達成の見込みはあるか。(目標値との比較)

評価設問		情報源 (指標の入手手段)		調査結果 (達成度)
中項目 (目標)	小項目 (指標)			
上位目標 1. 持続的な水利用体制普及のための行政能力が向上する。	1. 持続的な水利用体制の全国展開に向けた指針が示される。	プロジェクト報告書 実施機関コメント		セネガル政府は、持続的な水利用体制普及のための地方給水事業の改革を推進しておりPEPAMプログラムが公表され、新たな給水施設の維持管理体制構築へ向けてその達成期限(DEM)の技術的な維持管理業務から監視を主体とした業務への移行期限=2007年6月)が明確にされており、農業・水利省はじめ関係諸機関は具体的なアクションを開始させていることから、持続的な水利用体制普及のための行政能力向上、という上位目標は遅くとも10年以内(2015年：ミレニアム開発目標達成時期)の達成が可能と判断される。
	2. 対象地域において住民の生活が改善される	2-1. 水因性疾患率が給水施設建設前と比較して約50%減で維持される。 2-2. 初等教育におけるドロップアウト率が全国平均以下(20%)まで減少する	2-1. プロジェクト開始時インパクト調査報告書 2-2. プロジェクト開始時インパクト調査報告書	
総合的 成 予 測	上位目標達成			上位目標が達成される可能性は高いが、そのためにはフォローアップが適切に実施される必要がある。
スーパーゴール 「持続的な水利用体制が広くセネガルに普及する。」 成 予 測		専門家、カウンターパート、実施機関聞き取り調査		本プロジェクトのスーパーゴールは国連ミレニアム開発目標のターゲット No.10 と軌を一にするものである。その達成はセネガル政府の優先政策のひとつであり、ASUFOR が適切に運営されることはその達成のための重要要素である。スーパーゴールが達成される見込みはかかなり高いが、そのためには ASUFOR 既存サイトへのフォローアップと新規サイトへのための適切なシステムをセネガル政府が構築することが重要である。

達成度* : A (75-100%) , B (50-74%) , C (25-49%) , D (0-14%)

付属資料 6-2 評価グリップ：実施プロセスの検証

評価設問	調査結果	情報源 (データ入手方法)
<p>1. 活動は計画通りに（活動計画が修正された場合は修正後の計画を含む）実施されているか。（活動グリップの結論）</p> <p>2. 技術移転の方法に問題はないか。</p>	<p>プロジェクト活動によりそれぞれ状況は異なるが、予定されている各活動の成果は2006年1月末までには概ね発現する見込みである。</p> <p>JICAの技術協力プロジェクトにおいては、派遣専門家が技術移転を行う対象はカウンターパートに限定され、移転された技術の想定受益者に対する指導は相手国側に任されている例が少なくない。本プロジェクトにおいても、形の上での直接的技術移転の対象はカウンターパート12名ということになっているが、実際には専門家とカウンターパートが協働して地方維持管理担当者（BPF）や地域住民維持管理組合（ASUFOR）等に技術指導を行っている。一般にどこでも使える標準的な技術の移転については、一般方式が有効であるが、本プロジェクトのように自然条件、社会条件が多様な多数のサイトにおいて住民参加型開発をすすめる場合、カウンターパートにとつてはリオ論もさることながら実地の経験から学ぶ部分が大きく、この方式は本プロジェクトにおいては有効であった。</p>	<p>専門家・カウンターパート アンケート、面談調査</p> <p>同上</p>
<p>3. プロジェクトのマネジメント体制に問題はないか。</p>		
<p>(1) モニタリングの仕組み プロジェクトのモニタリングはどのような行われたか。 モニタリング結果はプロジェクトの活動に反映されたか。（PDM, 詳細活動の軌道修正等）</p>	<p>(月次サイトモニタリング) ASUFOR 啓蒙普及活動実施後のモニタリングは、維持管理センター（BPF）スタッフの巡回により月1回の割合で実施され、専門家の現地調査による状況確認も適宜行なう体制で実施された。 進捗の上、発生した幾つかの問題点については、プロジェクトチーム内で協議を行い必要な修正が行われた。 (年次プロジェクトモニタリング) ・年1回、専門家とカウンターパートが協働で過年度の活動、進捗状況を発表するセミナーが開催された。 ・プロジェクトの進展に応じて活動分野が拡大するため、毎年新規のカウンターパートが参加してきたが、これら新規のカウンターパートのプロジェクト理解促進もかねて毎年PCMワークショップが開催され、進捗状況の確認と次年度計画が議論されるところにもPDMの改訂が検討された。 ・ワークショップの結論をもとにカウンターパートと専門家がPDM改定案、次年度活動計画案を作成し、合同調整委員会に提案し承認を受けている。</p>	<p>同上</p>
<p>(2) 意思決定過程 プロジェクト内の意思決定過程（誰がどのように関わったか）</p>	<p>活動日程の調整やアプローチの修正については、プロジェクトチーム（カウンターパート及び専門家）内で協議が行われた。協議では問題点のポイントを整理し、チームメンバーの提案をもとにその効果・妥当性を検討の上決定された。PDMの改訂を必要とする事項についてはチーム内でワークショップを開催した。</p>	<p>同上</p>

付属資料 6-2 評価グリッド：実施プロセスの検証

評価設問	調査結果	情報源 (データ入手方法)
(3) プロジェクト内のコミュニケーションの仕組み：専門家とカウンターパートとの関係(十分なコミュニケーションがあるか等)	<p>維持管理局 (DEM) 本部にて専門家とカウンターパート間で日常的にコミュニケーションが図られた他、プロジェクト活動の内容や進捗に応じて団内会議が開催された。定例会議としては下記の3種がプロジェクト期間を通じて継続開催された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 維持管理本部長連絡協議会： 地方在住(ルガ、カオラック、タンバクンダ)のカウンターパートである3名の維持管理本部長との協議会で、1回/2-3ヶ月の頻度で開催し、主に維持管理業務や民間業者に関する検討・提案が行われた。 2) 省内3局連絡協議会： 維持管理局 (DEM)、水利局 (DH)、水資源計画管理局 (DGPRE) の代表者とカウンターパートにより1回/3ヶ月の頻度で開催し、主に3局の役割分担の確認や水資源に係わるモニタリング体制に関する協議が行われた。 3) DEM プロジェクト代表者連絡協議会： PEPTAC、REGEFOR、PARPEBA、PRS2 のプロジェクト代表者による連絡協議会で1回/3ヶ月の頻度で開催し、類似プロジェクトの進捗状況・有効手法の共有化、マニユアル標準化、民間業者選定などに関する協議が行われた。 	同上
一定例会議の状況		同上
- 日常のコミュニケーション	<p>まあまあだった。本部と地方の間(カウンターパート間)のコミュニケーションには問題があったが、プロジェクトで供与したFAX機の有効利用を通じ改善が図られた。</p>	同上
- 問題認識の共有-共同作業による課題設定の状況	<p>当初、実施機関にJICAや技プロのシステムに対して不慣れな面があり、他ドナーの類似プロジェクトのススキームとの混同も見られたが、プロジェクト活動を通じて、技プロや本プロジェクトの特徴について理解を得られた。</p>	同上
- 信頼関係の確立	<p>徐々に構築された。</p>	同上
- カウンターパートの主体性-参加意識は高いか。	<p>維持管理センター(BPF)スタッフ等の地方在住のカウンターパートにはプロジェクトへの参加意識に個人差が見受けられた。日常業務の多忙さ故にプロジェクトへの参加に積極性を欠く地方スタッフもいたが、概ねカウンターパートの主体性・参加意識は高く、ルガ、マタム、ジゲンシヨールのBPFでは、プロジェクトによって得た知見(プロジェクトで実施したアニメータ研修を受講)とツール(啓蒙普及用紙芝居)を利用して、プロジェクトのサポートに頼らずに独自にASUFOR啓蒙普及活動を実施した。</p>	同上

付属資料 6-2 評価グリッド：実施プロセスの検証

評価設問	調査結果	情報源 (データ入手方法)
(4) プロジェクトとセネガル側関係機関との関係 (コミュニケーションは良好か、十分な協力を得られているか) - 農業・水利省維持管理局 (DEM) との関係 - 農業・水利省水資源計画管理局 (DGPPE) との関係	良好。JICA プロジェクトの特徴や技プロのシステム等への認識を実施機関から得るには、信頼関係を基に十分な説明が必須となる。プロジェクト開始以来、DEM 局長の交代が 2 回あり、現在 3 人目の局長であるが、信頼関係の構築と適切な説明を繰り返し、徐々に JICA 及びプロジェクトへの認識が得られた。 良好。 既に十分な信頼関係を構築しており、十分な協力を得られている。	同上 カウンターパート インタビュー
- 農業・水利省水利局 (DH) との関係 - 地方上下水道支所との関係	良好。DH は、1979 年以降 JICA が継続してきた無償資金協力案件 (地方給水) の実施機関でもあり、JICA に対する十分な信頼関係を有しており、本プロジェクトにも十分な協力が得られている。 良好。地方支所は、給水に係わる地方行政の窓口でもあり本プロジェクト開始以来、各地方支所と良好な関係を有している。特にルガ及びタンバンクンダ地方支所については、第 2 年次に「アニメータ研修」を現地で実施し良好な協力関係にある。	同上 同上
- 生産活動多様化関連省庁との関係 - 生活環境向上関連省庁等との関係	良好。合同調整委員会には農業局 (Direction de l'Agriculture) や園芸局 (Direction de l'Horticulture)、牧畜局 (Directeur de l'Elevage) 等の生産活動多様化関連の省庁代表者がメンバーとして参画しており、プロジェクト活動や目標・成果に関する認識が得られている。 良好。上記のコメントに同じ。	同上 同上
(5) 国際機関や外国援助機関、NGO、現地民間業者等との関係で本プロジェクトの円滑な実施にプラスあるいはマイナスに働いた例があるか。	1. プラスに作用した例： 2004 年 12 月に地方給水事業の改革に関するドナー会合を提唱し、ASUFOR 啓蒙普及関連プロジェクトを実施している AFD (GEREFOR)、CTB (PARPEBA)、EU (PR2) 及び JICA による会合を開催した。この会合の開催により、情報交換、手法やツールとの共有が合意され、具体的には共通マニュアルの作成準備が進められる等、ドナー間及びプロジェクト間の協調・連携が更に促進された。 2. マイナスに作用した例： 特になし。	同上 同上
4. 相手国実施機関のオーナーシップは確立されているか。	予算面に不安はあるが、本プロジェクトは国家の優先事項であり、実施機関として必ずやり遂げねばならないとの意識は高い。オーナーシップは確立されている。	同上 カウンターパート インタビュー

付属資料 6-2 評価グリッド：実施プロセスの検証

評価設問	調査結果	情報源 (データ入手方法)
(1) 本プロジェクトの実施に係わる問題が生じた場合、どの省庁・部局の誰に話をすればよいか。権限、責任、は明確かつ適切か。	現在セネガルでは、地方給水事業の改革が進められており、この改革の中でDEMは、近い将来、技術的な維持管理業務を推進する組織から監理業務を主とした組織への変更が求められている。組織改変後のDEMの将来像については様々な議論が継続されており、未だ明確な将来像が行政側で共有されていない面があるが、DEMは「ASUFOR 啓蒙普及活動の推進主体」として認識されており、行政、ASUFOR 及び民間業者による維持管理体制の構築を目指す本プロジェクトに対するオーナーシップは十分に確立されている。	同上
(2) 責任者のプロジェクトマネジメントへの参加の度合い	まあまあといえよう。プロジェクト開始以来、DEM 局長の交代が 2 回あり、現在 3 人目の局長であるが、信頼関係の構築と適切な説明を繰り返し行い、JICA 及びプロジェクトへの認識が得られた。	同上
(3) 活動に必要な予算の手当	まあまあといえよう。セネガルでの地方給水事業における改革の背景には、行政が管轄する動力式給水施設の急増に相反する DEM 職員の人員削減や予算規模の縮小がある。行政側が維持管理活動を行うために必要な移動用燃料費も不足しているのが現状である。プロジェクト活動の実施に支障をきたすほどの影響は受けていないが、プロジェクト活動に係わる旅費や移動用燃料費はプロジェクト側での準備が不可欠である。	同上
(4) カウンターパート配置の適性度(数、質、専門分野等)	まあまあといえよう。上述のように実施機関が直接的な維持管理活動を行うには人員が不足しており、ASUFOR と民間業者の契約をベースとした維持管理業務実施への委託を必要とする要因の一つとなっている。今後 DEM は、直接的・技術的な維持管理業務を推進する組織から監理業務を主とした組織への改変が行なわれるが、本プロジェクトにおいて維持管理センター (BPF) スタッフ等に対してアニメータ研修を実施し、必要なツールを供与したことから、自立発展の上では今後更なる人材の育成と、その効果的な配置が望まれる。本プロジェクトの実施機関 DEM は地方給水施設の維持管理局であるため、管農や放牧畜といった生産活動多様な実証活動に係わる適切なカウンターパートを配置することが困難であったが、農業・水利省植物保全局 Notto 支所長である Ndiaye 氏がカウンターパートとして選定されて以来、同氏による定期的な現場巡回指導が行われてい	同上
(5) 機材の引き取り、施設整備の円滑度	基本的に円滑である。本プロジェクトでは井戸カメラ、水位計、pH/EC メータ等の水資源管理機材、ASUFOR 啓蒙普及用紙芝居、プロジェクト用機材、プリンター、コンピュータ、OA 機器やデータ通信機器、従量制料金徴収に必要な水量計等各種活動に必要な機材を供与している。また、施設オペレータ研修のための研修室の整備 (ルガ、カオラック、タンバクンダ) を実施した。これらの機材については有効に使用され適切に保管されており、2004 年 5 月に JICA セネガル事務所、官房長等の出席の下、DEM への引渡し式も実施された。ただし、井戸カメラについては不具合があり、メーカー元 (アメリカ) に返送して修理中である。	同上 JICA 本部
5. プロジェクト開始の前提条件は満たされていたか。満たされていない場合どう対応したか。	前提条件(1) 使用可能な給水施設が存在する、前提条件(2) 住民に水料金負担能力がある、の両者とも満たされていた。	同上
6. その他		同上

付属資料 6-2 評価グリッド：実施プロセスの検証

評価設問	調査結果	情報源 (データ入手方法)
(1) その他プロジェクト実施のプロセスにおける問題点	<p>村落給水の維持管理業務を政府直営から民間委託に切り換えることは、政府の優先政策として決定している。しかしながら、その細部手続きについては未定の部分が多い。政府においては、各ドナーが実施しているプロジェクトを通じて方式を構築しているところとの意図があるように思われる。例えば、政府に変わって維持管理業務をひきうける民間業者は十分育っているとはいえず、本プロジェクトの実施過程でも一部活動の進捗に遅れが生じた要因となっている。これに対しプロジェクトでは、いきなり全業務を移管するのではなく、難易度に応じた段階的移管を提案し、これが実施機関において PEPTAC モデルとして試験的に実施することが認められた。政府、水利用組合、民間業者それぞれの最終的な有り姿や経過処置についても明文化された標準がなく、今後も実施の過程で考えていくことにより、進捗に遅れが生ずることも考えられる。</p>	同上
実施プロセスの総合評価	<p>本プロジェクトで採用された技術移転の手法は適切であった。また状況に応じた PDM 細部の修正も適切に実施されている。実施機関 (DEM) 上部や JICA 本部・現地事務所の帝王も適切であり、実施プロセス上特筆すべき問題はみあたらない。</p>	同上
今回の経験をふまえて、今後セネガル国において別のプロジェクトを企画・実施する場合は、あるいは他の国において村落給水分野で類似の協力をを行う場合、留意すべき事項等	<p>現地語のマニュアル、各種書類の整備は、プロジェクト活動に着いての認識や理解を住民から得る上で非常に有効である。可能であれば、セネガルの主要言語であるウオロフ、プル語だけでなく、その次に使用頻度が高いセレール語やマンデン系言語、プロジェクトの係わり方によっては南部のジョラ語等への翻訳も地方遠隔部での活動には有効である。</p>	同上

付属資料 6-3 評価グリッド: 5 項目評価

(1) 妥当性

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
優先度	案件内容の公共事業・ODAとしての適格性	<p>プロドクの記録</p> <p>給水セクターはいままでもなく公共事業として最も基本的な分野の1つであり、安全な水を安定的に供給することは、あらゆる村落開発の基礎に位置づけられる。</p> <p>調査時点での状況</p> <p>より重要になった。本プロジェクトの妥当性については、プロジェクトドキュメントに記載されている案件内容の公共事業としての適格性には変化はない。セネガルでは20年以上に亘り給水施設整備が継続しているが、同国の地方部の遠隔地には、民営化が進む都市給水とは異なり、未だBHNの充足の上で安全な水の安定供給が必要な状況にある村落が多数存在することから、公共事業としてその重要性に関しては益々高くなってきていくと判断される。</p>	<p>プロドク</p> <p>専門家アンケート</p> <p>JICAアフリカ 部職員聞き取り</p>
	我が国の援助政策、国別事業実施計画との整合性	<p>プロドクの記録</p> <p>過去20年に亘りセネガルを含むアフリカへの給水分野への協力は我が国の援助政策の一環として高い優先順位で取り組まれている。また、近隣諸国への波及効果も期待でき、広域協力を推進する我が国の援助政策と合致する。</p> <p>調査時点での状況</p> <p>状況は変わっていない。地方給水分野への協力は我が国の援助政策の一環として高い優先順位であり、その重要性は変わっていない。本プロジェクトの推進は、安全な水の安定供給が望まれている地方部遠隔地へのBHNの充足や「人間の安全保障」等のが国援助戦略に合致しており、今後の近隣諸国への波及効果や広域協力を目指す我が国の援助政策とも合致する。</p> <p>ODA大綱の四大重点課題のうちとして(1) 貧困削減 (2) 持続的成長 (3) 地球的規模の問題への取り組みについて、本プロジェクトは資するものである。</p> <p>「日本の対アフリカ協力政策」(外務省、平成17年4月)では三つの柱(平和の構築、経済成長を通じた貧困削減、人間中心の開発)に基づく重点的取り組みを掲げているが、このうち「人間中心の開発」で以下のように強調されている方向性に本プロジェクトは合致する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水の供給: TICAD II (1998年)以降、TICAD III (2003年)までに約460万人のアフリカの人々に安全な飲料水及び衛生施設を提供。アフリカを含む全世界向けの飲料水と水分野のODA (1999~2001年)の約3分の1を供与。04年度は、230億円(予算規模)の水資源・環境無償をアフリカ向けに積極的に活用。 	<p>プロドク</p> <p>専門家アンケート</p>
	ODA大綱との整合性	<p>ODA大綱との整合性</p> <p>「日本の対アフリカ協力政策」との整合性</p>	<p>外務省ホームページ</p> <p>外務省ホームページ</p>

付属資料 6-3 評価グリッド: 5 項目評価

(1) 妥当性

評価設問		調査結果		情報源・データ 収集方法
大項目	小項目			
必要性	相手国ニーズへの一致	プロドク	プロドク	専門家アンケート C/Pへの聞き取り
	MDGs との整合性	<p>プロドクにおける取り組みはセネガル国現行「第10次経済社会開発計画」で掲げている優先課題のうち、「基礎的社会サービス」及び「持続可能な自然資源管理」部分に該当する。本件は、セネガルの国家開発計画で優先的課題とされている給水セクターへの取り組みの一環として要請されたものであり、先方のニーズとの一致は確保されている。</p> <p>調査時点での状況</p> <p>状況は変わっていない。PLT（水長期計画）等の上位計画に沿ったものである。政府は2015年を目標年次とするミレニアム開発目標達成のための、地方給水に関わる一連の上位計画を包括したPEPAMプログラムを公表するなど、地方給水事業に係わる改革が、近年更にダイナミックな潮流の中で推進されている。本プロジェクトの目的・活動・成果等は、PEPAMプログラムにおける地方給水に関わるセクターポリシーと合致しており、先方のニーズとの一致は確保されている。</p> <p>国連ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals：MDGs、2000年9月）は、2015年までに達成すべき8つの目標に対し、18の数値ターゲットを掲げている。本プロジェクトは、MDGの目標7：環境の持続可能性確保、ターゲット10「2015年までに、安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合を半減する。」と整合する。</p>	外務省ホームページ	
手段としての適切性	参加型の計画作成の適切性	プロドク	プロドク	専門家アンケート C/Pへの聞き取り

付属資料 6-3 評価グリッド：5 項目評価

(1) 妥当性

評価設問		調査結果		情報源・データ 収集方法
大項目	小項目			
手段としての適切性	日本の技術の優位性	プロダクトの記録 (1) 給水施設関連 本プロジェクトは日本の援助により建設された給水施設を対象としている。20 年以上に亘り継続的に建設されてきたそれら給水施設は109箇所に及び、そのほとんどが稼働中であるという実績からも、日本の技術水準は十分に実証済みであり、現地でも評価されている。 (2) 住民参加型水管理組合 (ASUFOR) 組成手法 これまで実施されてきた我が国の給水施設整備計画実績のなかで、水管理委員会への支援はセネガルのカウンタート機関に任された。他方、他の援助機関によるプロジェクトのなかには水管理委員会への支援を中心とした活動もあり、成果をあげている例もある。しかしながら、ASUFORの普及、モニタリングについてはまだ改善の余地が残されており、本プロジェクトでその普及に対する協力を現地リソースの活用によって実施することで、十分な優位性を確保できると考える。 なお、ASUFOR については現地語に対する対応、より分かりやすい啓蒙普及教材の制作等改良の余地もあり、今後予定されているプロジェクトではソフト面についての優位性についても確保できるものと考えられる。 調査時点での状況 状況は変わっていない。	プロダクト 専門家アンケート C/Pへの聞き取り	
	プロダクトはセネガルの給水分野の課題に対する戦略として適切か。	プロダクトはセネガルの給水分野の課題に対する戦略として適切か。	セネガルにおいては給水施設の維持管理は政府（農業・水利省 MAH 維持管理局 DEM）の所管であるが膨大な数の対象地域に対し限られた予算・人員での対応は困難であり、受益者を中心とした水管理組合 (ASUFOR) と能力のある民間業者による維持管理体制への移行を推進中である。本プロジェクトはこの課題解決のための戦略として技術協力プロジェクトというスキームを採用するものであり、適切な選択である。 持続的な維持管理体制の構築や住民の生活レベル向上を目指す本プロジェクトでは、ASUFOR 啓蒙普及活動、社会・ジェンダー配慮、施設オペレータ育成環境の整備、水資源管理体制の構築、生産活動多様化実証などの諸活動を通じて、各レベルのカウンタートへの技術移転を図り、住民参加の促進や組織活動における透明性・公平性の確保に努めた。各活動における方法論は、セネガル政府の推進する地方給水事業におけるリフォーム「改革」に沿ったものであり適切なものである。	プロダクト 専門家アンケート
	プロジェクトの選アプローチの選択は適切か 対象サイトの選定は適切か	本プロジェクトの ASUFOR 啓蒙普及対象サイトは、我が国無償資金協力により建設された全国に位置する 109 サイトより、施設の稼働状況の良好なものが選定され、セネガル北部（ルガ州、サンレイ州、マタム州）に 12 サイト、セネガル南部（タンバウンダ州）に 12 サイトとなった。 他の類似プロジェクトの対象地域セネガル国中部（チエス州、カオラック州、ファティック州、デュ一ベル州）を中心としており、本プロジェクトで他ドナーが活動を実施していないセネガル北部及び南部を対象地域とすることにより、競合・重複を避けるだけでなく、今後の ASUFOR 全国展開の上で他ドナーのプロジェクトにない貴重かつ有効なモデルを提示することが可能である。また、プロジェクトが入るケースの少ない遠隔地を対象とすることは、当該地域の人的資源の開発・人材育成の面でも効果的である。対象サイトの選定は適切であった。	プロダクト 専門家アンケート プロジェクト報告書 専門家アンケート	

付属資料 6-3 評価グリッド：5 項目評価

(1) 妥当性

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
妥当性の総合的評価		<p>総合評価：A</p> <p>事前評価書（2002年11月）に述べられた本プロジェクトの妥当性は今日でもそのままではまるばかりでなく、以下の点でむしろ高まっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プロジェクトは、国連ミレニアム開発目標（Millennium Development Goals：MDGs）のターゲットNo.10「2015年までに、安全な飲料水を継続的に利用できない人々の割合を半減する。」と整合する。プロジェクトは我が国の「ODA大綱」に整合する。 ・ 日本の対アフリカ協力政策」（外務省、平成17年4月）では三つの柱（平和の構築、経済成長を通じた貧困削減、人間中心の開発）に基づき重点的取り組みを掲げているがこのうち「人間中心の開発」の中で、アフリカの人々に安全な飲料水及び衛生施設を提供することを重点と項目としている。 ・ セネガル政府は国連ミレニアム開発目標にあわせ、目標年（2015年）までに目標達成するための給水事業改革（Reforme）政策を発表している。これによれば、過去村落給水施設の維持管理を政府（所管DEM）の直営事業としていたが、予算、人員に限りあることもあり、持続可能な維持管理（利用者水管理組合（ASUFOR）を結成し、日常的な維持管理はASUFOR自身が行うとともに大型機材を必要とする維持管理業務については業者との契約により実施することを目指すものであり、セネガル政府の方針に合致するものである。 	

付属資料 6-3 評価グリップド：5 項目評価

(2) 有効性

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
プロジェクト目標達成予測		サイトにおける運営維持管理能力の向上（指標1）および故障による給水停止日数の減少（指標2）から判断して、プロジェクト目標は達成したと判断される。ただし、この状況が継続するためには、行政側によるモニタリングの継続が必須となる。	(実績検証の結果を転記)
因果関係	「成果が達成されればプロジェクト目標は達成される」という論理に無理はなかったか 外部条件は満たされているか	PDMに記載されている「成果」はいずれも目標達成に貢献するものであり、不要な「成果」あるいは、効果の疑わしい「成果」はPDMに含まれていないと判断される。また、限られた期間・予算内にプロジェクト目標である「持続的な水利用体制の構築」を実施する上で、現在PDMに記載されている「成果」はいずれも妥当であると判断される。 現時点までに大規模な早魓が発生しておらず、プロジェクト目標達成への影響はなさそうである。	専門家、カウンタート パート アンケート、インタ ビュー
上記プロジェクト目標達成に対する「貢献要因」は何か。	1. 計画内容（PDMに記載された投入・活動等）でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項は何か。 2. PDMには記載無いがプロジェクトの実施の過程で工夫した事等でプロジェクト目標の達成に特に効果があった事項は何か。	PDMに記載された活動はいずれもプロジェクト目標の達成に特に効果があった。また投入機材では2003年12月にデスクトップコンピュータ、プリンタ、FAX機等が各BPFに配置されたことにより、地方部遠隔地におけるBPFのモニタリング活動・サイト巡回指導結果が、迅速にDEM本部に送られるなど、地方と中央のコミュニケーションの改善に寄与している。これらOA機器及び通信機器が有効に使用されることによりASUFOR活動状況に関するデータの送受信により、モニタリング活動や現地の状況把握が円滑に行われるようになった。 2004年12月にJICA主導により、ASUFOR啓蒙普及案件を推進するドナー（JICA、AFD、CTB、EU）による会合を開催し、JICA側より地方給水の改革に関するマニュアルの整備・標準化を提唱し、各ドナーの賛同を得た。本プロジェクトで継続実施しているDEMプロジェクト代表者協議会においても、このマニュアル標準化の協働作業の必要性を呼びかけ、現在DEM内部には本業務の推進を目的とした委員会が設置され、関係者による協議が行われている。本プロジェクトでは委員会に対し積極的な提案をすべく、関係諸機関からのマニュアル・ガイドラインに係わるデータ収集や、イベントリー、ロングリストの作成等の作業を現地再委託により実施しマニュアル標準化の推進によって、持続的な水利用体制の構築を推進する上で必要となる有効手法・ツールの共有化に高い効果があると判断される。	専門家、カウンタート パート アンケート、インタ ビュー

付属資料 6-3 評価グリッド：5 項目評価

(2) 有効性

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
	3. 制度や規則の改定、民間の協力等プロジェクト外部の要因でプロジェクト目標の達成に特に効果があつた事項は何か。	本プロジェクトがセネガル国の開発計画にそい、かつ国民のニーズにこたえるものであることから、理解協力が得やすかつたこと。	専門家、カウンタート パート アンケート、インタ ビュー
上記プロジェクト目標達成に対する「阻害要因」は何か。	1. 計画内容や実施の過程といたつたプロジェクト内部の要因でプロジェクト目標の効率的、効果的達成を阻害するようない不適切な部分があつたか。 2. 天候、政府の対応等、プロジェクト外部の要因でプロジェクト目標の効率的、効果的達成を阻害するようない事柄があつたか。	特になし。 プロジェクト目標へ間接的な影響を与えた外的な要因としてバツタの大発生があつた。2004年雨季後にバツタが大発生し、生産活動 Moukh Moukh サイトの野菜栽培に甚大な被害をもたらし、当初想定していた野菜の売り上げを達成することが出来なかつた。しかしながらこのことはプロジェクト全体の目標達成に致命的影響を与えることはなく、プロジェクト目標は達成されると見られる。 また、本プロジェクトでは ASUFOR と民間業者との維持管理契約締結を成果の一つとして設定しているが、本プロジェクトの対象サイトは数が少ない上に遠隔地に散在しているため、民間業者にとつて魅力が低く、業者選定に苦勞した。	専門家、カウンタート パート アンケート、インタ ビュー
有効性の総合的評価		総合判断：A プロジェクト目標はおおむね達成される見込みであり、プロジェクトの成果は全て目標達成に貢献している。本プロジェクトの有効性は高いと判定される。	

付属資料 6-3 評価グリップド：5 項目評価

(3) 効率性

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
成果の達成度	成果の発現状況は適切か。		(実績検証グリップドの結論を転記)
投入の適切さ (セネガル側の投入)	1. カウンターパートの配置 2. 補助職員(秘書、通訳等)の配置 3. 運営管理費 4. 円滑なプロジェクト運営に必要な資機材 5. プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室 6. 研修施設 7. 村落でのプロジェクト活動拠点 セネガル側投入全般	人数、質ともに全体として適切であった。なお、プロジェクト実施中に行政による人事異動があったが、継続性は確保されており、特に問題はない。但し、実施機関 (DEM) が給水施設の維持管理局であるため、生産活動多様化実証活動に関する専門性を持ったカウンターパートの選定が困難であった。 通訳、運転手等に関するセネガル側の投入は無く、プロジェクト側の予算に計上された。 日本人専門家の執務室として、農業・水利省維持管理局 (DEM) 内の一室がプロジェクト執務室として提供された。その他では執務室内の備品 (机及び椅子) と電気代がセネガル側の提供である。研修開催費はプロジェクト側の予算で実施された。 機種、仕様、数量、タイミングとも適切であった。 位置、面積、質とも全体として適切であった。 停電が雨期に頻発し、パソコンやコピー機、FAX 機等の使用を要する等業務の進捗に影響した。 研修等の活動に適した研修施設を行政側が所有していないことが事前に判明していたため、研修施設についてはプロジェクト予算で借上げを行っており、借上げた施設に関して特に問題は発生していない。 村落での活動に必要な協議及び準備を行う拠点として、当該村落を管轄する維持管理センター (BPF) や維持管理本部 (SM) の事務所が使用された。 セネガル側の投入は全体として計画通り適切に実施され、プロジェクト活動に有効に活用されている。	同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上
投入の適切さ (日本側の投入)	1. 専門家の派遣 2. カウンターパート日本研修 3. 施設整備 4. 機材供与 5. プロジェクト運営経費 日本側投入全般	人数、専門分野、派遣期間、タイミング、技術力、コミュニケーション力とも特に問題は無く、適切であった。 人数、研修期間、研修内容、タイミング、研修生の人選とも特に問題は無く、適切であった。 カウンターパートも研修内容におおむね満足している。 施設の種類、数、面積、質、仕様、タイミングとも特に問題は無く、適切であった。 機種、仕様、数量、供与のタイミングとも特に問題は無く、適切であった。 但し井戸カメラについては不具合があり修理に時間を要した。 金額、支出のタイミングとも特に問題は無く、適切であった。 日本側の投入は全体として計画通り適切に実施され、プロジェクト活動に有効に活用されている。	同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上 同上

付属資料 6-3 評価グリップド：5 項目評価

(3) 効率性

大項目		評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
		小項目			
タイミン	活動はタイミンがよ	実施されたか	実施されたか	各活動は適切な時期にタイミンがよよく実施された。但し、専門家の現地アサインの時期については、プロジェクトの進捗状況を踏まえた調整が必要であったため、各年度末の国内委員会でプロジェクト活動の進捗を報告すると共に、JICA の了承を得て現地アサイン時期の調整を行った。	同上
	上記成果達成のための外部条件満たされたか。満たされていない場合どう対応したか			現在までのところ特に問題は生じておらず、予見しうる将来においても大きな問題はないと見られる。トレーニングを受けたオペレータが死去や高齢化等で勤務不能となる可能性は当然予見される。本プロジェクトでは、通常の新規施設のオペレータを対象とするトレーニングの他に、オペレータの交代を考慮した「オペレータ再訓練パッケージ」を開始した。また、現在プロジェクト期間終了を控え、フォローアップとして各サイトの巡回訪問しているが、問題が見られたオペレータについては都度個別指導を実施している。	同上
				将来における安定的な市場の確保は課題ではあるが、現在のところ大きな問題は生じていない。	同上
	コスト			AFD 等の類似プロジェクトでは、プロジェクト管理が実施機関 (DEM) 側に任されており、ドナー側は監査やプロジェクト評価が中心として関わるプロジェクトの遂行方式を採用している。専門家が投入される本プロジェクトと運営方式・形態が異なるため、単純な比較は困難であるが、カウンタートパートへの技術移転にも目を置いている本プロジェクトは、その成果の発現度・プロジェクト目標の達成度は投入コストに見合ったものと判断される。	
	効率性の総合的評価			総合判断：A 投入は全体としてプロジェクト活動に有効に活用され成果の発現に適切に貢献している。全体としては比較的小さな投入により大きな成果が得られており効率性は高い。 なお、セネガルにおいて類似の事業 (ASUFOR 啓蒙普及活動) を実施している他ドナー (フランス AFD、ベルギー CTB、EU、ルクセンブルグ) との連絡協議会が本プロジェクトの呼びかけで始まったが、ASUFOR 啓蒙普及活動に有益な情報、手法、ツールの共有は効果的、効率的プロジェクト活動に貢献している。またプロジェクトの提案により、給水関連技術三局(DH、DEM、DGPRE)との連絡協議会がプロジェクト期間中の定期的に開催された。	

付属資料 6-3 評価グリップド：5 項目評価

(4) インパクト

評価設問		調査結果		情報源・データ 収集方法
大項目	小項目			
上位目標の達成予測 (実績グリップドの結論より)	プロジェクトの効果として協力終了後 5-10 年以内に上位目標は達成される見込みか。	多くの資料が給水施設の建設により水因性疾患率が建設前に比べ約 50% 減となること、初等教育のドロップアウト率が全国平均以下まで低下することを示している。これらが低位のまま維持継続できるかは給水施設が適切に維持・管理され安定的に継続給水されるかにかかると推測される。ASUFOR が健全に機能し続けることは給水施設の稼働期間の延長に大きく貢献するものであり、その結果安全な水が確保されるため、水因性の疾患、初等教育ドロップアウト率は低く抑えられることと推測される。これらの指標が達成される見込みは高い。	専門家、カウンタート、農業・水利害	
(外部条件)	外部条件「給水施設以外の公共サービスが維持される。」は満たされるか。	上位目標の 1 つである「対象地域において住民の生活が改善される」の達成には、持続的な給水施設の運営・維持管理事業の確立と安定が不可欠であるが、生活レベルの改善には給水以外にも保健衛生や市場へのアクセス道路等の公共サービスの維持も併せて必要要件となる。現状では確実な予想は困難であるが、セネガル政府は貧困削減戦略やミレニアム開発目標の達成を目指しており、この外部条件も概ね満たされると推測される。	専門家、カウンタート、農業・水利害	
(因果関係)	プロジェクト目標が達成し外部条件が満たされれば上位目標は達成されるように設定されているか。	プロジェクト目標が達成されれば、上位目標は達成されると判断される。	専門家、カウンタート、農業・水利害	
スーパーゴール達成見込み	スーパーゴールはいつ頃どの程度のレベルで達成されるか。	本プロジェクトのスーパーゴールは国連ミレニアム開発目標のターゲット No.10 と軌を一にするものである。その達成はセネガル政府の優先政策のひとつであり、ASUFOR が適切に運営されることはその達成のための重要要素である。スーパーゴールが達成される見込みはかなり高いが、そのためには ASUFOR 既存サイトへのフォローアップと新規サイトへのための適切なシステムをセネガル政府が構築することが重要である。	同上	
波及効果 上位目標以外の正負のインパクトは生じたか（生じそうか）	政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響 ・ジェンダー配慮への影響	本プロジェクトが提唱した ASUFOR 啓蒙普及マニュアルの標準化や、維持管理業務民間移管を段階的に実施する手法の検討等実務面における制度、基準等への影響が見られる。 ジェンダー配慮へのインパクトは大きい。本プロジェクトはコミュニティベースの給水施設維持管理体制の構築を目指し、住民組織である ASUFOR の啓蒙普及を行ってきた。その中で ASUFOR の事務局女性メンバーの割合や代表委員会メンバーの男女比率を見た場合女性の役割の増大が認められ、また生産活動多様化プログラムにおいては女性が重要な役割を占めている。ジェンダー配慮による社会的文化的な影響度が大きいと判断される。	同上	

付属資料 6-3 評価グリッド：5 項目評価

(4) インパクト

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
	・環境保護への影響	本プロジェクトでは、地下水モニタリング体制の整備や水利用ガイドラインの作成など、地下水ポテンシャルの検証を踏まえた水利用を推進した。また、生産活動多様化実証活動として、堆肥・緑肥の利用による土壌の改善を実現、化学肥料や害虫・殺菌剤使用の抑制等を含む「持続的な営農活動」を進めており、環境へのプラス要因と考えられる。また、数量的には多くはないが、防風林の設置と飼料木の植栽、一部 ASUFOR サイトへの果樹苗木の配布は、樹木の増加（植生の改善）に繋がるなど、直接的な環境保護と異なるが、環境への配慮としての影響があるものと判断される。	同上
	・技術面での変革による影響	ASUFOR 啓発普及における手法・技術（ジェンダー配慮を含め）や、オペレータ研修手法・技術、更に生産活動多様化実証活動における節水技術や集約型牧畜技術モデル等、本プロジェクト活動における技術面での影響度は大きいと判断される。	同上
	・カウンタート他プロジェクト関係者の意識や生活への影響	維持管理センター（BPF）等の実施機関の地方スタッフを対象としたアニメータ研修を行い、彼らを中心としたチーム編成で ASUFOR 啓発普及活動を行った。従来、地方の遠隔地にこうした投入が行われることが少なく、地方スタッフの多くはプロジェクト活動を通じて、中央政府が推進する地方給水事業の改革の必要性を認識し、プロジェクトのサポートを受けずに独自に ASUFOR 啓発普及活動を行う等の成果も出ており、カウンタートへの問題意識への影響度が大きいと判断される。	同上
	・人種、民族、性的階層などの違いにより異なったブラス・マイナスの影響は生じていないか	地方部の村落では、民族間の差異やジェンダー差、社会的な階層により文化的・慣習的に異なった様相を示している。本プロジェクトでは ASUFOR 活動への各代表の参加を推進することで、情報開示の促進、ASUFOR の信頼性の向上及び透明性の確保に大きな効果が認められ、村落内の既存組織（青年組織、女性組織、菜園・牧畜などのグループ）や民族間（農耕民と牧畜民）、中心村落と周辺村落間の関係にブラスのインパクトが確認されている。	同上
	・プロジェクト実施の結果環境汚染や女性の労働強化等のマイナスインパクトは発生していないか。それを取り除くための方策は何か	持続的な ASUFOR 運営管理の確立は、深井戸施設の故障や修理期間を最小限に抑えるため、従来のような故障時の近隣地への水の確保に多大な時間を割く必要がなくなり、（女性に限らないが）労働の軽減に貢献している。生産活動多様化プログラムでは、「持続的な営農活動」の観点から、農薬や化学肥料の使用を極力抑えた営農方法を指導しており、本プロジェクトの実施によって環境汚染や女性の労働強化等のマイナスインパクトは発生していない。なお、畑作における節水農法については、過揚水をさけるためにも今後とも徹底されるべきである。	同上

付属資料 6-3 評価グリッド：5 項目評価

(4) インパクト

評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
大項目	小項目		
インパクトの 総合評価		<p>総合判断：A</p> <p>1) 上位目標・スバーゴール達成の見込み 多くの既存調査が給水施設の建設により水因性疾患率が削減し、初等教育のドロップアウト率が低下することを示している。(本プロジェクトにおいても給水施設建設前のデータが得られる地域では同様に確認された。)これらの指標が低位のまま維持継続できるかは給水施設が適切に維持・管理され安定的に継続給水されるかにかかると分が大きい。今後も、ASUFOR が給水施設を適切に維持管理してゆくことが予測されるため、水因性の疾患、初等教育ドロップアウト率は低く抑えられることと推測できる。よって上位目標達成の可能性は高いが、プロジェクト終了後のフォローアップ体制確立が鍵となる。</p> <p>また、本プロジェクトのスバーゴールは、MDGs のターゲット No.10「2015 年までに、安全な飲料水を継続的に利用できる人々の割合を半減する」と重なるものであり、セネガル政府も MDGs 達成を重要課題としている。ASUFOR が適切に運営されることは、その中で重要な役割を担うものとされている。セネガル政府が本プロジェクト終了後も対象サイトへの継続的フォローアップと新規サイトへの拡大のための適切な体制を構築するならば、スバーゴールも 2015 年までに達成する可能性が大である。</p> <p>2) その他のインパクト 安全な水の安定的供給は人間の基本的ニーズの代表であり、それを目指す本プロジェクトからは、以下のとおり多方面で大きなプラスのインパクトが発現しつつある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 関連する政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響 ● 男女共同参画の推進 ● 実施機関の人事・組織・予算等への影響 ● 環境保護への影響（環境に優しい農業の推進） ● 技術面での変革による影響（ASUFOR 啓発普及における手法・技術、ジェンダー配慮、オペレータの継続的な研修、節水農法や集約型牧畜技術等、本プロジェクト活動において推進した技術面での影響） <p>なおマイナスのインパクトは現時点では予測されていない。</p>	

付属資料 6-3 評価グリッド: 5 項目評価

(5) 自立発展性

評価設定		調査結果		情報源・データ 収集方法
大項目	小項目			
政策・制度 面	政策支援は協力 終了後も継続す るか	関連規制・法制 度は整備されて いるか。整備さ れる予定か。	本プロジェクトの目指す持続的な維持管理体制の構築は、ASUFOR の啓発普及や民間業者への技術的な維持管理業務の委託等、セネガル政府側の政策に沿ったものであり、PEPAM プログラムの始動に対するセネガル政府や関係機関の積極性などから、本プロジェクト終了後もその連続性は持続され、支援の増大が維持できる。	同上
組織・財政 面	協力終了後 も、プロジ ェクトの たらした効 果を継続・ 発展させて いくための 体制（組織、 人材配置、 予算配分 等）整備の 可能性はど うか。	プロジェクトが 対象としたサイ トにおいて今後 セネガル側だけ でフォローアッ プ等の活動を継 続していく体制 はあるか。	維持管理業務の民間への委託に関わる法制度については早急な整備が必要であるとの認識をセネガル政府、関係諸機関とも有しており、既に PEPAM プログラムには法整備を含む活動フレームワークが明文化されるなど具体的に動きはじめているが、詳細なプランに付いては検討途上である。	同上
			体制はある。しかし十分に強固とは言い難い。 プロジェクトが対象としたサイトにおいて今後セネガル側だけでフォローアップ等の活動を継続していくには、プロジェクト終了後からしばらくは、実施機関が技術的な維持管理業務から監理を主とする間接的業務へ移行する過渡期であり、車輛の燃料費不足等の業務遂行予算が不足している状況から、定期的に行うベキモニタリングや必要なタイミミングで実施すべきフォローアップが困難となる可能性がある。予算に加えて人員の確保が必要である。 なお、セネガル側によれば 2006 年度からのフォローアップ活動予算を要求しており、他のプロジェクトにおいてプロジェクト期間中の活動経費はドナー頼りであったが終了後はフォローアップ予算がついていくことである。	同上
			体制はある。しかし十分に強固とは言い難い。 本プロジェクトで導入した手法やツールを使って、セネガル側だけでプロジェクト対象外の 53 サイトにおいて、ASUFOR 啓蒙・普及活動を実施したという事実はセネガル側の意欲、能力が高いことを示す。他方、本プロジェクト終了後からしばらくは、実施機関が技術的な維持管理業務から監理を主とする間接的業務へ移行する過渡期であること、車輛の燃料費不足等の業務遂行予算が不足している状況を考慮すると、セネガル側だけで対象サイトを拡大していく事は可能ではあるが、拡大のペースはスローダウンせざるをえない状況にある。	同上
			本プロジェクトは自分たちが必ず達成すべき優先課題であるとの認識は実施機関が強くもっている。	同上

付属資料 6-3 評価グリップド: 5 項目評価

(5) 自立発展性

大項目	評価設問		調査結果	情報源・データ 収集方法
	小項目			
	<p>経常経費を含む予算の確保は行われているか。セネガル側の予算措置は十分に講じられているか？</p>	<p>プロジェクト実施により将来の予算が増える可能性はどの程度あるか？ 予算確保のための対策は十分か？</p>	<p>プロジェクト期間中実施機関 (DEM) の年間予算はコンスタントに 550 百万 CFA フランで横這い状況となっている。今後については予測困難であるが、DEM が村落給水施設維持管理業務を直営から民間委託にきりかえることは政府の基本方針であり、DEM 全体の予算は減少傾向をとることは間違いない。そのなかで民間委託を推進するための指導・監理や訓練といった本プロジェクト関連経費については予算の増大が望まれるが確認できない。</p>	同上
技術面	<p>プロジェクトで用いられた技術移転の手法は受容されつつあるか。(技術レベル、社会的・慣習的要因など) 資機材の維持管理は適切に行われているか。</p>	<p>プロジェクトで用いられた技術移転の手法は受容されている。手法は必ずしも固定すべきものではなく、サイトごと村落ごとの文化的社会的な背景や状況に応じて適用し、見直しや改良の必要性も含めてセネガル側への技術移転を実施している。また、野菜栽培指導における節水農法、有機的農法は、現地で調達できる材料で可能であり、C/P の賛同を得ている。対象住民グループにも、実証を通じて理解されつつある。</p>	<p>セネガル側によれば 2006 年度からのフォローアップ活動予算を要求しており、他のプロジェクトにおいてもプロジェクト期間中の活動経費はドナー頼りであったが終了後はフォローアップ予算がついているので本件のフォローアップについても 2006 年度から認められる可能性が高いとのことである。</p>	同上
その他	<p>プロジェクト終了後セネガル側が上位目標にむけての活動を継続する上で直面すると思われる主要な問題点は何か。</p>	<p>調達機材は適切に配置・使用され、配置先で管理されている。但し、ルガ、カオラック、タンバクンダの各維持管理本部に配置された 3 台の井戸カメラについては、不具合があり、米国で修理行われた。</p>	<p>調達機材は適切に配置・使用され、配置先で管理されている。但し、ルガ、カオラック、タンバクンダの各維持管理本部に配置された 3 台の井戸カメラについては、不具合があり、米国で修理行われた。</p>	同上
		<p>1. 新たな体制への移行プロセスに関わる法整備 2. 能力のある民間セクターが十分に存在しない中で民間セクターへの維持管理委託を推進する適切なモデルの形成 3. 既存サイトのフォローアップ、新規サイトへの展開を含め活動の継続実施のための予算・人員の確保を含む体制の確立</p>		同上

付属資料 6-3 評価グリップド: 5 項目評価

(5) 自立発展性

大項目	評価設問		情報源・データ 収集方法
	小項目	調査結果	
総合的自立 発展性	上記のような側面を総合的に勘案して、自立発展性は高いのか、低いのか。	<p>かなり高い。セネガル政府が目指す地方給水事業の改革に沿った本プロジェクトの活動内容・成果は自立発展性の高いものと判断される。一方で、本プロジェクト終了後からしばらくの期間は、PEPAM プログラム等が推進され、新たな体制へ移行する過渡期である。この過渡期をセネガル側のみに任せると、或いはドナ側が過渡期に適したサポート（新たな体制への移行プロセスを後押しする等）を行うかで、「自立発展性」の質や規模に大きな違いが出てくると判断される。</p> <p>総合判断：A（既存サイトに対するフォロアアップと新規サイトへの展開をはかる適切な体制が確立されることを条件とする）</p> <p>村落レベルにおける自立発展性（本プロジェクトが対象としたサイトでは協力終了後も住民を中心に水利用組合の活動が継続・発展していくか）</p> <p>サイトにより差が大きい。先進優良サイトでは既に住民が力をつけており、自立発展性は高い。しかし後発サイトでは ASUFOR 活動がスタートしたとはいえ経験が不足であり、引き続きフォロアアップによる指導・支援が必要である。</p> <p>国レベルにおける自立発展性</p> <p>カウンターパートは力をつけており、能力的には、協力終了後も実施済みサイトのフロロアアップや新規サイトへの啓蒙普及はある程度可能と思われる。（すでにカウンターパートにより、プロジェクトで作成した教材やツールを使い、彼らだけでプロジェクト対象外の 53 サイトにおいて啓蒙・普及活動を行った実績がある。）しかしながら全国展開を考えた場合、予算、人員が充分とはいえない。</p> <p>総合的自立発展性</p> <p>ASUFOR 啓蒙普及活動のモデルは確立しつつあり、カウンターパートも力をつけている。政府の重要政策であった政策的支援も期待できることから自立発展性はあると判断される。しかしながら自立発展性をより確かなものとするためには以下が必要である。</p> <p>① 活動（既存サイトのフォロアアップ及び新規サイトへの展開）継続のための人件費や交通費をカバーする充分体制が構築されること。</p> <p>② 能力のある民間業者が育成されていない遠隔地において、契約ベースによって維持管理を民間業者に担当させるための有効なモデルを開発すること。</p> <p>③ 今後の行政側（DEM）の役割と、ASUFOR との契約をベースとした維持管理業務を委託される民間セクター導入の推進に係わる法的な整備。</p>	同上

付属資料 7-1 プロジェクト作成資料

F-01 : (プロ目 1)	158
F-02 : (プロ目 2) 1 : 故障頻度.....	163
F-02 : (プロ目 2) 2 : 給水停止日数.....	164
F-12 : (成果指標 1-2) 行政側管理	167
F-14 : (成果指標 1-4) 水質検査	168
F-21 : (成果指標 2-1) 従量制	169
F-22 : (成果指標 2-2) 料金徴収率	170
F-23 : (成果指標 2-3) 銀行口座	172
F-24 : (成果指標 2-4) 監査	174
F-25 : (成果指標 2-5) 女性 BE メンバー	179
F-26 : (成果指標 2-6) 女性 CD メンバー	180
F-27 : (成果指標 2-5) 会合出席率	181
F-31 : (成果指標 3-1) 1 : 揚水量検査	189
F-31 : (成果指標 3-1) 2 : 揚水量推移	190
F-32 : (成果指標 3-2) 水利用ガイドライン.....	198
F-61 : 派遣専門家リスト.....	200
F-62 : 供与機材リスト.....	201
F-63 : 年度別現地運営経費.....	203
F-64 : 施設整備.....	204
F-65 : C/P 本邦研修.....	205
F-66 : 再委託概要 (内容・金額)	206

F-01 : ASUFOR活動状況の総合判定一覧

作成年月日: 2005年9月

数字: 判定18項目の○数、(): 判定△数、初出: ASUFOR設立前

Site		2004年3月 インテリム1	2004年8月 プロGRESS2	2004年12月 インテリム2	2005年5月 プロGRESS3	2005年9月 終盤評価
G1	Ndatt Belakho	14	15	18	17	16
	Nguith	12	15	18	17	17
	Wendou Loumbel	15	16	18	16	14
	Mbayène Thiasdé	14	15	16	16	17
	Mbayène Nègué	15	15	15	17	18
	Moukh Moukh	14	16	18	18	18
G2	Kara Voyndou	-	12	12	15	12
	Gaoudi Gotti	-	14 (+1)	15	14	8
	Boke Dialoube	-	14	15	17	15
	Bakhaya	-	15	15	16	17
	Hamadi Ounaré	-	12	15	16	16
	Touba Linguère	-	12	13	15	13
G3-1	Sinthiou Malème	-	12	13	13	8
	Diagle Sine	-	14	15	16	16
	Darou Ndimbelane	-	13	14	15	15
	Keur Daouda	-	14	15	16	16
	Darou Ndiawène	-	14	14	16	16
	Fass Ndimbelane	-	13	13	15	16
G3-2	Dialakoto	-	-	8 (+2)/13	14	13
	Goumbayel	-	-	8 (+2)/13	16	15
	Méréto Dialoubé	-	-	9 (+3)/13	17	17
	Darou Salam II Sine	-	-	8 (+2)/13	17	16
	Diam Diam	-	-	8 (+2)/13	16	18
	Dawadi	-	-	8 (+1)/13	16	17
最優良サイト数		-	0	4	1	3
優良サイト数		-	11	9	18	15
優良、最優良サイト数合計		-	11	13	19	18
普通サイト数		-	4	2	3	3
不良サイト数		-	3	3	2	3

最優良サイト:

全項目が○判定

優良サイト:

主要項目は○判定(最低15以上)、かつ積立金50万F.cfa以上

普通サイト:

主要項目に×判定があるが、積立金は50万F.cfa以上

不良サイト:

主要項目のいくつか×判定、かつ積立金50万F.cfa以下

(Gaoudi Gottiは積立金90万F.cfaあるが、従量制中止のため不良と判定)

ASUFOR運営状況総合判定

前提条件(A1-3) 判定項目(A4-18)	グループ 1					
	NDATE- BELAKHORE	NGUITH	WENDOU LOUMBEL	MBAYENE THIASDE	MBEYENE- NEGUE	MOUKH MOUKH
A1. 飲料可能な水質である	○	○	○	○	○	○
A2. 水が枯渇していない	○	○	○	○	○	○
A3. 給水施設が順調に稼働している (末端施設、漏水も含む)	○	×	○	×	○	○
A4. 従量制が徹底されている(家畜については別途対応)	○	○	○	○	○	○
A5. 販売した水に対して料金徴収が80%行われている	○	○	○	○	○	○
A6. 料金撤収が適正になされ、会計関連書類が毎月作成されている	×	○	×	○	○	○
A7. 施設規模に応じて、積立金が銀行口座に一定額以上積み立てられている	×	○	○	○	○	○
A8. ASUFOR内部規定事項が遵守されている	○	○	○	○	○	○
A9. 事務局会議 (BUREAU EXECUTIF) が毎月1回以上行われ、議事録が作成されている	○	○	○	○	○	○
A10. 理事会 (COMITE DIRECTEUR) が毎月1回開催され、議事録が作成されている	○	○	×	○	○	○
A11. 最低年1回住民総会が開催され議事録及び会計報告がなされている	○	○	×	○	○	○
A12. ASUFOR中心メンバー (事務局・理事会) の適正な人選と改選が定期的になされている	○	○	×	○	○	○
A13. 全ての利用者が公平に利用できている	○	○	○	○	○	○
A14. ASUFORの雇用者に対して適正な給金が支払われている	○	○	○	○	○	○
A15. 給水施設及び末端水栓において適正な水資源管理がなされている	○	○	○	○	○	○
A16. 施設運営上妥当とされるm ³ 単価が設定されている	○	○	○	×	○	○
A17. 給水関連施設の清掃がなされている	○	○	○	○	○	○
A18. 給水関連施設に盗難被害等による欠損が無い	○	○	○	○	○	○
○判定数	16	17	14	17	18	18
総合判定	優良	優良	普通	優良	最優良	最優良

ASUFOR運営状況総合判定

前提条件(A1-3) 判定項目(A4-18)	グループ 2					
	KARA VENDOU	GAOUDI GOTI	BOKE DIALOUBE	BAKHAYA	HAMADI OUNARE	TOUBA LINGUERE
A1. 飲料可能な水質である	○	○	○	○	○	○
A2. 水が枯渇していない	○	○	○	○	○	○
A3. 給水施設が順調に稼働している(末端施設、漏水も含む)	×	○	○	○	○	×
A4. 従量制が徹底されている(家畜については別途対応)	○	×	○	○	○	○
A5. 販売した水に対して料金徴収が80%行われている	○	×	○	○	○	○
A6. 料金徴収が適正になされ、会計関連書類が毎月作成されている	×	×	○	○	○	○
A7. 施設規模に応じて、積立金が銀行口座に一定額以上積み立てられている	○	○	○	○	○	×
A8. ASUFOR内部規定事項が遵守されている	×	×	○	○	○	×
A9. 事務局会議 (BUREAU EXECUTIF) が毎月1回以上行われ、議事録が作成されている	○	×	○	○	○	○
A10. 理事会 (COMITE DIRECTEUR) が毎月1回開催され、議事録が作成されている	○	×	×	○	○	○
A11. 最低年1回住民総会が開催され議事録及び会計報告がなされている	×	×	×	○	×	○
A12. ASUFOR中心メンバー (事務局・理事会) の適正な人選と改選が定期的になされている	×	×	×	×	×	×
A13. 全ての利用者が公平に利用できている	○	○	○	○	○	○
A14. ASUFORの雇用者に対して適正な給金が支払われている	○	×	○	○	○	○
A15. 給水施設及び末端水栓において適正な水資源管理がなされている	○	○	○	○	○	×
A16. 施設運営上妥当とされるm ³ 単価が設定されている	×	×	○	○	○	○
A17. 給水関連施設の清掃がなされている	○	○	○	○	○	○
A18. 給水関連施設に盗難被害等による欠損が無い	○	○	○	○	○	○
○判定数	12	8	15	17	16	13
総合判定	普通	不良	優良	優良	優良	不良

ASUFOR運営状況総合判定

前提条件(A1-3) 判定項目(A4-18)	グループ 3-1					
	SINTHIOU MALEM	DIAGLE SINE	DAROU NDIMBELANE	KEUR DAOUDA	DAROU NDIAWENE	FASS NDIMBELANE
A1. 飲料可能な水質である	○	○	○	○	○	○
A2. 水が枯渇していない	○	○	○	○	○	○
A3. 給水施設が順調に稼働している(末端施設、漏水も含む)	×	○	○	○	○	○
A4. 従量制が徹底されている(家畜については別途対応)	○	○	○	○	○	○
A5. 販売した水に対して料金徴収が80%行われている	×	○	×	○	○	○
A6. 料金撤収が適正になされ、会計関連書類が毎月作成されている	×	○	○	○	○	○
A7. 施設規模に応じて、積立金が銀行口座に一定額以上積み立てられている	×	○	○	○	○	○
A8. ASUFOR内部規定事項が遵守されている	×	○	○	○	○	○
A9. 事務局会議 (BUREAU EXECUTIF) が毎月1回以上行われ、議事録が作成されている	×	○	○	○	○	○
A10. 理事会 (COMITE DIRECTEUR) が毎月1回開催され、議事録が作成されている	○	○	○	○	○	○
A11. 最低年1回住民総会が開催され議事録及び会計報告がなされている	×	×	×	×	×	×
A12. ASUFOR中心メンバー (事務局・理事会) の適正な人選と改選が定期的になされている	×	×	×	×	×	×
A13. 全ての利用者が公平に利用できている	○	○	○	○	○	○
A14. ASUFORの雇用者に対して適正な給金が支払われている	○	○	○	○	○	○
A15. 給水施設及び末端水栓において適正な水資源管理がなされている	×	○	○	○	○	○
A16. 施設運営上妥当とされるm ³ 単価が設定されている	×	○	○	○	○	○
A17. 給水関連施設の清掃がなされている	○	○	○	○	○	○
A18. 給水関連施設に盗難被害等による欠損が無い	○	○	○	○	○	○
○判定数	8	16	15	16	16	16
総合判定	不良	優良	優良	優良	優良	優良

ASUFOR運営状況総合判定

前提条件(A1-3) 判定項目(A4-18)	グループ 3-2					
	DIALA-KOTO	GOUM-BAYEL	MERETO DIALOUBE	DAROU SALAM II SINE	DIAM DIAM	DAWADI
A1. 飲料可能な水質である	○	○	○	○	○	○
A2. 水が枯渇していない	○	○	○	○	○	○
A3. 給水施設が順調に稼動している(末端施設、漏水も含む)	×	○	○	×	○	○
A4. 従量制が徹底されている(家畜については別途対応)	×	×	○	○	○	○
A5. 販売した水に対して料金徴収が80%行われている	×	×	×	○	○	○
A6. 料金徴収が適正になされ、会計関連書類が毎月作成されている	○	○	○	○	○	○
A7. 施設規模に応じて、積立金が銀行口座に一定額以上積み立てられている	×	○	○	○	○	○
A8. ASUFOR内部規定事項が遵守されている	×	×	○	○	○	○
A9. 事務局会議 (BUREAU EXECUTIF) が毎月1回以上行われ、議事録が作成されている	○	○	○	○	○	○
A10. 理事会 (COMITE DIRECTEUR) が毎月1回開催され、議事録が作成されている	○	○	○	○	○	○
A11. 最低年1回住民総会が開催され議事録及び会計報告がなされている	○	○	○	○	○	○
A12. ASUFOR中心メンバー (事務局・理事会) の適正な人選と改選が定期的になされている	○	○	○	○	○	○
A13. 全ての利用者が公平に利用できている	○	○	○	○	○	○
A14. ASUFORの雇用者に対して適正な給金が支払われている	○	○	○	○	○	○
A15. 給水施設及び末端水栓において適正な水資源管理がなされている	○	○	○	○	○	○
A16. 施設運営上妥当とされるm ³ 単価が設定されている	○	○	○	○	○	○
A17. 給水関連施設の清掃がなされている	○	○	○	×	○	×
A18. 給水関連施設に盗難被害等による欠損が無い	○	○	○	○	○	○
○判定数	13	15	17	16	18	17
総合判定	普通	優良	優良	優良	最優良	優良

F-02 (1): 給水停止となる施設故障の発生頻度一覧

作成年月日 2005年10月

G1	Site	Brigade	ASUFOR 従量制移行 開始日	2001年 - ASUFOR開始(従量制移行)前			ASUFOR開始(従量制移行)後 - 2005年10月			給水停止となる 施設故障発生頻度 の傾向
				期間 日数	給水停止 件数	給水停止 日数(日/年)	期間 日数	給水停止 件数	給水停止 日数(日/年)	
	Ndatt Belakho	Louga	2004/9/30	1,360	-	5.04	457	0	0.00	減少
	Nguith	Linguère	2003/10/23	1,026	3	2.85	800	4	7.76	増加
	Wendou Loumbel	Linguère	2004/6/7	1,254	-	5.04	572	1	2.55	減少
	Mbayène Thiasdéd	Linguère	2004/6/1	1,248	-	5.04	578	2	1.89	減少
	Mbayène Négué	Linguère	2004/8/20	1,328	-	5.04	498	0	0.00	減少
	Moukh Moukh	Louga	2001/12	365	-	5.04	1,461	0	0.00	減少
	Kara Voyndou	Ndioum	2005/8	1,673	5	1.53	153	0	0.00	減少
	Gaoudi Gotti	Ndioum	2004年前期実施 現在停止	1,216	4	1.20	610	0	0.00	減少
	Boke Dialoubé	Ndioum	2004/7/1	1,277	2	0.57	549	0	0.00	減少
	Bakhaya	Louga	2005/1/11	1,472	-	5.04	354	0	0.00	減少
	Hamadi Ounaré	Matam	2003/12	1,095	7	10.33	731	1	2.50	減少
	Touba Linguère	Linguère	2004/11/1	1,401	2	1.9	425	0	0.00	減少
	Sinthiou Malème	Tamba	2004/12/1	1,431	-	5.04	395	0	0.00	減少
	Diagle Sine	Tamba	2004/9	1,339	-	5.04	487	1	0.75	減少
	Darou Ndimbelane	Tamba	2004/10/27	1,396	3	4.44	430	3	8.49	増加
	Keur Daouda	Tamba	2004/12	1,430	2	2.30	396	0	0.00	減少
	Darou Ndiawène	Tamba	2004/10/8	1,377	-	5.04	449	1	4.88	減少
	Fass Ndimbelane	Tamba	2004/11	1,400	3	6.78	426	0	0.00	減少
	Dialakoto	Tamba	2004/12/13	1,443	-	5.04	383	2	3.81	減少
	Goumbayel	Tamba	2004/12/1	1,431	-	5.04	395	0	0.00	減少
	Méréto Dialoubé	Tamba	2005/1/13	1,474	1	2.3	352	3	18.66	増加
	Darou Salam SineII	Tamba	2005/3/16	1,536	3	15.45	290	1	1.26	減少
	Diam Diam	Tamba	2004/12/1	1,431	3	6.38	395	1	6.47	増加
	Dawadi	Tamba	2005/1	1,461	-	5.04	365	2	3.00	減少
G2										
G3										
-1										
-2										

註-1: 記録不備によりASUFOR開始前の給水停止日数が不明の場合、タンバウンダ2002年統計(DEM出動回数0.14/月)より算出した。

【給水停止日数=0.14(回/月)×3(日/回)×12ヵ月=5.04日/年】

註-2: 給水停止日数については、別紙F-02(2)を参照。

F-02 (2): 給水停止日数

Date 2005年10月

ID	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付	日数	給水停止理由		日付	日数	給水停止理由	
NB	不明				なし	0		
	ASUFOR前 給水停止日数		不明		ASUFOR後 給水停止日数		0	
	NG	2001 3月15日	1			2004 9月30日	1	
2001 11月10日		6	11月15日		2004 11月10日	3	11月12日	
2003 7月12日		1			2004 11月28日	12	12月9日 エンジン交換	
ASUFOR前 給水停止日数		8		ASUFOR後 給水停止日数		17		
WL		不明				2004 6月9日	4	6月12日 オイルフィルター交換
	ASUFOR前 給水停止日数		不明		ASUFOR後 給水停止日数		4	
	MT	不明				2004 6月4日	1	ポンプ部品交換
ASUFOR前 給水停止日数		不明		2004 12月26日	2	12月27日 水槽タップ修理		
ASUFOR前 給水停止日数		不明		ASUFOR後 給水停止日数		3		
MN	不明				なし	0		
	ASUFOR前 給水停止日数		不明		ASUFOR後 給水停止日数		0	
	MM	不明				なし	0	
ASUFOR前 給水停止日数		不明		ASUFOR後 給水停止日数		0		
KV		2001 3月21日	2	3月22日		なし	0	バルブ修理(未停止)
	2001 9月3日	2	9月4日					
	2002 12月24日	1						
	2002 3月12日	1						
	2002 12月16日	1						
	ASUFOR前 給水停止日数		7		ASUFOR後 給水停止日数			
GG	2001 11月30日	1			なし			
	2004 12月27日	1						
	2004 6月24日	1						
	2005 6月25日	1	制御盤・電気系統修理					
	ASUFOR前 給水停止日数		4					
BD	2001 4月17日	1	オイルポンプ交換		2005 2月1日	0	ポンプ接続修理(未停止)	
	2001 10月19日	1	オイルポンプ修理					
	ASUFOR前 給水停止日数		2					

BK	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由
	不明				なし			
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			0

HO	ASUFOR前				ASUFOR後					
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由		
	2001	3月8日	3月9日	2	バルブ交換	2004	11月29日	12月4日	5	発電機交換
	2001	4月15日	4月25日	11	エンジン修理					
	2001	9月28日	9月30日	3	?					
	2002	1月3日	1月7日	5	ポンプ修理					
	2003	10月5日	10月5日	1	燃料漏れ					
	2004	2月20日	2月24日	5	ポンプ部品交換					
2004	4月9日	4月12日	4	ポンプ部品交換						
ASUFOR前 給水停止日数			31	ASUFOR後 給水停止日数			5			

TL	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由
	2004	1月24日	2月10日	18	燃料タンク修理	なし		
	2004	5月24日		1	電気系統修理			
ASUFOR前 給水停止日数			19	ASUFOR後 給水停止日数			0	

SM	ASUFOR前				ASUFOR後				
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由	
	不明				2005	5月2日	5月4日	3	ダイオード交換
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			3	

DS	ASUFOR前				ASUFOR後				
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由	
	不明				2005	3月		1	スターター交換
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			1	

DNb	ASUFOR前				ASUFOR後					
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由		
	2002	6月12日	6月18日	7	バルブ交換	2005	1月3日	1月7日	5	ポンプ修理
	2003	5月20日	5月23日	4	制御盤交換	2005	3月		2	発電機修理
	2004	2月27日	3月3日	6	ポンプ修理	2005	9月		3	発電機修理
ASUFOR前 給水停止日数			17	ASUFOR後 給水停止日数			10			

KD	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由
	2001	11月7日	11月18日	9	発電機交換	なし		
	ASUFOR前 給水停止日数			9	ASUFOR後 給水停止日数			0

DNw	ASUFOR前				ASUFOR後				
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由	
	不明				2005	6月9日	6月14日	6	配管部品交換
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			6	

FN	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由
	2002	11月18日	11月20日	3	電気系統修理	なし		
	2003	7月30日	8月3日	5	電気系統修理			
	2004	4月7日	4月25日	18	ポンプ交換			
ASUFOR前 給水停止日数			26	ASUFOR後 給水停止日数			0	

DK	ASUFOR前				ASUFOR後				
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由	
	不明				2005	5月22日	5月24日	3	発電機修理
					2005	9月		1	
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			3	

GB	ASUFOR前				ASUFOR後			
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由
	不明				なし			
ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			0	

MD	ASUFOR前				ASUFOR後					
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由		
	2001	11月6日	11月28日	23	ポンプ修理	2005	5月2日	5月5日	4	スターター修理(未停止)
						2005	7月6日	7月15日	10	遮断機交換
						2005	9月		4	電気系統修理
ASUFOR前 給水停止日数			23	ASUFOR後 給水停止日数			18			

DSII	ASUFOR前				ASUFOR後					
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由		
	2001	10月8日	11月14日	13	発電機修理	2005	2月		1	ジョイント交換
	2002	2月1日	2月19日	19	揚水管・ポンプ修理					
	2003	1月9日	2月11日	33	発電機エンジン交換					
ASUFOR前 給水停止日数			65	ASUFOR後 給水停止日数			1			

DD	ASUFOR前				ASUFOR後					
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由		
	2001	11月26日	11月27日	3	電気回路部品交換	2005	8月4日	8月9日	6	導水管修理
	2001	7月12日	8月4日	16	ポンプ交換	2005	10月		1	電気系統修理
	2003	8月19日	8月24日	6	電気系統修理					
ASUFOR前 給水停止日数			25	ASUFOR後 給水停止日数			7			

DW	ASUFOR前				ASUFOR後				
	日付		日数	給水停止理由	日付		日数	給水停止理由	
	不明				2005	8月8日	8月10日	3	スターター修理(未停止)
					2005	10月16日		0	スターター修理(未停止)
	ASUFOR前 給水停止日数			不明	ASUFOR後 給水停止日数			3	

F-12 : 行政側によるASUFOR活動の管理状況一覧

作成年月日 2005年10月

2005年6月時点で契約締結の段階に至っていないため、成果指標1-2(契約に基づいた行政側の監理)は、下記の行政側によるASUFOR活動の監理状況一覧に代えて示す。
行政側(維持管理センター: BPF)によるASUFOR活動状況の確認結果は下記の3種のBPFチェックシートによりDEM本部へ報告された。

Q1 : ASUFOR運営・施設状況に関する現地確認、 Q2 : 施設修理概要・支出状況に関する現地確認、 Q3 : 住民側水利用ガイドライン理解状況に関する現地確認

	Site	Burigade	6月			7月			8月			9月			10月			備考	
			Q1	G2	Q3	Q1	G2	Q3	Q1	G2	Q3	Q1	G2	Q3	Q1	G2	Q3		
G1	Ndatt Belakho	Louga	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	Nguith	Linguère	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Wendou Loumbel	Linguère	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Mbayène Thiasdé	Linguère	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Mbayène Nègué	Linguère	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	Moukh Moukh	Louga	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
G2	Kara Voindou	Ndioum	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Gaoudi Gotti	Ndioum	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Boke Dialoube	Ndioum	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Bakhaya	Louga	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Hamadi Ounaré	Matam	/	/	/	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Touba Linguère	Linguère	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
G3 -1	Sinthiou Malème	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Diagle Sine	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Darou Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Keur Daouda	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Darou Ndiawène	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Fass Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
G3 -2	Dialakoto	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Goumbayel	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Mérito Dialoubé	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Darou Salam Sinle II	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Diam Diam	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	Dawadi	Tamba	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

註-1 : チェックシートによる監理報告は、2005年6月にまずリグール地域より試験的に実施された。

註-2 : 2005年9月に全国15ヶ所BPF長の任地移動が行われたため、BPFによるASUFOR活動監理は実質上不能であった。

上表、●は、BPFからの監理(BPFチェックシートによる)報告を示す、タンハクダ地域の○印はDEM本部職員の代行による。(ルカ等の北部地域における「DEM職員代行は諸事情により実施されていない」)

F-14 : 行政側(DGPRE)による対象地域の観測井モニタリング状況(水質検査実施頻度)一覧

作成年月日

2005年10月

Site	Burigade	帯水層	観測井		2003年		2004年		2005年		備考
			名称	NO.	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	
G1	Ndatt Belakho	Louga	Eocène	Kébémer	05-5x-0003	2月	10月	4月	6月	4月	
	Nguith	Linguère	Maastrichtien	Gasset oulof	06-8x-0008	2月	-	10月	8月	4月	
	Wendou Loumbel	Linguère	Maastrichtien	Khatali	06-8x-0007	2月	-	10月	8月	4月	
	Mbayène Thiasdé	Linguère	Maastrichtien	Mbayène Thiasdé	06-5x-0012	2月	-	10月	8月	4月	
	Mbayène Nègué	Linguère	Maastrichtien	Mbayène Thiasdé	06-5x-0012	2月	-	10月	8月	4月	
	Moukh Moukh	Louga	Maastrichtien	Mbayène Thiasdé	06-5x-0012	2月	-	10月	8月	4月	
	Kara Voyndou	Ndioum	Maastrichtien	Kanel et Matam	08-6x-0017	2月	-	10月	8月	4月	
	Gaoudi Gotti	Ndioum	Maastrichtien	Kanel et Matam	08-6x-0017	2月	-	10月	8月	4月	
	Boke Dialoube	Ndioum	Maastrichtien	Kanel et Matam	08-6x-0017	2月	-	10月	8月	4月	
	Bakhaya	Louga	Eocène	Guéoul	5x-0013	2月	10月	4月	6月	4月	
G2	Hamadi Ounaré	Matam	Maastrichtien	Kanel	08-6x-0017	2月	-	10月	8月	4月	
	Touba Linguère	Linguère	Maastrichtien	Gasset oulof	06-8x-0008	2月	-	10月	8月	4月	
	Sinthiou Malème	Tamba	Olgo-miocène	Fadiacounda	18-5x-0007	2月	-	10月	8月	4月	
	Diagle Sine	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	11月	8月	4月	
	Darou Ndimbelane	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	10月	8月	4月	
	Keur Daouda	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	10月	8月	4月	
	Darou Ndiawène	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	11月	8月	4月	
	Fass Ndimbelane	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	10月	8月	4月	
	Dialakoto	Tamba	Maastrichtien	Bantanani	20-1x-0001	2月	-	10月	8月	4月	
	Goumbayel	Tamba	Maastrichtien	Bantanani	20-1x-0001	2月	-	10月	8月	4月	
G3	Mérito Dialoubé	Tamba	Maastrichtien	Koundiao Souaré	18-2x-0009	2月	-	10月	8月	4月	
	Darou Salam II Sine	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	10月	8月	4月	
	Diam Diam	Tamba	Olgo-miocène	Pakéba	18-5x-0004	2月	-	10月	8月	4月	
	Dawadi	Tamba	Maastrichtien	Koundiao Souaré	18-2x-0009	2月	-	10月	8月	4月	

註 : 2003年のモニタリングは、実施予算の制限から一部の観測井を除き、実施回数は1回となっている。

F-21 : 従量制による水料金徴収状況(従量制導入時期)

作成年月日: 2005年9月

Site		2003年	2004年		2005年	
			前期	後期	前期	後期
G1	Ndatt Belakho			2004.09.30		
	Nguith	2003.10.23				
	Wendou Loumbel		2004.06.07			
	Mbayène Thiasdé		2004.06.01			
	Mbayène Nègué			2004.08.20		
	Moukh Moukh	2003.10	(2001.12より従量制を部分的に実施)			
G2	Kara Voyndou					2005.08
	Gaoudi Gotti			雨季以降中止	中止	(再開計画中)
	Boke Dialoube			2004.07.01		
	Bakhaya				2005.01.11	
	Hamadi Ounaré					
	Touba Linguère			2004.11.01		
G3-1	Sinthiou Malème			2004.12		
	Diagle Sine			2004.09		
	Darou Ndimbelane			2004.10.27		
	Keur Daouda			2004.12		
	Darou Ndiawène			2004.10.08		
	Fass Ndimbelane			2004.11		
G3-2	Dialakoto			2004.12.13	(故障水量メータの修理中)	
	Goumbayel			2004.12.01		
	Méréto Dialoubé				2005.01.13	
	Darou Salam II Sine				2005.03.16	
	Diam Diam			2004.12.01		
	Dawadi				2005.01	

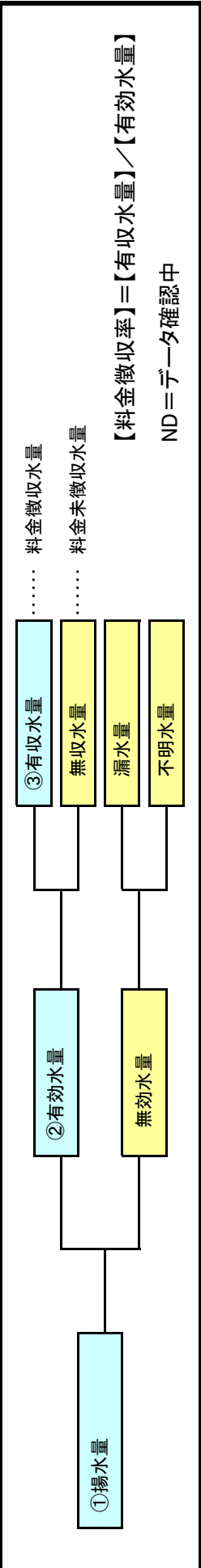
従量制実施サイト数	2	5	17	22	23
-----------	---	---	----	----	----

F-22 : 水料金徴収率一覽(1)

作成年月日

2005/9/30

Site	2005年5月				2005年6月				2005年7月							
	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m3)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m3)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m3)	料金徴収率 (③/②)		
G1	Ndatt Belakho	5,700	4,830	4,681	85%	96.9%	5,700	4,960	4,892	87%	98.6%	5,420	ND	ND	ND	ND
	Nguith	7,590	3,311	3,294	44%	99.5%	6,570	2,966	2,681	45%	90.4%	3,420	1,619	1,556	47%	96.1%
	Wendou Loumbel	3,627	3,622	2,909	100%	80.3%	3,049	ND	ND	ND	ND	1,186	ND	ND	ND	ND
	Mbayène Thiassé	ND	2,841	2,841	ND	100.0%	5,431	4,516	4,516	83%	100.0%	2,040	1,550	1,550	76%	100.0%
	Mbayène Nègué	1,795	1,635	1,635	91%	100.0%	1,633	1,637	1,313	100%	80.2%	1,120	1,172	1,172	105%	100.0%
G2	Moukh Moukh	6,212	4,827	4,827	78%	100.0%	5,886	4,779	4,779	81%	100.0%	2,825	2,059	2,059	73%	100.0%
	Kara Voynidou	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	Gaoudi Gotti	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
	Boke Dialoutbe	ND	ND	ND	ND	ND	9,636	ND	ND	ND	ND	3,629	ND	ND	ND	ND
	Bakhaya	894	982	982	110%	100.0%	1,006	712	712	71%	100.0%	973	707	707	73%	100.0%
G3	Hamadi Ounaré	11,524	3,620	3,620	31%	100.0%	10,843	ND	ND	ND	ND	7,431	ND	ND	ND	ND
	Touba Linguère	7,335	1,783	1,783	24%	100.0%	5,614	2,032	2,032	36%	100.0%	1,939	1,203	1,203	62%	100.0%
	Dialakoto	400	ND	ND	ND	ND	100	ND	ND	ND	ND	125	ND	ND	ND	ND
	Goumbayel	1,587	1,558	1,105	98%	70.9%	622	414	340	67%	82.1%	ND	338	314	ND	92.9%
	Sinthiou Malème	ND	ND	ND	ND	ND	1,415	1,388	1,388	98%	100.0%	925	ND	ND	ND	ND
G3	Diagle Sine	1,243	1,240	1,240	100%	100.0%	1,179	1,179	914	100%	77.5%	847	709	709	84%	100.0%
	Mérito Dialoubé	ND	3,774	3,162	ND	83.8%	3,800	3,670	2,523	97%	68.7%	ND	1,414	1,256	ND	88.8%
	Darou Ndimbelane	ND	1,240	464	ND	37.4%	1,582	478	440	30%	92.1%	289	266	266	92%	100.0%
	Darou Salam II Sine	1,833	ND	ND	ND	ND	1,706	768	768	45%	100.0%	629	813	813	129%	100.0%
	Keur Daouda	ND	1,391	1,364	ND	98.1%	1,153	1,964	895	170%	45.6%	526	457	457	87%	100.0%
	Diam Diam	1,897	1,089	1,082	57%	99.4%	2,200	2,030	1,430	92%	70.4%	665	678	678	102%	100.0%
	Darou Ndiawène	1,096	1,134	919	103%	81.0%	1,146	1,077	948	94%	88.0%	772	699	637	91%	91.1%
	Fass Ndimbelane	1,764	948	781	54%	82.4%	1,585	1,596	1,567	101%	98.2%	571	535	336	94%	62.8%
	Dawadi	ND	ND	ND	ND	ND	2,089	1,875	1,875	90%	100.0%	878	707	707	81%	100.0%

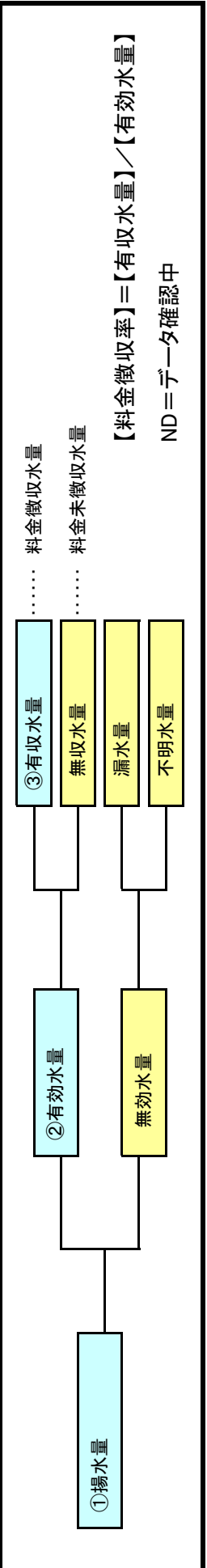


F-22 : 水料金徴収率一覽(2)

作成年月日

2005/9/30

Site	2005年8月				2005年9月				2005年10月								
	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)	①揚水量 (m3)	②有効水量 (m3)	③有収水量 (m)	料金徴収率 (③/②)	有効率 (②/①)
G1	Ndatt Belakho	6,160	4,261	4,160	97.6%	69%	97.6%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Nguith	ND	1,400	1,400	100.0%	ND	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Wendou Loumbel	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Mbayène Thiasdé	ND	943	943	100.0%	ND	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Mbayène Nègué	952	1,024	1,022	99.8%	108%	99.8%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
G2	Moukh Moukh	2,220	1,551	1,541	99.4%	70%	99.4%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Kara Voynidou	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Gaoudi Gotti	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Boke Dialoutbe	2,995	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Bakhaya	885	795	795	100.0%	90%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
G3	Hamadi Ounaré	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Touba Linguère	899	816	816	100.0%	91%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Dialakoto	140	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Goumbayel	ND	315	305	96.8%	ND	96.8%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Sinthiou Malème	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
G3	Diagle Sine	726	817	797	97.6%	113%	97.6%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Mérito Dialoubé	ND	ND	ND	ND	ND	ND				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Darou Ndimbelane	242	214	214	100.0%	88%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Darou Salam II Sine	529	525	505	96.2%	99%	96.2%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Keur Daouda	482	424	424	100.0%	88%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Diam Diam	ND	502	502	100.0%	ND	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Darou Ndiawène	574	539	539	100.0%	94%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
	Fass Ndimbelane	387	387	387	100.0%	100%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!
Dawadi	736	402	402	100.0%	55%	100.0%				#DIV/0!	#DIV/0!				#DIV/0!	#DIV/0!	



F-23 : ASUFORの銀行口座開設状況一覧

作成年月日:

2005年9月

Site	口座開設日	銀行名	銀行所在地	備考
G1	Ndatt Belakho	(未開設)		
	Nguith	(確認中)	MEC/DJO	Linguère (確認中)
	Wendou Loumbel	(確認中)	CMS	Diourbel (確認中)
	Mbayène Thiasdé	2003	MEC/DJO	Dahra (確認中)
	Mbayène Nègué	2005.07	CMS	Dahra
	Moukh Moukh	2004.07.01	CNCAS	Louga
G2	Kara Voyndou	(確認中)	CNCAS	Ndioum 旧委員会から開設
	Gaoudi Gotti	2001.	CNCAS	Ndioum 旧委員会から開設
	Boke Dialoube	2004.10.25	CNCAS	Ndioum
	Bakhaya	1994	poste(郵便局)	Guéoul 旧委員会から開設
	Hamadi Ounaré	1999.11.24	CNCAS	Matam 旧委員会から開設
	Touba Linguère	2000.03.27	MEC/DJO	Linguère 旧委員会から開設
G3-1	Sinthiou Malème	2004.11	MECUDEF	Sinthiou Malème
	Diagle Sine	2003.04.16	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設
	Darou Ndimbelane	2004.02.25	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設
	Keur Daouda	2003.04.17	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設
	Darou Ndiawène	2004.02.05	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設
	Fass Ndimbelane	2005.03.14	CMS	Koumpentoum
G3-2	Dialakoto	2005.01.06	CMS	Missirah
	Goumbayel	2005.06.14	CMS	Tambacounda
	Méréto Dialoubé	2005.01.03	CMS	Koumpentoum
	Darou Salam II Sine	2005.02.25	CMS	Koumpentoum
	Diam Diam	2003.03.10	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設
	Dawadi	2001	CMS	Koumpentoum 旧委員会から開設

註:

MEC/DJO : Mutuelle d'Epargne et de Crédit du Djoloff

CMS : Crédit Mutuel du Sénégal

CNCAS : Caisse Nationale de Crédit Agricole du Sénégal

MECUDEF : Mutuelle d'Epargne et de Crédit de l'UNACOIS DEF(Union Nationale des Commerçants et Industriels du Sénégal pour le Développement Economique et Financier)

F-23' : ASUFOR積立て金額

調査年月: 2005年8,9月

Site		銀行口座 金額	事務局 手許金	合計	旧管理委員会 からの引継ぎ額	備考
G1	Ndatt Belakho	0	7,133,180	7,133,180	1,500,000	(口座未開設)
	Nguith	750,000	156,755	906,755	524,000	
	Wendou Loumbel	(確認中)	(確認中)	650,000	335,000	2005年3月データ
	Mbayène Thiasdé	1,455,725	376,625	1,832,350	735,000	
	Mbayène Nègué	1,000,000	850,000	1,850,000	600,000	
	Moukh Moukh	3,324,310	0	3,324,310	1,000,000	
G2	Kara Voyndou	1,095,000	110,000	1,205,000	795,000	
	Gaoudi Gotti	900,000	0	900,000	700,000	
	Boke Dialoube	2,750,000	569,265	3,319,265	835,225	
	Bakhaya	3,546,936	375,000	3,921,936	2,714,716	
	Hamadi Ounaré	(確認中)	(確認中)	3,662,940	50,000	
	Touba Linguère	392,233	0	392,233	452,200	
G3-1	Sinthiou Malème	31,250	0	31,250	850	
	Diagle Sine	2,450,000	340,670	2,790,670	1,748,000	
	Darou Ndimbelane	485,000	200,000	685,000	0	ポンプ修理支出大
	Keur Daouda	1,600,000	160,190	1,760,190	370,000	
	Darou Ndiawène	1,160,500	44,000	1,204,500	475,000	その他資産 925,500F.cfa (ハオハブ実農業機械)
	Fass Ndimbelane	902,000	1,600	903,600	75,000	手許金額は一部のみ
G3-2	Dialakoto	50,000	15,000	65,000	0	
	Goumbayel	1,656,550	291,160	1,947,710	745,600	
	Méréto Dialoubé	5,406,292	705,805	6,112,097	3,241,292	口座保証金100万, 貯蓄口座 300万
	Darou Salam II Sine	2,206,265	0	2,206,265	940,360	当座206,265 貯蓄口座2,000,00
	Diam Diam	1,878,100	100,025	1,978,125	270,100	当座1,189,100 貯蓄口座689,000
	Dawadi	1,205,000	103,100	1,308,100	250,000	

註: 赤字: 積立て金額が施設維持管理(民間契約)に最低限必要な70万F.cfa以下

F-24 : 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が監査される。

作成年月日: 2005年9月

→ 理事会が定期的に開催され、会計報告が明確に行われている。

サイト	評価	コメント	
G1	Ndatt Belakhor	×	理事会の開催頻度は低く、会計報告も明瞭になされていない。
	Nguith	◎	2005年5月以降、理事会は開催され会計報告もされている。
	Wendou Loumbel	×	理事会はASUFOR 発足後1度も開催されておらず、会計報告は適宜個別に行われている。
	Mbayène Thiasdé	◎	2004年8月以降、理事会はほぼ毎月開催され、会計報告も行われている。
	Mbayène Nègué	◎	2005年5月以降、理事会は開催され会計報告、モニタリングシートの提出もされている。
	Moukh Moukh	◎	ASUFOR発足後、会計報告は理事会で毎月行われている。
G2	Kara Voyndou	×	理事会はほとんど開催されていない。
	Gaoudi Gotti	○	理事会における会計報告は口頭で行われ、議事録は残されていない。
	Boke Dialoube	◎	理事会は毎月開催され議事録はあるが、モニタリング用紙は提出されていない。
	Bakhaya	◎	2005年6月以降は理事会が開催されモニタリング用紙も提出されている。
	Hamadi Ounaré	◎	2005年は理事会はほぼ毎月行われている。
	Touba Linguère	◎	2004年12月以降、理事会は開催され会計報告もされている。
G3-1	Sinthiou Malème	×	理事会の開催頻度は低い。
	Diagle Sine	◎	ASUFOR発足以降、理事会はほぼ開催され、会計報告も行われている。
	Darou Ndimbelane	◎	2004年12月以降、理事会は開催され会計報告もされている。
	Keur Daouda	◎	ASUFOR発足以降、理事会は開催され、会計報告も行われている。
	Darou Ndiawène	◎	2004年12月以降、理事会は開催され会計報告もされている。
	Fass Ndimbelane	◎	2005年2月以降、理事会は開催され会計報告もされている。
G3-2	Dialakoto	○	理事会で会計報告はされているが、故障しているカウンターが多いこともあり、モニタリングシートの記入は不備が多い。
	Goumbayel	◎	毎月、理事会で会計報告がなされ、モニタリングシートも提出されている。
	Méréto Dialoubé	◎	毎月、理事会で会計報告がなされ、モニタリングシートも提出されている。
	Darou Salam II Sine	◎	配管・カウンター設置工事が終了した2005年4月以降は、理事会で会計報告がなされ、モニタリングシートも提出されている。
	Diam Diam	◎	毎月、理事会で会計報告がなされ、モニタリングシートも提出されている。
	Dawadi	○	理事会は毎月開催されておらず、会議での会計報告は記録がなく、やや不明瞭である。

監査されているサイト	20	理事会は開催され、会計記録がある	17
		理事会で会計報告はされているが、記録に不備がある	3
監査が不十分なサイト	4	-	

F-24 Contrôle des activités du Bureau ASUFOR par le CD

: Les situations de comptabilité (Bilan de revues / dépense) sont informées régulièrement aux réunions du CD .

Remplissez Oui ou Non RB: Réunion Bureau a. Ouverture des Réunions du CD , b. Information du comptabilité, c. PV des réunions (comptabilité)

Site	2004. 1			2004. 2			2004. 3			2004. 4			2004. 5			2004. 6			2004. 7			2004. 8			2004. 9			2004. 10			2004. 11			2004. 12			Remarques
	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c				
G2	Kara Voyndou																																			pas vérifié le cahier	
	Gaoudi Gotti																																				
	Boke Dialoube																																				
	Bakhaya																																				
	Hamadi Ounaré																																				
Touba Linguère																																					

Site	2005. 1			2005. 2			2005. 3			2005. 4			2005. 5			2005. 6			2005. 7			2005. 8			2005. 9			2005. 10			2005. 11			2005. 12			Remarques
	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c	RB a	RB b	RB c				
G2	Kara Voyndou	N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N		N	N				
	Gaoudi Gotti	O	O	M	O	O	M	O	O	M	O	O	M	O	O	M	O	O	M	O	O	N	O	O	N	O	O	N	O	O	N	O	O	N			
	Boke Dialoube	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O		
	Bakhaya	N	N		N	N		O	N		O	N		O	N		O	N		O	N		O	N		O	N		O	N		O	N				
	Hamadi Ounaré	O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O				
Touba Linguère	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?	O	O	?				

Site	Date	Enquêteur	Rencontre	Jugement et Observation générale
G2	14.09.05	Inoue, Seye(BPF)	P, chef du village, +3 villageois	X La réu (pas vérifié le cahier du secrétaire : reponse pas très fiable)
	15.09.05	Inoue, Seye(BPF)	P, T, chef du village+1	O situation financière pas notée sur ni PV ni cahier
	15.09.05	Inoue, Seye(BPF)	P, 2eVP, S,Saj, T, S Saj +quelques hab.	© mais PV pas présentés au BPF
Bakhaya				© Récemment bon
Hamadi Ounaré			P	© Récemment bon
Touba Linguère				© L'information est diffusé l'année 2005.

F-24 Contrôle des activités du Bureau ASUFOR par le CD

: Les situations de comptabilité (Bilan de revues / dépense) sont informées régulièrement aux réunions du CD .

Remplissez Oui ou Non a. Ouverture des Réunions du CD , b. Information du comtabilité, c. PV des réunions (comptabilité)

Site	2004.			2004.			2004.			2004.			2004.			2004.			Remarques			
	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.				
Sinthiou Malème							Const.CD	N						N					N	rendu compte sur le cahier		
Diagle Sine							Const.CD							N					O	O	O	rendu compte sur le cahier
Darou Ndimbelane																						RB nov--chaque mois
Keur Daouda							Const.CD	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	rendu compte sur le cahier
Darou Ndiawène							N(CD)	N						N								R Bur. Depuis 31.11
Fass Ndimbelane								Const.CD	N					N								
Site G3-1																						
Sinthiou Malème																						PV depuis mai. RB 3.4.5 non
Diagle Sine																						PV depuis mai
Darou Ndimbelane																						
Keur Daouda																						PV depuis mai
Darou Ndiawène																						
Fass Ndimbelane																						PV depuis juin
Site G3-1																						
Sinthiou Malème	O?	O	O?	O	O	N		N		O?	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Diagle Sine	O	O	O	O	O	O		O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Darou Ndimbelane	O	O	O	O	O	O		O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Keur Daouda	O	O	O	O	O	O		O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Darou Ndiawène	O	O	O	O	O	O		O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Fass Ndimbelane	N		O	O	O	O		O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O	
Site	Date	Enquêteurs	Rencontre	Jugement et Observation générale																		
Sinthiou Malème	8.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P,VP, Su ,C, une déléguée	X Réunions pas tenues régulièrement																		
Diagle Sine	02.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P, T, Taj, S, C	© depuis début l'ASUFOR																		
Darou Ndimbelane	09.9.05	Inoue, Fall(BPF)	VP, T, Taj, Se, S, C, 4 délégué	© depuis 12.2004																		
Keur Daouda	03.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P, T, Saj, C	© depuis début l'ASUFOR																		
Darou Ndiawène	06.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P, T, Se, S, C, 1 délégué	© depuis 12.2004																		
Fass Ndimbelane	01.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P, Sé, T, C, 3délégués	© depuis 02.2005																		

F-24 Contrôle des activités du Bureau ASUFOR par le CD

: Les situations de comptabilité (Bilan de revues / dépense) sont informées régulièrement aux réunions du CD .

Remplissez Oui ou Non a. Ouverture des Réunions du CD , b. Information du comtabilité, c. PV des réunions (comptabilité)

Site G3-2	2004. 11			2004. 12			2005. 1			2005. 2			2005. 3			2005. 4			2005. 5			2005. 6			2005. 7			2005. 8			2005. 9			2005. 10			Remarques						
	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.	a.	b.	c.										
Dialakoto	- ?			O			O			O	N		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O					PV imparfait			
Goumbayel	O			O			O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O					PV à partir du mai 05
Mérito Dialoubé	- ?			- ?																																				inscrip.PV après R.CD			
Darou Salam II Sine																																								R.bureau mars-			
Diam Diam				O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O		O	O					
Dawadi										N																																	

Site	Date	Enquêteur	Rencontre	Jugement et Observation générale
Dialakoto	29.8.05	Inoue, Fall(BPF)	P,Sé,T,Taj,S	O Situation de comptabilité informée au CD, mais PV imparfait
Goumbayel	30.8.05	Inoue, Fall(BPF)	P,VP, Séaj, T, Taj, S,C	⊙ La situation de comptabilité est informée au CD avec PV de chaque mois
Mérito Dialoubé	31.8.05	Inoue, Fall(BPF)	2eVP, Sé,Séaj, T, Taj, S,C, 3délég.	⊙ La situation de comptabilité est informée au CD avec PV de chaque mois
Darou Salam II Sine	07.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P, 2VPs, Se,Seaj, Taj, S, 4 délég.	⊙ La situation de comptabilité est informée au CD depuis avril 2005
Diam Diam	05.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P,VP, Se,Seaj, T, Taj, S,C, vintaine dé	⊙ Situation de comptabilité informée au CD avec PV de chaque mois
Dawadi	10.9.05	Inoue, Fall(BPF)	P,VP, T, Taj, Saj ,C	O insuffisance de présentation du Bilan financier

F-25 : ASUFOR事務局の女性メンバーの割合一覧

Date 2005年10月

Site	事務局員 選出日	委員長	副 委員長 (第1)	副 委員長 (第2)	書記 (正)	書記 (副)	会計 (正)	会計 (副)	施設 管理人 (正)	施設 管理人 (副)	男性 事務局 員数	女性 事務局 員数	女性 事務局員数 が3を超える サイト(=1)	備 考
G1	Ndatt Belakho	M	F	M	M	M	M	F	M	M	7	2	0	
	Nguith	M	F	M	M	F	M	F	M	F	5	4	1	
	Wendou Loumbel	M	F	M	M	F	M	F	M	M	6	3	1	
	Mbayène Thiasdè	M	F	M	M	F	M	F	M	M	6	3	1	
	Mbayène Nègué	M	F	M	M	F	F	F	M	F	4	5	1	委員長を含むASUFOR事務局員3名 がダカールに移転したため、2005年5 月に新メンバー選出が行われた。
Moukh Moukh	2003/9/3	M	F	M	M	F	M	M	M	M	7	2	0	2005年9月のSUFOR改選協議で2名 の事務局員が改選された。その他の 事務局員・理事会員は再選となった。
	2005/9/24	M	F	M	M	M	M	M	M	M	7	2	0	
G2	Kara Voindou	M	F	M	M	M	M	F	M	M	7	2	0	
	Gaoudi Gotti	M	F	M	F	M	F	F	M	F	4	5	1	
	Boke Dialoube	M	F	M	M	M	M	M	M	M	8	1	0	
	Bakhaya	M	F	M	M	M	M	F	M	M	7	2	0	
	Hamadi Ounaré	M	F	M	M	M	F	M	M	F	5	4	1	
	Touba Linguère	M	F	M	M	M	M	F	M	F	5	4	1	
	Sinthiou Malème	M	F	M	M	F	M	F	M	M	6	3	1	
	Diagle Sine	M	F	M	M	M	F	M	M	F	5	4	1	
	Darou Ndimbelane	M	F	M	M	M	M	F	M	F	6	3	1	
	Keur Daouda	M	F	M	M	M	F	M	M	M	6	3	1	
G3 -1	Darou Ndiawène	M	F	M	M	F	M	F	M	F	5	4	1	
	Fass Ndimbelane	M	F	M	M	F	M	F	M	F	5	4	1	
	Dialakoto	M	F	M	F	M	F	F	M	M	4	5	1	
	Goumbayel	M	F	M	M	F	M	F	M	F	5	4	1	
G3 -2	Mérito Dialoubé	M	F	M	M	M	F	M	M	F	6	3	1	
	Darou Salam SineII	M	F	M	M	M	F	M	M	F	6	3	1	
	Diam Diam	M	F	M	M	F	M	F	F	F	3	6	1	
	Dawadi	M	F	M	M	M	M	F	F	M	6	3	1	

F-26 : ASUFOR理事会メンバーの男女数・割合一覧

作成年月日 2005年10月

Site	理事会員 選出日	男性理 事会員 数	女性理 事会員 数	合計	女性 理事会員 基準数	女性理事 会員が約半 数、又は半数 以上のサイト (=1)	備 考	
G1	Ndatt Belakho	19	17	36	17	1		
	Nguith	20	20	40	19	1		
	Wendou Loumbel	15	13	28	13	1		
	Mbayène Thiasdè	16	17	33	15	1		
	Mbayène Nègué	28/09/03	15	14	29	13	1	委員長を含むASUFOR事務局員3名がダカールに移転したため、2005年5月に新メンバー選出が行われた。左表の理事会員数は選出当初の会員数を示す。
		18/05/05	15	14	29	13	1	
Moukh Moukh	2003/9/3	15	11	26	12	0	2005年9月のSUFOR改選に関する住民総会で2名の事務局員が改選された。その他の事務局員・理事会員は再選となった。	
	2005/9/24	15	11	26	12	0		
G2	Kara Voyndou	18	5	23	10	0		
	Gaoudi Goffi	13	17	30	14	1		
	Boke Dialoube	20	12	32	15	0		
	Bakhaya	14	13	27	12	1		
	Hamadi Oumaré	18	14	32	15	0		
	Touba Linguère	13	9	22	10	0		
	G3 -1	Sinthiou Malème	24	22	46	22	1	
		Diagle Sine	13	17	30	14	1	
		Darou Ndimbelane	17	16	33	15	1	
		Keur Daouda	18	12	30	14	0	
G3 -2	Darou Ndiawène	13	14	27	12	1		
	Fass Ndimbelane	14	13	27	12	1	会員1名が死亡、数名が他地域へ移転。左表の会員数は選出当初の会員数を示す。	
	Dialakoto	17	28	45	21	1	会員1名が他地域へ移転。左表の理事会員数は選出当初の会員数を示す。	
	Goumbayel	16	13	29	13	1		
	Mérito Dialoubé	12	14	26	12	1		
	Darou Salam SineII	22	20	42	20	1	会員1名が死亡。左表の理事会員数は選出当初の会員数を示す。	
Diam Diam	11	14	25	11	1			
Dawadi	30	26	56	27	0			

F-27 : Participation à la réunion du BE (G1)

Date Oct-05

Site	Nbre de base		2004							2005										
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
Ndatte Belakho Election du BE 2003/10/18	Homme	7	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND-P/R		
	%	78%																		
	Femme	2																		
	%	22%																		
	Total	9																		
	%	100%																		
Nguith Election du BE 2003/9/22	Homme	5	5	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	5	5	5	5	4	
	%	56%	100%												100%	100%	100%	100%	80%	
	Femme	4	2												4	4	4	4	4	
	%	44%	50%												100%	100%	100%	100%	100%	
	Total	9	7												9	9	9	9	9	8
	%	100%	78%											100%	100%	100%	100%	100%	89%	
Wendou Loumbel Election du BE 2003/10/12	Homme	6	ND	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	ND-P/R
	%	67%																		
	Femme	3																		
	%	33%																		
	Total	9																		
	%	100%																		
Mbayne Thiasdé Election du BE 2003/10/3	Homme	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	%	56%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	Femme	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
	%	44%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	75%
	Total	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
	%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	89%
Mbayne Negué Election du BE 2003/9/28 2005/5/18	Homme	4	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	4	4	4	4	4	4
	%	44%													100%	100%	100%	100%	100%	100%
	Femme	5													4	3	4	4	4	4
	%	56%													80%	60%	80%	80%	80%	80%
	Total	9													8	7	8	8	8	8
	%	100%												88.9%	77.8%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	
Moukh Moukh Election du BE 2003/9/3 2005/9/24	Homme	7	ND	ND	6	5	5	5	5	5	4	3	4	3	5	5	3	4	6	6
	%	78%			86%	71%	71%	71%	71%	71%	57%	43%	43%	43%	71%	71%	43%	57%	86%	86%
	Femme	2			0	2	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3
	%	22%			0%	100%	0%	50%	100%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	50%	100%	150%	150%
	Total	9			6	7	5	5	5	5	5	5	5	5	6	6	4	6	9	9
	%	100%			67%	78%	78%	78%	78%	56%	56%	56%	56%	44%	67%	67%	44%	67%	100%	100%

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

F-27 : Participation à la réunion du CD (G1)

Date Oct-05

Site	Nbre de base	2004							2005										
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
Ndatte Belakho Constitution du CD 2003/10/17	Homme	19	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	17	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	17	ND-P/R	14	ND-P/R	13	16
	%	53%						89%					89%			74%		68%	84%
	Femme	17						17					17			2		2	14
	%	47%						100%					100%			12%		12%	82%
	Total	36						34					34			16		15	30
	%	100%					94%					94%			44%		42%	83%	
Nguith Constitution du CD 2003/9/22	Homme	20	P/R	P/R	P/R	20	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	9	10	12	17	14		
	%	50%				100%						45%	50%	60%	85%	70%			
	Femme	20				19						4	4	4	8	8	6		
	%	50%				95%						20%	20%	20%	40%	40%	30%		
	Total	40				39						13	14	16	25	25	20		
	%	100%				98%						33%	35%	40%	63%	50%			
Wendou Loumbel Constitution du CD 2003/10/12	Homme	15	ND	ND	P/R	P/R	ND	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	ND-P/R
	%	54%																	
	Femme	13																	
	%	46%																	
	Total	28																	
	%	100%																	
Mbayne Thasadé Constitution du CD 2003/10/23-24	Homme	16	ND-P/R	7	9	P/R	7	7	7	7	6	6	15	10	11	16	9	7	11
	%	48%		44%	56%		44%	44%	44%	38%	38%	94%	63%	69%	69%	100%	56%	44%	69%
	Femme	17		6	7		8	8	8	7	7	6	6	4	6	17	8	6	8
	%	52%		35%	41%		47%	47%	41%	41%	41%	35%	24%	35%	35%	100%	47%	35%	47%
	Total	33		13	16		18	15	13	15	13	21	14	17	17	33	17	13	19
	%	100%	39%	48%		55%	45%	39%	45%	39%	64%	42%	52%	100%	100%	52%	39%	58%	
Mbayne Negué Constitution du CD 2003/9/27 2005/5/18	Homme	15	ND-P/R	7	9	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	10	8	15	13	13	9	8	8	14	15	ND-P/R
	%	52%		44%	56%				63%	50%	94%	81%	87%	60%	53%	93%	100%		
	Femme	14		6	7				11	4	9	12	10	7	7	6	6	14	
	%	48%		35%	41%				65%	24%	53%	71%	71%	50%	50%	43%	100%		
	Total	29		13	16				21	12	24	25	23	16	15	20	29	29	
	%	100%	39%	48%				64%	36%	73%	76%	79.3%	55.2%	51.7%	69.0%	100.0%			
Moukh Moukh Constitution du CD 2003/9/17 2005/9/24	Homme	19	7	7	4	7	5	8	5	3	5	5	7	5	7	4	5	5	ND-P/R
	%	63%	37%	37%	21%	37%	26%	42%	26%	16%	26%	37%	26%	37%	26%	37%	21%	26%	
	Femme	11	5	3	4	6	3	4	3	3	2	2	3	6	6	2	2	4	
	%	37%	45%	27%	36%	55%	27%	36%	27%	27%	18%	18%	27%	55%	55%	18%	36%	36%	
	Total	30	12	10	8	13	8	12	8	6	7	7	10	11	11	13	6	9	
	%	100%	40%	33%	27%	43%	40%	27%	20%	23%	23%	33%	37%	37%	43%	20%	30%		

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

F-27 : Participation à la réunion du BE (G2)

Date Oct-05

Site	Nbre de base	2004							2005									
		7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
Kara Vendou Election du BE 2003/12/2	Homme	7	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R
	%	78%																
	Femme	2																
	%	22%																
	Total	9																
	%	100%																
Boké Dialoubé Election du BE 2004/6/11	Homme	4	ND-P/R	ND-P/R	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	ND-P/R
	%	44%			125%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	Femme	5			4	2	4	3	5	5	5	3	3	4	3	4	3	4
	%	56%			80%	40%	80%	60%	100%	100%	100%	60%	100%	80%	60%	80%	60%	80%
	Total	9			9	6	8	7	9	9	9	7	6	7	6	7	6	8
	%	100%			100%	67%	78%	100%	100%	100%	78%	67%	78%	67%	78%	67%	89%	
Gaudi Gotti Election du BE 2003/12/23	Homme	8	ND-P/R	ND														ND-P/R
	%	89%																ND-P/R
	Femme	1																
	%	11%																
	Total	9																
	%	100%																
Bakhaya Election du BE 2004/1/23	Homme	7								Passation								
	%	78%																
	Femme	2																
	%	22%																
	Total	9																
	%	100%																
Hamadi Ounaré Election du BE 2003/12/12	Homme	5	ND-P/R	ND-P/R	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	ND-P/R
	%	56%			100%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	
	Femme	4			3	2	4	3	4	4	4	3	3	4	4	4	3	
	%	44%			75%	50%	100%	75%	100%	100%	100%	75%	75%	100%	100%	75%	75%	
	Total	9			8	6	8	7	9	9	8	7	5	6	7	7	7	
	%	100%			88.9%	66.7%	77.8%	100.0%	100.0%	88.9%	77.8%	55.6%	66.7%	77.8%	77.8%	77.8%		
Touba Linguère Election du BE 2004/1/19	Homme	5								Demarrage								
	%	56%																
	Femme	4																
	%	44%																
	Total	9																
	%	100%																

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

F-27 : Participation à la réunion du CD (G2)

Date Oct-05

Site	Nbre de base		2004							2005								
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Kara Vendou Constitution du CD 2003/12/1	Homme	18	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R
	%	78%																
	Femme	5																
	%	22%																
	Total	23																
	%	100%																
Boké Dialoubé Constitution du CD 2004/6/11	Homme	20	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	ND-P/R	16	14	11	17	15	ND	ND-P/R	9	ND-P/R	
	%	63%							80%	70%	55%	85%	75%			45%		
	Femme	12							4	9	7	6	5				7	
	%	38%							33%	75%	58%	50%	42%				58%	
	Total	32							20	23	18	23	20				16	
	%	100%						63%	69%	72%	56%	63%				50%		
Gaudi Gotfi Constitution du CD 2003/12/30	Homme	13	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	ND	ND	ND-P/R	ND-P/R	ND-P/R	
	%	72%																
	Femme	5																
	%	28%																
	Total	18																
	%	100%																
Bakhaya Constitution du CD 2004/1/23	Homme	14							ND-P/R	ND-P/R	14	11	14	11	14	14	14	
	%	52%							ND-P/R	ND-P/R	100%	79%	100%	79%	100%	100%	64%	
	Femme	13									7	9	6	9	6	6	4	
	%	48%									54%	69%	46%	69%	46%	31%	69%	
	Total	27									21	20	20	20	20	20	13	
	%	100%								78%	74%	74%	74%	74%	74%	48%		
Hamadi Ounaré Constitution du CD 2003/12/11	Homme	18							14	12	15	16	17	18	18	18	14	
	%	56%							89%	83%	89%	94%	100%	100%	100%	100%	78%	
	Femme	14							12	13	12	13	13	13	12	12	9	
	%	44%							86%	93%	86%	93%	93%	93%	86%	86%	43%	
	Total	32							26	25	27	29	31	32	32	26	23	
	%	100%						81%	78%	84%	91%	97%	100%	100%	81%	72%		
Touba Linguère Constitution du CD 2004/1/19	Homme	13							Demarrage	P/R	8	9	9	P/R	P/R	9	P/R	
	%	59%									62%	69%				69%		
	Femme	9									3	6	6				6	
	%	41%									33%	67%	67%				67%	
	Total	22									11	12	14	15			15	
	%	100%								50%	55%	64%	68%			68%		

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

F-27 : Participation à la réunion du BE (G3-1)

Site	Nbre de base		2004							2005							Date	
	Homme	%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Sinthiou Malème Election du BE 2004/6/7	Homme	6	ND	ND	4	4	ND	ND	ND	5	ND	ND	ND	P/R	4	4	4	ND-P/R
	%	67%			67%	67%				83%					67%	67%	67%	
	Femme	3			1	2				2					3	3	1	
	%	33%			33%	67%				67%					100%	100%	33%	
	Total	9			5	6				7					7	7	5	
%	100%			56%	67%				78%					78%	78%	56%		
Diaglè Sine Election du BE 2004/6/5	Homme	5	ND-P/R	ND-P/R	4	3	4	4	4	5	5	5	5	5	4	4	5	ND-P/R
	%	56%			80%	60%	80%	80%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	80%	80%	100%	
	Femme	4			3	4	4	4	4	4	4	3	4	3	3	4	2	
	%	44%			75%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	75%	100%	75%	100%	100%	50%	
	Total	9			7	7	8	8	8	9	9	8	9	8	7	8	7	
%	100%			78%	78%	89%	89%	89%	100%	100%	89%	100%	89%	78%	89%	78%		
Darou Ndimbelane Election du BE 2004/6/12	Homme	6	6	6	4	6	6	6	6	6	6	6	6	6	4	4	5	ND-P/R
	%	67%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	67%	67%	
	Femme	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	1	2		
	%	33%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	100%	33%	67%		
	Total	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	6	9	5	6		
%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	100%	56%	67%			
Keur Daouda Election du BE 2004/6/19	Homme	6	4	4	4	4	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	4	ND-P/R
	%	67%	67%	67%	67%	67%	100%	100%	100%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	100%	80%	
	Femme	3	1	0	0					3	2	0	0	3	1	0	1	
	%	33%	33%	0%	0%					100%	67%	0%	0%	100%	33%	0%	33%	
	Total	9	5	4	4					9	8	6	4	8	5	4	6	
%	100%	56%	44%	44%					100%	89%	67%	44%	89%	56%	44%	67%		
Darou Ndiawène Election du BE 2004/6/24	Homme	5	P/R	P/R	P/R	P/R	5	5	5	4	4	4	4	4	4	5	4	ND-P/R
	%	56%					100%	100%	100%	80%	80%	80%	80%	80%	100%	80%		
	Femme	4					4	4	4	4	4	4	4	2	4	4	2	
	%	44%					100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	50%	100%	100%	50%	
	Total	9					9	9	9	8	8	8	8	6	8	9	6	
%	100%					100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	77.8%	88.9%	88.9%	66.7%	88.9%	100.0%	66.7%		
Fass Ndimbélane Election du BE 2004/7/8	Homme	5	Demarrage	ND	ND	ND	5	5	5	ND	ND	ND	4	4	4	5	4	ND-P/R
	%	63%					100%	100%	100%				80%	80%	100%	80%		
	Femme ^{*1}	3					3	3	3				0	3	2	1	2	
	%	38%					100%	100%	100%				0%	100%	67%	33%	67%	
	Total	8					8	8	8				4	7	6	6	6	
%	100%					100%	100%	100%				50%	88%	75%	75%	75%		

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

*1: Une délégué femme (Mme Rocky Sall, surveillant adjoint) est décédé en décembre '04.

F-27 :Participation à la réunion du CD (G3-1)

Date Oct-05

Site	Nbre de base		2004							2005								
	Homme	%	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Sinthiou Malème Constitution du CD 2004/6/7	24		P/R	5	14	13	13	5	P/R	P/R	ND-P/R	P/R	6	P/R	12	16	ND-P/R	ND-P/R
	52%			21%	58%	54%	54%	21%					25%		50%	67%		
	22			2	13	6	9	6					5		9	14		
	48%			9%	59%	27%	41%	27%					23%		41%	64%		
	46			7	27	19	22	11					11		21	30		
	100%		15%	59%	41%	48%	24%					24%		46%	65%			
Diaglè Sine Constitution du CD 2004/6/5	13		Demarrage	ND	ND	11	12	11	10	9	10	13	10	13	12	12	10	ND-P/R
	43%					85%	92%	85%	77%	69%	92%	100%	77%	100%	92%	92%	77%	
	17					14	16	15	15	13	15	17	15	13	13	14	15	
	57%					82%	94%	88%	88%	76%	88%	100%	88%	76%	76%	82%	88%	
	30					25	28	26	25	22	25	30	25	26	25	26	25	
	100%					83%	93%	87%	83%	73%	83%	100%	83%	87%	83%	87%	83%	
Darou Ndimbelane Constitution du CD 2004/6/12	17		10	9	10	9	8	8	10	10	7	10	10	10	10	10	10	ND-P/R
	52%		59%	53%	59%	53%	47%	59%	59%	59%	41%	59%	59%	59%	59%	59%	59%	
	16		7	6	7	4	5	5	6	7	3	7	7	8	8	4	6	
	48%		23%	20%	23%	13%	17%	20%	20%	23%	10%	23%	23%	27%	27%	13%	20%	
	33		17	15	17	13	13	13	16	17	10	17	17	18	18	14	16	
	100%		52%	45%	52%	39%	39%	48%	52%	30%	48%	52%	52%	55%	42%	48%		
Keur Daouda Constitution du CD 2004/6/19	18		Demarrage	ND	ND	ND	ND	ND	8	6	10	8	6	15	4	5	5	ND-P/R
	60%								44%	33%	56%	67%	44%	83%	22%	28%	28%	
	12								5	5	5	6	1	3	12	1	1	
	40%								42%	42%	42%	50%	8%	25%	100%	8%	8%	
	30								13	11	15	18	9	9	27	5	6	
	100%								43%	37%	50%	60%	30%	90%	17%	20%	20%	
Darou Ndiawène Constitution du CD 2004/6/24	13		Demarrage	P/R	P/R	P/R	P/R	13	12	P/R	P/R	P/R	P/R	8	12	10	10	ND-P/R
	48%							100%	92%					62%	92%	77%	77%	
	14							14	13					4	8	9	9	
	52%							100%	93%					29%	57%	64%	64%	
	27							27	25					12	20	19	19	
	100%							100%	93%					44%	74%	70%	70%	
Fass Ndimbelane Constitution du CD 2004/7/8	13		Demarrage	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	P/R	12	ND	ND	5	7	4	5	9	P/R
	54%								92%				38%	54%	31%	38%	69%	
	11								8				6	7	2	2	3	
	46%								73%				43%	50%	14%	14%	21%	
	24								20				11	14	6	7	12	
	100%							83%				41%	52%	22%	26%	44%		

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

*1: Une délégué homme (M Dioubol Diallo) a démissionné

*2: Une délégué femme (Mme Awa Sow) a démissionné et une autre délégué (Mme Rocky Sall, surveillant adjoint) est décédé en décembre '04.

F-27 : Participation à la réunion du BE (G3-2)

Site	Nbre de base	2005										12			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
Dialakoto Election du BE 2004/7/30	Homme	4	ND-P/R	2	2	1	1	2	1	2	1	3	4	ND	ND-P/R
	%	44%		50%	50%	25%	25%	50%	25%	50%	25%	75%	100%		
	Femme	5		5	3	3	4	4	4	4	4	3	3		
	%	56%		100%	60%	60%	80%	80%	80%	80%	80%	60%	60%		
	Total	9		7	4	5	5	6	6	6	6	6	7		
Goumbayel Election du BE 2004/10/23	Homme	5	ND-P/R	4	4	5	P/R	4	4	4	4	5	4	P/R	ND-P/R
	%	56%		80%	80%	100%		80%	80%	80%	100%	100%	80%		
	Femme	4		2	4	4		2	4	4	4	4	1		
	%	44%		50%	100%	100%		50%	100%	100%	100%	100%	25%		
	Total	9		6	9	9		6	8	8	8	9	5		
Mereto Dialoube Election du BE 2004/11/30	Homme	6	ND-P/R	5	5	4	4	5	4	5	6	6	4	4	5
	%	67%		83%	83%	67%	67%	83%	67%	100%	100%	100%	67%	67%	83%
	Femme	3		2	4	4	3	3	3	3	3	2	2	2	3
	%	33%		67%	133%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	67%	67%	100%
	Total	9		7	8	8	7	8	8	8	9	9	8	6	8
Darou Saram II Sine Election du BE 2004/11/23	Homme	6		78%	89%	89%	78%	89%	89%	89%	100%	89%	67%	67%	89%
	%	67%		Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage	Demarrage
	Femme	3													
	%	33%													
	Total	9													
Diam Diam Election du BE 2004/12/11	Homme	6		5	5	3	5	6	5	6	5	6	4	4	ND-P/R
	%	67%		83%	83%	50%	83%	100%	83%	100%	83%	100%	67%		
	Femme	3		3	3	3	2	3	3	3	3	2	2		
	%	33%		100%	100%	100%	67%	100%	100%	100%	100%	67%	67%		
	Total	9		8	8	6	7	8	9	8	8	9	8	6	
Dawadi Election du BE 2004/12/19	Homme	6		5	5	5	5	5	5	5	6	5	6	6	ND-P/R
	%	67%		83%	83%	83%	83%	83%	83%	83%	100%	83%	100%	100%	
	Femme	3		3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	
	%	33%		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	67%	100%	100%	
	Total	9		8	8	8	8	8	8	8	8	7	9	9	
	%	100%		89%	89%	89%	89%	89%	89%	89%	78%	100%	100%	100%	

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

F-27 : Participation à la réunion du CD (G3-2)

Site	Nbre de base		2005										Date				
			12	1	2	3	4	5	6	7	8	9		10			
			ND-P/R	9	P/R	5	6	P/R	P/R	P/R	P/R	ND-P/R		ND-P/R	ND-P/R		
Dialakoto Constitution du CD 2004/10/4	Homme	17															
	%	39%															
	Femme*1	27															
	%	61%															
	Total	44															
	%	100%															
Goumbayel Constitution du CD 2004/10/24	Homme	16	ND-P/R	9	11	9	9	9	9	7	8	10	10	10	10	P/R	ND-P/R
	%	55%															
	Femme	13		8	4	4	4	4	4	3	12	8	8	8	8		
	%	45%															
	Total	29		17	15	13	13	13	13	10	20	18	18	18	18		
	%	100%		59%	52%	45%	45%	45%	34%	69%	62%	62%	62%	62%			
Mereto Dialoube Constitution du CD 2004/11/30	Homme	12	ND-P/R	10	8	8	6	8	8	9	8	7	8	8	8	8	ND-P/R
	%	46%															
	Femme	14		11	7	2	2	3	3	4	9	6	6	6	6		
	%	54%															
	Total	26		21	15	8	8	11	11	13	17	13	14	14	14		
	%	100%		81%	58%	31%	42%	42%	50%	65%	50%	54%	54%	54%			
Darou Saram II Sine Constitution du CD 2004/11/23	Homme	11															
	%	44%															
	Femme	14															
	%	56%															
	Total	25															
	%	100%															
Diam Diam Constitution du CD 2004/12/11	Homme*2	21	P/R	16	13	17	17	12	12	17	13	21	16	9	9	9	ND-P/R
	%	51%															
	Femme	20		14	15	14	14	13	13	14	19	18	18	14	14		
	%	49%															
	Total	41		30	28	31	31	25	25	31	32	39	34	23	23		
	%	100%		73.2%	68.3%	75.6%	75.6%	61.0%	61.0%	75.6%	78.0%	95.1%	82.9%	56.1%			
Dawadi Constitution du CD 2004/12/19	Homme	30	P/R	Demarrage													
	%	54%															
	Femme	26															
	%	46%															
	Total	56															
	%	100%															

N/D: Non-Disponible P/R: Pas de réunion

*1: Une femme a demarré. Le nbre de delegues femmes est devenu 27 au lieu de 28

*2: Un homme delegué a decédé. Le nbre de delegues femmes est devenu 21 au lieu de 22.

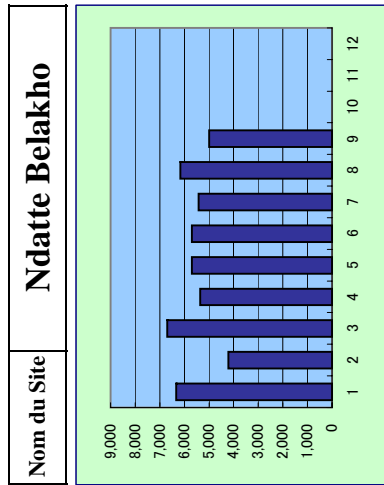
F-31 : Etat des investigations sur les débits d'exploitation

Date oct 2005

	Site	Burigade	ASUFOR Démarrage de la vente au volume	2004							2005							
				sept	oct	nov	dec	jan	fev	mars	avr	mai	juin	juil	août	sept	oct	
G1	Ndatt Belakho	Louga	30-sept.-04	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Nguith	Linguère	23-oct.-03	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Wendou Loumbel	Linguère	7-juin-04	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Mbayène Thiasdé	Linguère	1-juin-04	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Mbayène Nègué	Linguère	20-août-04	●	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Moukh Moukh	Louga	déc.-01	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
G2	Kara Voyndou	Ndioum	août-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Gaoudi Gotti	Ndioum	suspendu hivernage	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Boke Dialoube	Ndioum	1-juil.-04	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Bakhaya	Louga	11-janv.-05	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Hamadi Ounaré	Matam	à vérifier	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Touba Linguère	Linguère	1-nov.-04	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
G3 -1	Sinthiou Malème	Tamba	1-déc.-04	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Diagle Sine	Tamba	sept.-04	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Darou Ndimbelane	Tamba	27-oct.-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Keur Daouda	Tamba	déc.-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Darou Ndiawène	Tamba	8-oct.-04	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Fass Ndimbelane	Tamba	nov.-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G3 -2	Dialakoto	Tamba	13-déc.-04	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Goumbayel	Tamba	1-déc.-04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mérito Dialoubé	Tamba	13-janv.-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Darou Salam SineII	Tamba	16-mars-05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Diam Diam	Tamba	1-déc.-04	-	-	-	-	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	Dawadi	Tamba	suspendu hivernage	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

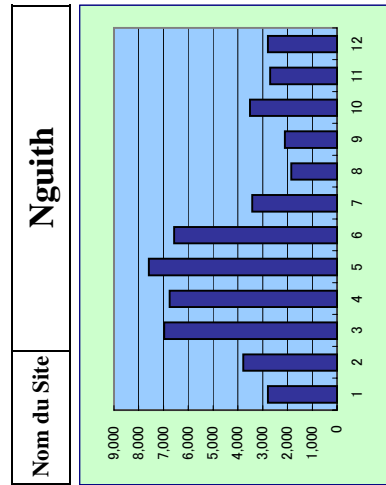
VOLUME POMPE - 1 -

	2005	JANVIER	[6,340]	m3/mois
1	2005	JANVIER	[6,340]	m3/mois
2	2005	FEVRIER	[4,208]	m3/mois
3	2005	MARS	[6,692]	m3/mois
4	2005	AVRIL	[5,360]	m3/mois
5	2005	MAI	[5,700]	m3/mois
6	2005	JUIN	[5,700]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[5,420]	m3/mois
8	2005	AOUT	[6,160]	m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[5,000]	m3/mois
10	2005	OCTOBRE	[0]	m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]	m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]	m3/mois
Total			[50,580]	m3/Année



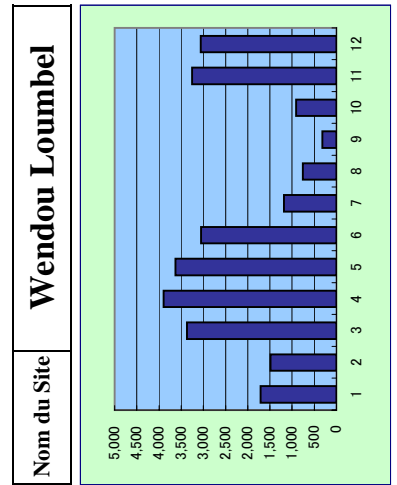
		DATA	
1	756,960	763,300	6,340 OK
2	763,300	767,580	4,280 OK
3	767,580	773,200	5,620 OK
4	773,200	778,560	5,360 OK
5	778,560	784,260	5,700 OK
6	784,260	789,960	5,700 OK
7	789,960	795,380	5,420 OK
8	795,380	801,540	6,160 OK
9	801,540	806,540	5,000 OK
10			
11			
12			

	2004	JANVIER	[2,790]	m3/mois
1	2004	JANVIER	[2,790]	m3/mois
2	2004	FEVRIER	[3,780]	m3/mois
3	2004	MARS	[6,975]	m3/mois
4	2004	AVRIL	[6,750]	m3/mois
5	2005	MAI	[7,590]	m3/mois
6	2005	JUIN	[6,570]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[3,420]	m3/mois
8	2005	AOUT	[1,850]	m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[2,100]	m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[3,511]	m3/mois
11	2003	NOVEMBRE	[2,700]	m3/mois
12	3003	DECEMBRE	[2,790]	m3/mois
Total			[50,826]	m3/Année



		DATA	
1			0
2			0
3			0
4			0
5	30	253	7,590 OK
6	30	219	6,570 OK
7	30	114	3,420 OK
8			1,850 OK
9			2,100 OK
10			
11			
12			

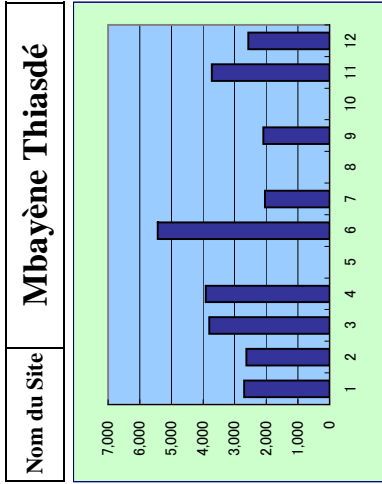
	2005	JANVIER	[1,710]	m3/mois
1	2005	JANVIER	[1,710]	m3/mois
2	2005	FEVRIER	[1,489]	m3/mois
3	2005	MARS	[3,366]	m3/mois
4	2005	AVRIL	[3,898]	m3/mois
5	2005	MAI	[3,627]	m3/mois
6	2005	JUIN	[3,049]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[1,186]	m3/mois
8	2004	AOUT	[754]	m3/mois
9	2004	SEPTEMBRE	[319]	m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[908]	m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[3,255]	m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[3,062]	m3/mois
Total			[26,623]	m3/Année



		DATA	
1	346,354	348,064	1,710 OK
2	348,064	349,553	1,489 OK
3	349,553	352,919	3,366 OK
4	352,919	356,817	3,898 OK
5	356,817	360,444	3,627 OK
6	360,444	363,493	3,049 OK
7	363,493	364,679	1,186 OK
8			
9			
10			
11			
12			

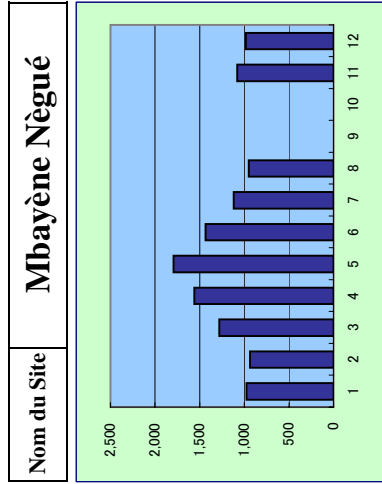
VOLUME POMPE - 2 -

	2005	JANVIER	[2,696]	m3/mois
1	2005	JANVIER	[2,696]	m3/mois
2	2005	FEVRIER	[2,629]	m3/mois
3	2005	MARS	[3,800]	m3/mois
4	2005	AVRIL	[3,915]	m3/mois
5	2005	MAI	[0]	m3/mois
6	2005	JUIN	[5,431]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[2,040]	m3/mois
8	2005	AOUT	[0]	m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[2,094]	m3/mois
10	2005	OCTOBRE	[0]	m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[3,723]	m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[2,572]	m3/mois
Total			[28,900]	m3/Année



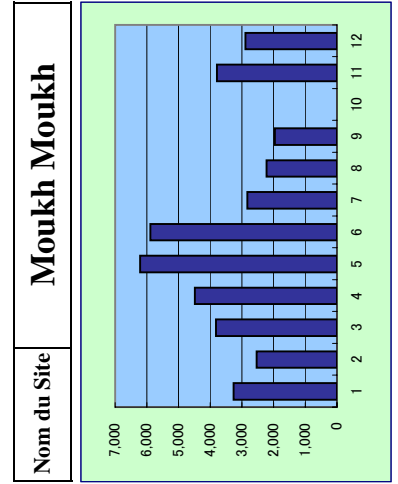
	2005	246,722	246,722	2,696	OK
1	2005	246,722	246,722	2,696	OK
2	2005	249,351	249,351	2,629	OK
3	2005	253,151	253,151	3,800	OK
4	2005	257,066	257,066	3,915	OK
5	2005			0	
6	2005			5,431	
7	2005	269,744	269,744	2,040	OK
8	2005			0	
9	2005	271,838	271,838	2,094	
10	2005				
11	2004				
12	2004				

	2005	JANVIER	[976]	m3/mois
1	2005	JANVIER	[976]	m3/mois
2	2005	FEVRIER	[935]	m3/mois
3	2005	MARS	[1,280]	m3/mois
4	2005	AVRIL	[1,559]	m3/mois
5	2005	MAI	[1,795]	m3/mois
6	2005	JUIN	[1,433]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[1,120]	m3/mois
8	2005	AOUT	[952]	m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[0]	m3/mois
10	2005	OCTOBRE	[0]	m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[1,078]	m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[982]	m3/mois
Total			[12,110]	m3/Année



	2005	104,027	104,027	976	OK
1	2005	104,027	104,027	976	OK
2	2005	104,962	104,962	935	OK
3	2005	106,242	106,242	1,280	OK
4	2005	107,801	107,801	1,559	OK
5	2005	109,596	109,596	1,795	OK
6	2005	111,029	111,029	1,433	OK
7	2005	112,149	112,149	1,120	OK
8	2005	113,101	113,101	952	OK
9	2005				
10	2005				
11	2004				
12	2004				

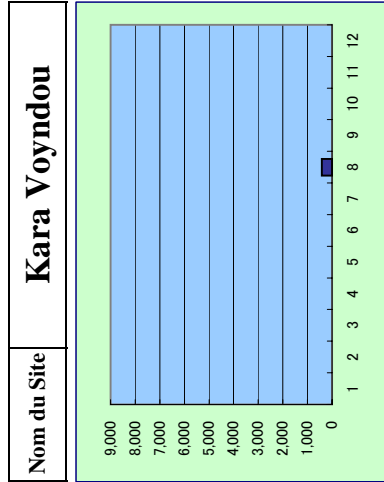
	2005	JANVIER	[3,259]	m3/mois
1	2005	JANVIER	[3,259]	m3/mois
2	2005	FEVRIER	[2,532]	m3/mois
3	2005	MARS	[3,820]	m3/mois
4	2005	AVRIL	[4,481]	m3/mois
5	2005	MAI	[6,212]	m3/mois
6	2005	JUIN	[5,886]	m3/mois
7	2005	JUILLET	[2,825]	m3/mois
8	2005	AOUT	[2,220]	m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[1,958]	m3/mois
10	2005	OCTOBRE	[]	m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[3,783]	m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[2,887]	m3/mois
Total			[39,863]	m3/Année



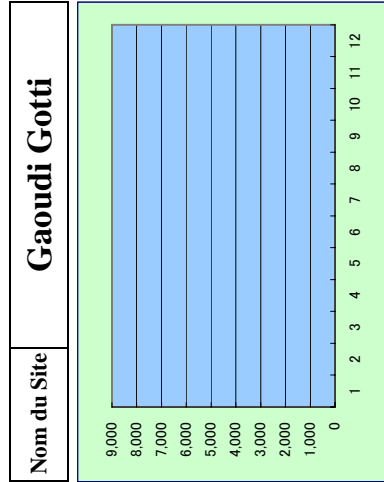
	2005	298,198	298,198	3,259	OK
1	2005	298,198	298,198	3,259	OK
2	2005	304,084	304,084	2,532	OK
3	2005	306,909	306,909	3,820	OK
4	2005	309,129	309,129	4,481	OK
5	2005	311,087	311,087	6,212	OK
6	2005			5,886	OK
7	2005			2,825	OK
8	2005			2,220	OK
9	2005			1,958	OK
10	2005				
11	2004				
12	2004				

VOLUME POMPE - 3 -

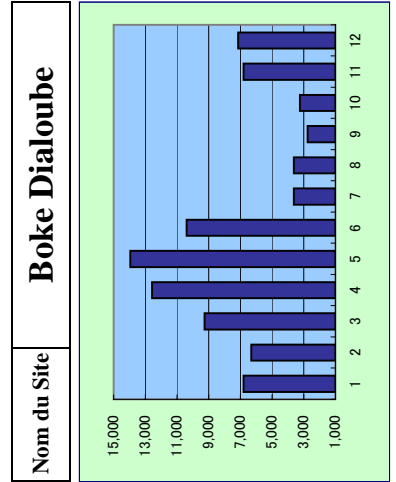
	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[0]m3/mois
7	2005	JUILLET	[0]m3/mois
8	2005	AOUT	[412]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[0]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl					[412]m3/Année



	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[0]m3/mois
7	2005	JUILLET	[0]m3/mois
8	2005	AOUT	[0]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[0]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl					[0]m3/Année



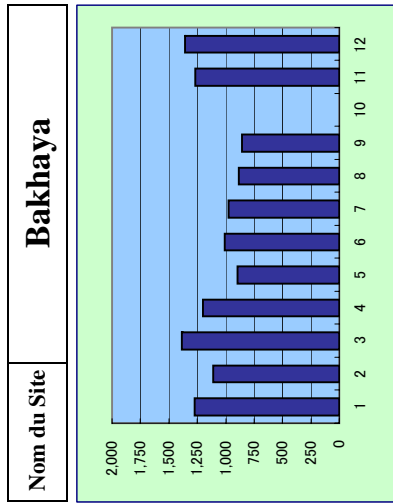
	2005	JANVIER	[6,800]m3/mois
1	2005	JANVIER	[6,800]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[6,312]m3/mois
3	2005	MARS	[9,265]m3/mois
4	2005	AVRIL	[12,567]m3/mois
5	2005	MAI	[13,950]m3/mois
6	2005	JUIN	[10,389]m3/mois
7	2005	JUILLET	[3,629]m3/mois
8	2005	AOUT	[3,629]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[2,762]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[3,240]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[6,788]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[7,143]m3/mois
Toatl					[86,474]m3/Année



	282.600	289.400	6.800	OK	☉
1	282.600	289.400	6.800	OK	☉
2	289.400	296.225	6.825	OK	☉
3	296.225	306.173	9.948	OK	☉
4	306.173	318.740	12.567	OK	☉
5	318.740	332.690	13.950	OK	☉
6	332.690	343.079	10.389		
7	343.079	346.524	3.629	OK	☉
8	346.524	349.810	3.629		
9	349.810	352.572	2.762	OK	☉
10					
11	0		0		
12	0		0		

VOLUME POMPE - 4 -

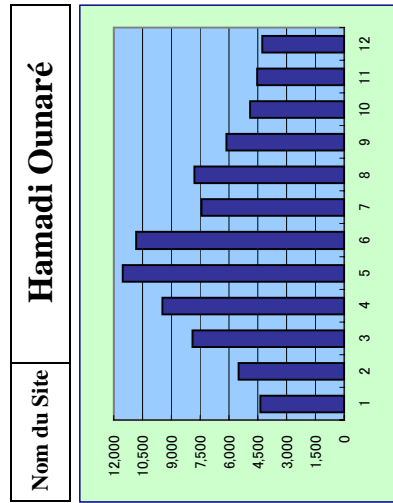
	2005	JANVIER	[1,274]m3/mois
1	2005	FEBVIER	[1,111]m3/mois
2	2005	MARS	[1,388]m3/mois
3	2005	AVRIL	[1,199]m3/mois
4	2005	MAI	[895]m3/mois
5	2005	JUIN	[1,006]m3/mois
6	2005	JUILLET	[973]m3/mois
7	2005	AOUT	[885]m3/mois
8	2005	SEPTEMBRE	[859]m3/mois
9	2005	OCTOBRE	[0]m3/mois
10	2004	NOVEMBRE	[1,268]m3/mois
11	2004	DECEMBRE	[1,360]m3/mois
12	Toatl [12,218]m3/Année				



DATA

1	9,190	10464	1,274	OK
2	543	1654	1,111	OK
3	1,735	3123	1,388	OK
4	3,174	4373	1,199	OK
5	4,677	5,572	895	OK
6	5,572	6,578	1,006	OK
7	6,578	7,551	973	
8	7,551	8,436	885	OK
9	8,436	9,295	859	OK
10				
11				
12				

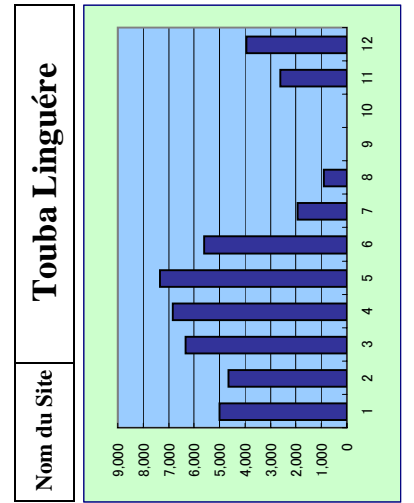
	2005	JANVIER	[4,366]m3/mois
1	2005	FEBVIER	[5,493]m3/mois
2	2005	MARS	[7,913]m3/mois
3	2005	AVRIL	[9,454]m3/mois
4	2005	MAI	[11,524]m3/mois
5	2005	JUIN	[10,843]m3/mois
6	2005	JUILLET	[7,431]m3/mois
7	2005	AOUT	[7,810]m3/mois
8	2005	SEPTEMBRE	[6,124]m3/mois
9	2004	OCTOBRE	[4,900]m3/mois
10	2004	NOVEMBRE	[4,550]m3/mois
11	2004	DECEMBRE	[4,270]m3/mois
12	Toatl [84,678]m3/Année				



DATA

1	515,430	519,796	4,366	
2	519,796	525,289	5,493	
3	525,289	533,202	7,913	
4	533,202	542,656	9,454	
5	542,656	554,180	11,524	OK
6	554,180	565,023	10,843	
7	565,023	572,454	7,431	
8	572,454	580,264	7,810	
9	580,264	586,388	6,124	
10				
11				
12				

	2005	JANVIER	[4,992]m3/mois
1	2005	FEBVIER	[4,651]m3/mois
2	2005	MARS	[6,324]m3/mois
3	2005	AVRIL	[6,846]m3/mois
4	2005	MAI	[7,335]m3/mois
5	2005	JUIN	[5,614]m3/mois
6	2005	JUILLET	[1,939]m3/mois
7	2005	AOUT	[899]m3/mois
8	2005	SEPTEMBRE	[0]m3/mois
9	2005	OCTOBRE	[0]m3/mois
10	2004	NOVEMBRE	[2,603]m3/mois
11	2004	DECEMBRE	[3,956]m3/mois
12	Toatl [45,159]m3/Année				

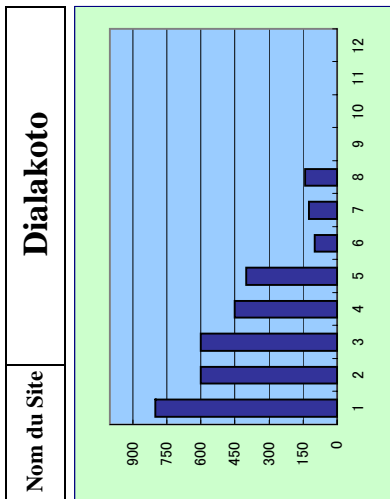


DATA

1	224,879	229,871	4,992	OK
2	229,871	234,522	4,651	OK
3	234,522	240,846	6,324	OK
4	240,846	247,692	6,846	OK
5	247,692	255,027	7,335	OK
6	255,027	260,641	5,614	OK
7	260,641	262,580	1,939	OK
8	262,580	263,479	899	OK
9				
10				
11				
12				

VOLUME POMPE - 5 -

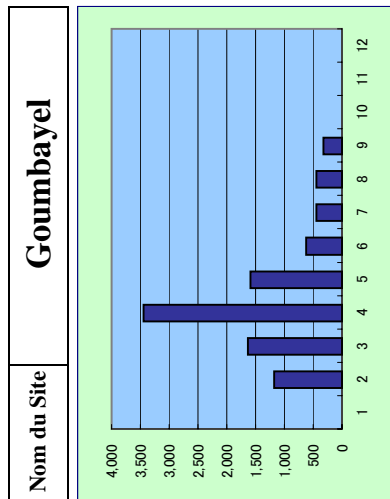
	2005	JANVIER	[800]m3/mois
1	2005	JANVIER	[800]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[600]m3/mois
3	2005	MARS	[600]m3/mois
4	2005	AVRIL	[450]m3/mois
5	2005	MAI	[400]m3/mois
6	2005	JUIN	[100]m3/mois
7	2005	JUILLET	[125]m3/mois
8	2005	AOUT	[140]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[0]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total					[3,215]m3/Année



DATA

1				800	
2				600	
3				600	
4				450	
5				400	
6				100	○
7				125	○
8				140	○
9					
10					
11					
12					

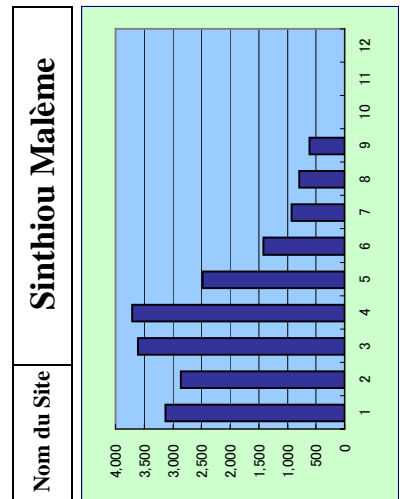
	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[1,177]m3/mois
3	2005	MARS	[1,637]m3/mois
4	2005	AVRIL	[3,444]m3/mois
5	2005	MAI	[1,587]m3/mois
6	2005	JUIN	[622]m3/mois
7	2005	JUILLET	[447]m3/mois
8	2005	AOUT	[448]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[323]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total					[9,685]m3/Année



DATA

1					
2	138,480	139,657	1,177		
3	139,657	141,294	1,637		
4	141,294	144,738	3,444		
5	144,738	146,325	1,587	OK	⊙
6	146,325	146,947	622	OK	⊙
7	146,947	147,394	447		
8	147,394	147,842	448		
9	147,842	148,165	323		
10					
11					
12					

	2005	JANVIER	[3,128]m3/mois
1	2005	JANVIER	[3,128]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[2,856]m3/mois
3	2005	MARS	[3,604]m3/mois
4	2005	AVRIL	[3,706]m3/mois
5	2005	MAI	[2,482]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,415]m3/mois
7	2005	JUILLET	[925]m3/mois
8	2005	AOUT	[791]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[618]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total					[19,525]m3/Année

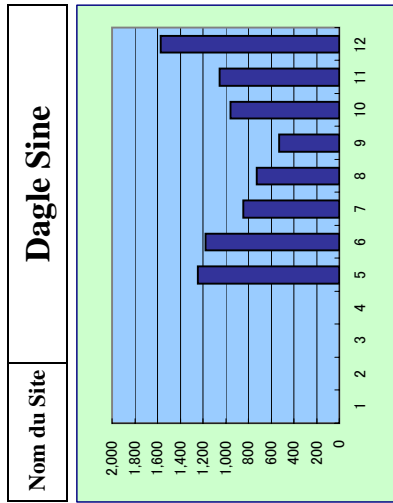


DATA

1				3,128	
2				2,856	
3				3,604	
4				3,706	
5				2,482	
6	375,167	376,582	1,415	OK	⊙
7	376,582	377,507	925	OK	⊙
8	377,507	378,298	791		
9	378,298	378,916	618		
10					
11					
12					

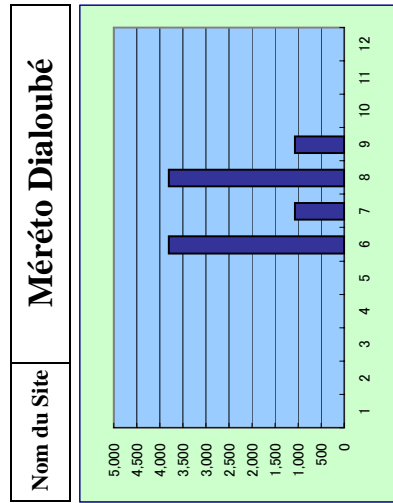
VOLUME POMPE - 6 -

	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[1,243]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,179]m3/mois
7	2005	JUILLET	[847]m3/mois
8	2005	AOUT	[726]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[528]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[960]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[1,056]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[1,572]m3/mois
Toatl			[8,111]m3/Année



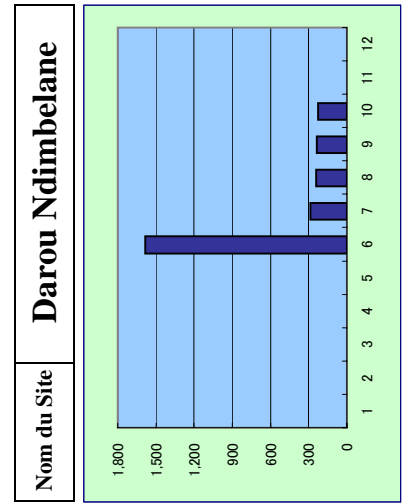
	DATA
1	
2	
3	
4	
5	1,243
6	1,179
7	847
8	726
9	528
10	960
11	1,056
12	1,572

	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[3,800]m3/mois
7	2005	JUILLET	[1,075]m3/mois
8	2005	AOUT	[3,800]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[1,075]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl			[9,750]m3/Année



	DATA
1	
2	
3	
4	
5	
6	3,800
7	1,075
8	3,800
9	1,075
10	
11	
12	

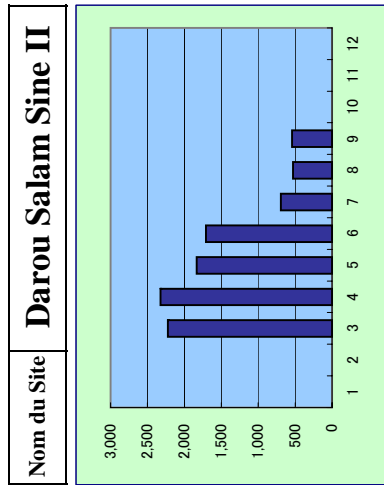
	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,582]m3/mois
7	2005	JUILLET	[289]m3/mois
8	2005	AOUT	[242]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[236]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[224]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl			[2,573]m3/Année



	DATA
1	
2	
3	
4	
5	
6	1,582
7	289
8	242
9	236
10	224
11	
12	

VOLUME POMPE - 7 -

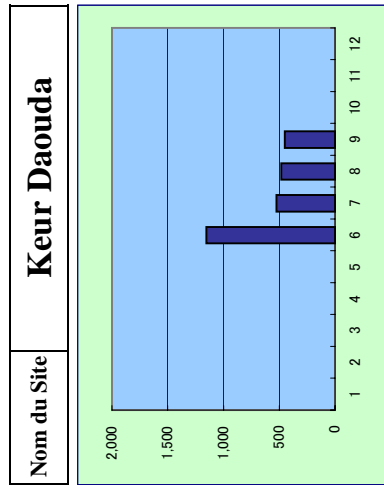
	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[2,224]m3/mois
4	2005	AVRIL	[2,323]m3/mois
5	2005	MAI	[1,833]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,706]m3/mois
7	2005	JUILLET	[692]m3/mois
8	2005	AOUT	[529]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[544]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total			[9,851]m3/Année



DATA

1					
2		213084			
3	213084	215308	2,224		
4	215308	217631	2,323		
5	217631	219464	1,833		
6	219464	221170	1,706		○
7	221170	221862	692		○
8	221862	222418	556		○
9	222418	222962	544		
10					
11					
12					

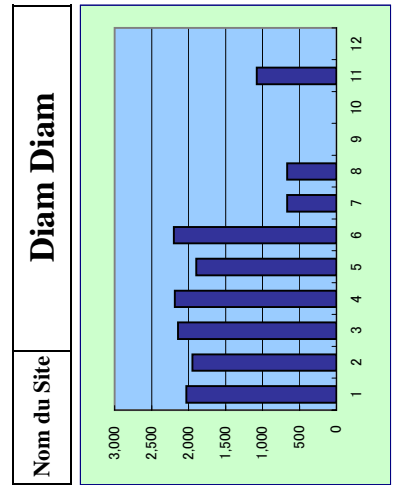
	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,153]m3/mois
7	2005	JUILLET	[526]m3/mois
8	2005	AOUT	[482]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[450]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total			[2,611]m3/Année



DATA

1					
2					
3					
4					
5					
6	79	14,6	1,153		○
7	36	14,6	526		○
8	33	14,6	482		○
9			450		
10					
11					
12					

	2005	JANVIER	[2,029]m3/mois
1	2005	JANVIER	[2,029]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[1,946]m3/mois
3	2005	MARS	[2,143]m3/mois
4	2005	AVRIL	[2,188]m3/mois
5	2005	MAI	[1,897]m3/mois
6	2005	JUIN	[2,200]m3/mois
7	2005	JUILLET	[665]m3/mois
8	2005	AOUT	[665]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[ポンプ故障]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[1,078]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Total			[14,811]m3/Année

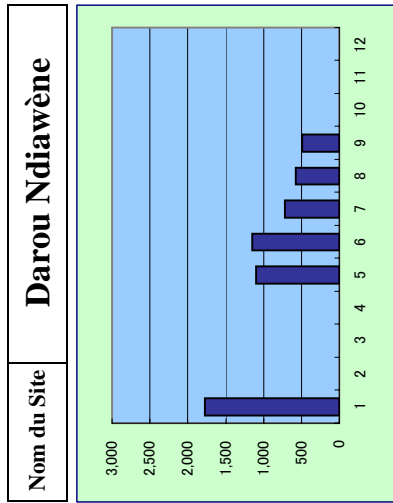


DATA

1	160,047	162076	2,029		
2	162,076	164022	1,946		
3	164,022	166165	2,143		
4	166,165	168353	2,188		
5	168,353	170250	1,897		◎
6	170,250	172450	2,200		◎
7	172,450	173115	665		◎
8	173,115	173,780	665		◎
9			ポンプ故障		◎
10			0		
11			0		
12			0		

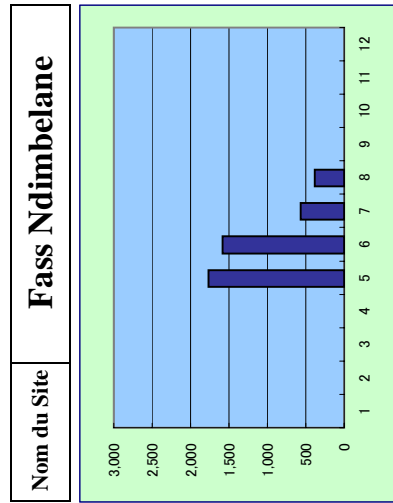
VOLUME POMPE - 8 -

	2005	JANVIER	[1,778]m3/mois
1	2005	JANVIER	[1,778]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[1,096]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,146]m3/mois
7	2005	JUILLET	[722]m3/mois
8	2005	AOUT	[574]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[490]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl			[5,806]m3/Année



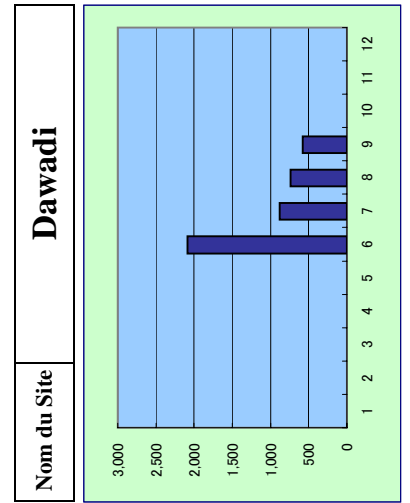
	41,061	42839	1,778	DATA
1	41,061	42839	1,778	
2				
3				
4	44139			
5	44,139	45,235	1,096	OK
6	45,235	46,381	1,146	OK
7	46,381	47,103	722	OK
8	47,103	47,677	574	OK
9	47,677	48,167	490	
10				
11				
12				

	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[1,764]m3/mois
6	2005	JUIN	[1,585]m3/mois
7	2005	JUILLET	[570]m3/mois
8	2005	AOUT	[387]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[0]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl			[4,306]m3/Année



				DATA
1				
2				
3				
4				
5			1,767	O
6			1,585	O
7			570	O
8			387	O
9				
10				
11				
12				

	2005	JANVIER	[0]m3/mois
1	2005	JANVIER	[0]m3/mois
2	2005	FEVRIER	[0]m3/mois
3	2005	MARS	[0]m3/mois
4	2005	AVRIL	[0]m3/mois
5	2005	MAI	[0]m3/mois
6	2005	JUIN	[2,089]m3/mois
7	2005	JUILLET	[878]m3/mois
8	2005	AOUT	[736]m3/mois
9	2005	SEPTEMBRE	[582]m3/mois
10	2004	OCTOBRE	[0]m3/mois
11	2004	NOVEMBRE	[0]m3/mois
12	2004	DECEMBRE	[0]m3/mois
Toatl			[4,285]m3/Année



				DATA
1				
2				
3				
4				
5				
6	118,359	120,448	2,089	OK
7	120,448	121,326	878	
8	121,326	122,062	736	OK
9	122,062	122,844	582	OK
10				
11				
12				

F-32 : 水利用ガイドライン理解状況一覧 (1) 施設オペレータ

Date 2005年10月

	Site	Brigade	6月				7月				8月				9月				10月							
			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)				
G1	Ndatt Belakho	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Nguith	Linguère	C	C	C	C	C	C	C	C	A	A	A	A	-	-	-	-	A	A	A	A	A	A	A	A
	Wendou Loumbel	Linguère	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	-	-	-	-	C	C	C	C	C	C	C	C
	Mbayène Thiasdé	Linguère	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Mbayène Nègué	Linguère	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	-	-	-	-	C	C	C	C	C	C	C	C
G2	Moukh Moukh	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Kara Voindou	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Gaoudi Gotti	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Boke Dialoube	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	C	C	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Bakhaya	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G3 -1	Hamadi Ounaré	Matam	/	/	/	/	B	A	A	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Touba Linguère	Linguère	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	-	-	-	-	C	C	C	C	A	A	A	C
	Sinthiou Malème	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	C	B	C	C	C	B	C	C	C	B	B	B	D
	Diagle Sine	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	D	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	D
	Darou Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D
G3 -2	Keur Daouda	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	Darou Ndiawène	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C	D	D	D
	Fass Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	C	D	D	D	C	D	D	D	C	D	D	C
	Dialakoto	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	C	C	D	B	C	C	C	D	C	C	C	D	C	C	D	D
	Goumbayel	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	B	C	C	D
G3 -2	Mérito Dialoubé	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	C	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B	B
	Darou Salam II Sine	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	C	C	C	D	C	C	C	C	C	C	C	C	B	B	B	C
	Diam Diam	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C
Dawadi	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	C	-	-	-	-	B	B	B	C	B	B	B	C	

■水利用ガイドライン主要記載事項

- (1) 現在の揚水量
 (2) 現有施設での最大揚水量
 (3) 仕様を上げた場合の揚水量
 (4) 水資源に関する地域での問題／潜在的問題
- 評価
 A 記載事項を説明できる
 B 記載事項を認識しているが説明は困難である
 C 記載事項の認識を認識している
 D 記載事項の認識が不十分である

F-32 : 水利用ガイドライン理解状況一覧 (2) ASUFOR < President >

Date 2005年10月

	Site	Brigade	6月				7月				8月				9月				10月							
			(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)				
G1	Ndatt Belakho	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Nguith	Linguère	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	Wendou Loumbel	Linguère	D	D	D	D	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
	Mbayène Thiasdé	Linguère	C	C	C	C	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	Mbayène Nègué	Linguère	C	C	C	C	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D
G2	Moukh Moukh	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Kara Voindou	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	Gaoudi Gotti	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	-	-	-	-	-	-	-	-
	Boke Dialoube	Ndioum	/	/	/	/	-	-	-	-	D	C	C	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Bakhaya	Louga	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
G3 -1	Hamadi Ounaré	Matam	/	/	/	/	C	C	B	C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	Touba Linguère	Linguère	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	-	-	-	-	C	C	B	C
	Sinthiou Malème	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	B	D	D	C	C	D	D	C	C	D	D	D	D	D	D
	Diagle Sine	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	D	B	B	B	B	B	B	B	B	C	C	C	D
	Darou Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D
G3 -2	Keur Daouda	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	C	C	C	C	C	C	C	C	D	D	D	D	D	D	D	D
	Darou Ndiawène	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	D	D	D	D
	Fass Ndimbelane	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D
	Dialakoto	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	C	C	D	D	C	C	D	D	C	C	D	D	D	D	D	D
	Goumbayel	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C	D	D	D	D
	Mérito Dialoubé	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	B	B	B	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	Darou Salam II Sine	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C	C
	Diam Diam	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	C	C	C	C
	Dawadi	Tamba	/	/	/	/	-	-	-	-	D	D	D	D	D	D	D	D	-	-	-	-	D	D	D	D

■水利用ガイドライン主要記載事項

- (1) 現在の揚水量
- (2) 現有施設での最大揚水量
- (3) 仕様を上げた場合の揚水量
- (4) 水資源に関する地域での問題／潜在的問題

■評価

- A 記載事項を説明できる
- B 記載事項を認識しているが説明は困難である
- C 記載事項の認識を認識している
- D 記載事項の認識が不十分である

F-61 専門家派遣リスト(4) 第4年次要員計画

	分野	要員	年次	派遣期間			
				第1回	第2回	第3回	日数
1	総括／啓蒙・普及	石井 信行	第1年次	03年1月30日 - 03年3月15日			45
			第2年次	03年4月21日 - 03年9月30日	03年10月6日 - 04年3月5日		315
			第3年次	04年4月20日 - 04年10月2日	04年10月9日 - 05年2月28日		309
			第4年次	05年4月20日 - 05年8月28日	05年9月4日 - 05年12月15日		234
2	給水施設	吉川 淳	第1年次	03年1月30日 - 03年2月28日			30
			第2年次	03年4月21日 - 03年7月20日	03年7月26日 - 03年11月6日		195
			第3年次	04年6月16日 - 04年11月12日			150
			第4年次	05年5月11日 - 05年6月9日	05年10月17日 - 05年12月15日		90
3	副総括／住民組織化	深井 善雄	第1年次	03年2月9日 - 03年3月15日			35
			第2年次	03年4月21日 - 03年6月9日	03年7月25日 - 03年9月2日	03年12月17日 - 04年2月29日	165
			第3年次	04年8月10日 - 04年11月7日	04年12月1日 - 05年2月28日		180
			第4年次	05年6月15日 - 05年8月13日	05年10月17日 - 05年12月15日		60
4	水資源	永沼 俊道	第1年次				—
			第2年次	03年6月2日 - 03年7月31日	04年1月6日 - 04年3月5日		120
			第3年次	04年6月1日 - 04年7月30日			60
			第4年次	05年11月1日 - 05年12月15日			45
5	村落開発1(営農)	井上 茂	第1年次				—
			第2年次	03年9月1日 - 03年12月14日			105
			第3年次	04年10月1日 - 04年12月14日			75
			第4年次	05年8月18日 - 05年12月15日			120
6	社会／ジーンダ配慮	浜岡 真紀	第1年次				—
			第2年次	03年5月9日 - 03年7月7日			60
			第3年次	04年10月11日 - 04年12月9日			60
			第4年次	05年5月18日 - 05年7月11日			55
7	啓蒙・普及2(住民)	後藤 雅哉	第1年次	03年1月30日 - 03年2月28日			30
			第2年次	03年4月21日 - 03年8月3日	03年8月9日 - 03年11月6日	04年1月17日 - 04年2月15日	225
			第3年次	04年4月20日 - 04年7月18日	04年10月17日 - 05年2月28日		225
			第4年次	05年4月20日 - 05年7月3日	05年10月2日 - 05年12月15日		150
8	村落開発2(放牧畜)	折田 岩美	第1年次				—
			第2年次	03年11月18日 - 04年1月31日			75
			第3年次	04年6月15日 - 04年9月12日	05年1月15日 - 05年2月28日		135
			第4年次	05年4月20日 - 05年6月3日	05年10月17日 - 05年12月15日		105
9	フォロアップ／標準マニュアル	翠川 清子	第1年次				—
			第2年次				—
			第3年次				—
			第4年次	05年4月25日 - 05年6月8日			45

F-62 :プロジェクト主要調達機材一覧表

機材名	数量	用途	調達	単価	金額	納入時期
1 プロジェクト車輻(4X4)	2	活動全般	発注者本邦調達	13,600,000 Fcfa	27,200,000 Fcfa	2003年2月
2 プロジェクト車輻(4X4ピックアップ)	2	同上	発注者本邦調達	10,899,000 Fcfa	21,798,000 Fcfa	2003年2月
3 デスクトップパソコン	10	資料作成、データベース作成等	受注者現地調達	336,100 Fcfa	11,230,200 Fcfa	2003年2月
4 ノートパソコン	2	セミナー、ワークショップ、啓蒙普及等	受注者現地調達	362,900 Fcfa		2003年2月
5 啓蒙用機材(マイク、アンプ、スピーカー、発電機等)	一式	ASUFOR啓蒙普及等	受注者現地調達	—	4,143,000 Fcfa	2003年2月
6 ビデオデッキ	7	ワークショップ、啓蒙普及、各種研修等	発注者現地調達	132,293 Fcfa	926,051 Fcfa	2003年2月
7 テレモニター	4	同上	発注者現地調達	844,068 Fcfa	3,376,272 Fcfa	2003年2月
8 ビデオプロジェクトー	1	セミナー、保健衛生教育等	発注者現地調達	1,870,000 Fcfa	1,870,000 Fcfa	2003年2月
9 スクリーン	1	同上	発注者現地調達	110,000 Fcfa	110,000 Fcfa	2003年2月
10 プリンター	5	資料作成等	発注者現地調達	—		2003年2月
11 ファックス	4	業務連絡	発注者現地調達	—		2003年2月
12 無停電電源装置	4	データ保護	発注者現地調達	—	5,709,000 Fcfa	2003年2月
13 デジタルビデオカメラ	3	活動記録	発注者現地調達	6,000,000 Fcfa	18,000,000 Fcfa	2003年2月
14 ビデオ編集ソフト	1	ビデオ編集	発注者現地調達	166,000 Fcfa	166,000 Fcfa	2003年2月
15 井戸カメラ	3	井戸維持管理技術移転	発注者本邦調達	6,113,000 円	18,339,000 円	2003年5月
16 水位計	18	同上	発注者本邦調達	25,150 円	452,700 円	2003年5月
17 pHメータ	18	同上	発注者本邦調達	98,000 円	1,764,000 円	2003年5月
18 ECメータ	18	同上	発注者本邦調達	16,500 円	297,000 円	2003年5月
19 pH標準液(弱酸性/酸性/中性/弱酸性/ホウ酸円)	18	同上	発注者本邦調達	2,850 円	51,300 円	2003年5月
20 pH標準液用粉末	72	同上	発注者本邦調達	4,500 円	324,000 円	2003年5月
21 pH比較電極内筒液	36	同上	発注者本邦調達	1,500 円	54,000 円	2003年5月
22 コピー機	2	資料作成	発注者現地調達	1,686,210 Fcfa	3,372,420 Fcfa	2003年6月
23 従量制移行用水量計(グループ1)	一式	水道メータ設置(BF26/AB9/SC3/BP10)	受注者現地調達	—	6,997,300 Fcfa	2003年8月
23 従量制移行用水量計(グループ2)	一式	水道メータ設置(BF47/AB6/SC2/BP50)	受注者現地調達	—	7,031,700 Fcfa	2003年10月
24 啓蒙普及教材:紙芝居	18	啓蒙普及	発注者現地調達	1,400,000	25,200,000 Fcfa	2003年10月
25 教材用:架台(鋼製)	18	啓蒙普及	発注者現地調達	70,000	1,260,000 Fcfa	2003年10月
26 デスクトップパソコン	10	資料作成、データベース作成等	発注者現地調達	810,000 Fcfa	8,100,000 Fcfa	2004年1月
27 プリンター	10	資料作成	発注者現地調達	325,000 Fcfa	3,250,000 Fcfa	2004年1月
28 ファックス	15	業務連絡	発注者現地調達	—		2004年1月
29 無停電電源装置	10	データ保護	発注者現地調達	—	5,520,000 Fcfa	2004年1月
30 コピー機	3	資料作成	発注者現地調達	990,000 Fcfa	2,970,000 Fcfa	2004年1月
31 プロジェクト車輻(4X4)	2	活動全般	発注者現地調達	14,900,000 Fcfa	29,800,000 Fcfa	2004年2月
32 養鶏餌製造機(ミレット製粉機)	2	養鶏活動等	発注者現地調達	1,400,000 Fcfa	2,800,000 Fcfa	2004年2月
33 従量制移行用水量計(グループ3)	一式	水道メータ設置(BF82/AB19/SC13/BP10)	受注者現地調達	—	13,821,330 Fcfa	2004年7月

F-63 : 年度別現地運営経費(一般現地活動費)

平成14年度(第1年次)実績

費目		金額(円)
1	傭人費 通訳	246,800
2	車輛借上費 車輛費・運転手・燃料	832,180
3	国内旅費 カウンターパート出張旅費	111,600
4	通信費 事務所電話代・Eメール接続	43,900
5	資機材購入費 啓蒙普及機材、デスクトップパソコン・ノート型パソコン・携帯電話	4,649,900
6	セミナー開催費 会場費・資料・参加者旅費	184,400
7	その他 現地広報費	93,000
8	外貨交換手数料 ($\Sigma 1\sim 7$) $\times 0.01$	61,618
計		(1,000円未満切捨) 6,223,000

平成15年度(第2年次)実績

費目		金額(円)
1	傭人費 通訳・秘書・ブリック職人・溶接技師・鍛冶職人	2,309,748
2	車輛借上費 車輛費・運転手	1,126,512
3	貸与車輛関連費 運転手・燃料	2,441,393
4	交通費 車輛維持管理	185,829
5	国内旅費 カウンターパート出張旅費	1,547,070
6	運搬費 DHL	93,000
7	通信費 事務所電話代	308,000
8	複写費 コピー機トナー	62,763
9	資機材購入費 ジェンダー関連文具・生産活動多様化関連	3,310,511
10	資料等作成費 レポート・マニュアル・ガイドライン	254,675
11	セミナー開催費 会場費・参加者旅費等	692,074
12	機材保守管理費 コピー機メンテナンス	61,920
13	外貨交換手数料 ($\Sigma 1\sim 12$) $\times 0.01$	123,935
計		(1,000円未満切捨) 12,517,000

平成16年度(第3年次)実績

費目		金額(円)
1	傭人費 通訳・秘書・運転手	4,485,163
2	機材保守管理費 車輛維持管理・コピー機メンテナンス	271,226
3	消耗品費 車輛燃料費・オペレータ指導用ボード・工具等	1,963,700
4	旅費・交通費 カウンターパート出張旅費	2,246,328
5	通信運搬費 DHL代・事務所電話代・危機管理用TELカード	637,706
6	資料等作成費 報告書用紙・プリンタートナー・コピー機トナー	112,148
7	現地研修費 生産活動多様化関連・セミナー関連	5,537,436
8	国内活動費(註1) 教材作成・ホームページ	64,050
9	その他 水質分析費	115,080
10	外貨交換手数料 ($\Sigma 1\sim 7,9$) $\times 0.01$	153,688
計		(1,000円未満切捨) 15,586,000

平成17年度(第4年次)予算

費目		金額(円)
1	傭人費 通訳・アシスタント・秘書・運転手	5,933,658
2	車輛借上費 車輛費・運転手	478,892
3	機材保守管理費 車輛維持管理・コピー機メンテナンス	1,807,770
4	消耗品費 車輛燃料費・オペレータ指導用ボード	2,066,472
5	旅費・交通費 カウンターパート出張旅費	2,473,740
6	通信運搬費 DHL代・事務所電話代・危機管理用TELカード	688,052
7	資料等作成費 報告書用紙・プリンタートナー・コピー機トナー・コピー製本代	1,071,525
8	現地研修費 生産活動多様化関連・セミナー関連・サイト視察関連	4,547,190
計		(1,000円未満切捨) 19,067,000

一般現地活動費 第1-4年度合計	53,393,000
------------------	------------

註1 : 国内活動費であるが契約金額内訳書の一般業務費として計上されているため、そのまま記載した。

F-64 :施設整備(年度別施設別金額)

平成14年度(第1年次)実績

費 目	金 額 (円)
なし	0
計 (1,000円未満切捨)	0

平成15年度(第2年次)実績

費 目	金 額 (円)
ルガ維持管理本部オペレータ研修施設整備(改修)	8,623,000
計 (1,000円未満切捨)	8,623,000

平成16年度(第3年次)実績

費 目	金 額 (円)
タンバクンダ維持管理本部オペレータ研修施設整備(新設)	24,706,280
計 (1,000円未満切捨)	24,706,000

平成17年度(第4年次)予算

費 目	金 額 (円)
カオラック維持管理本部オペレータ研修施設整備(新設)	24,003,200
計 (1,000円未満切捨)	24,003,000

施設整備費 第1-4年度合計	57,332,000
----------------	------------

F-65 :カウンタートパート本邦研修

担当		カウンタートパート			本邦派遣期間 (出国日-帰国日)		主な研修科目
1	PM/啓蒙普及(行政)	M. Masse NIANG			2003年 (平成15年度) 第2年次	2003年 1月3日-1月18日	他ドナーや関連機関との連携維持管理システム構築に関わるマネジメント 1. 日本のODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 住民参加型開発手法(参加型開発一般事項・事例・ツール) 4. 住民参加型給水事業(水道料金や維持管理費用についての一般事項) 5. プロジェクトのモニタリング及び評価(評価フロー・基本原則・評価5項目)
		セネガル北部	M. Ndiame DIOP	2003年 (平成15年度) 第2年次	2003年 1月3日-1月25日		
2	給水施設	セナガル中部	M. Mamadou GASSAMA	2005年 (平成17年度) 第4年次	2005年 9月3日-9月25日	持続的な給水施設維持管理システムに関する技術指導及びマネジメント 1. 日本のODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 村落給水計画・太陽光利用と施設計画・水資源開発・地下水探査 4. 住民参加型給水事業(水道料金や維持管理費用についての一般事項) 5. 井戸掘削現場の視察・研修施設建設・改修計画立案及び事業費積算	
		セネガル南部	M. Moussa DIOP	2004年 (平成16年度) 第3年次	2004年 1月3日-1月25日		
		セネガル北部	M. Mamadou SAMB	2004年 (平成16年度) 第3年次	2004年 8月14日-9月9日		
3	住民組織化	セネガル南部	M. Amadou SALL	2005年 (平成17年度) 第4年次	2005年 9月3日-9月29日	ASUFOR啓蒙普及に係わる技術指導およびマネジメント 1. ODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 日本における住民参加型事業事例視察、草の根事業現場視察 4. 日本の地方自治体行政の現状と現場視察 5. モニタリング及び評価(PRA・実務演習)、水とジェンダー	
		セネガル南部	M. Amadou SALL	2003年 (平成15年度) 第2年次	2003年 1月3日-2月1日		
4	啓蒙普及(住民)	Mme. Aminata Sow GUEYE			2003年 (平成15年度) 第2年次	2003年 1月3日-2月1日	住民参加型事業及び社会ジェンダーに係わる技術指導およびマネジメント 1. 日本のODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 住民参加型開発手法(住民参加型給水事業、水とジェンダー) 4. プロジェクトのモニタリング及び評価(評価フロー・原則・評価5項目) 5. 草の根活動視察、地方自治体と住民両者参加型no公共事業現場視察
5	社会/ジェンダー配慮	Mme. Aminata Sow GUEYE			2004年 (平成16年度) 第3年次	2004年 8月14日-9月5日	地下水モニタリング、給水施設維持管理の技術指導及びマネジメント 1. 日本のODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 村落給水計画・太陽光利用と施設計画・水資源開発・地下水探査 4. 井戸掘削現場視察・梁井戸を水源とした取水施設視察及び技術講義 5. 深井戸を利用した給水事業の運営維持管理
6	水資源	M. Mamadou SARR			2004年 (平成16年度) 第3年次	2004年 8月14日-9月5日	地下水モニタリング、給水施設維持管理の技術指導及びマネジメント 1. 日本のODA概要と動向(特にアフリカ/セネガルに対する取組み) 2. プロジェクト管理・組織形成・組織運営(スケジューリング管理/進捗管理) 3. 村落給水計画・太陽光利用と施設計画・水資源開発・地下水探査 4. 井戸掘削現場視察・梁井戸を水源とした取水施設視察及び技術講義 5. 深井戸を利用した給水事業の運営維持管理

F-66 :再委託概要

第2年次	内容	対象地域	仕様書承認	契約書承認	契約承認	契約金額
■ベースライン調査	ASUFOR啓蒙普及実施に際し、地域社会の特徴を基礎情報として事前に把握し、これに留意した啓蒙普及活動を実施することを目的として、プロジェクト活動前後の水管理に関わる状況変化を分析した。質問表を用いた世帯調査とキーパーソンへのインタビュー調査を実施した。	G1・G2・G3・タイハ	2003/5/23	2003/5/30	2003/6/4	4,949,123 円
■マニュアル作成・ASUFOR研修	ASUFOR啓蒙普及に関わるマニュアル(啓蒙普及マニュアル、紙芝居、研修テキスト)を作成し、これを用いた啓蒙普及活動を行うアニメータへのASUFOR研修をルガ及びタンバンクンで維持管理センター職員を主な対象として実施した。	—	2003/5/23	2003/5/30	2003/6/4	3,645,734 円
■社会ジェンダー分析調査	ASUFOR啓蒙普及対象サイトにおける社会ジェンダー分析調査及び世帯収入向上プログラム対象サイトにおけるジェンダーの視点に基づき生活状況調査を実施した。主な調査内容は、アクセスとコントロール分析、活動プロフィール、生活時間調査、水管理委員会活動への参加意識(質問票)、ニーズプライオリティランキング(PRA)等。	G1・G2・G3・タイハ	2003/5/7	2003/5/30	2003/6/4	2,113,538 円
■ASUFOR普及・モニタリング インパクト調査・保健衛生教育	「マニュアル作成委託業務」で作成された教材を活用してASUFOR啓蒙普及を実施し、その後状況をモニタリングを実施した。又、シネバス(巡回型ビデオ放送)による安全な水や保健衛生に関わる情報の提供も併せて実施した。	G1・G2・タイハ	2003/5/24	2003/5/30	2003/6/4	4,468,358 円
第2年次 合計						
第3年次						
■ASUFOR啓蒙普及	ASUFOR啓蒙普及活動は、第2年次の「マニュアル作成委託業務」で作成された教材を活用し、維持管理センター職員への啓蒙普及としての現地研修を兼ねて行った。第2年次前半に対象サイトのうちグループ3-1(6サイト)、広範囲にグループ3-2(6サイト)を実施した。	G3	2004/5/19	2004/5/24	2004/5/25	4,564,076 円
■インパクト調査	別途実施されたベースライン調査の結果を踏まえ、ASUFOR定着後におけるサイト住民の意識変化、水管理状況の変化(主に施設、会計)等を把握することを目的として、インパクト調査を実施した。調査はJICA専門家チームと協議の上、コンサルタントが実施する。各サイトにおいてASUFORに関連する月毎の活動概況を整理・分析し報告書としてとりまとめた。	G1・G2・タイハ G3	2004/5/19	2004/5/24	2004/5/25	2,535,598 円 1,404,331 円
■保健衛生教育	ASUFOR啓蒙普及実施サイト(グループ3-1、グループ3-2:合計12サイト)に対し、保健衛生の講習会を1回行う。当該講習会にはJICA専門家およびセネガル側カウンセラーが同行した。また、安全な水、保健衛生(水因性疾患など)、栄養等の有用な情報を住民に提供する。ためにシネバス(巡回型ビデオ放送)をグループ3-1とグループ3-2において各1回実施した。	G1・G2・タイハ G3	2004/5/19	2004/5/24	2004/5/25	1,521,359 円 1,872,442 円
第3年次 合計						
第4年次						
■インパクト調査	ASUFOR定着後、サイトの住民の意識の変化、水管理状況の変化(主に施設、会計)等を把握することを目的として、ASUFOR啓蒙普及を終えたサイトに対しインパクト調査を各2回実施する。調査はJICA専門家チームと協議の上、コンサルタントが実施する。各サイトにおいてASUFORに関連する月毎の活動概況を整理・分析し、報告書としてとりまとめる。	G1・G2・タイハ G3	2005/5/11	2005/5/12	2005/5/13	2,782,000 円 3,081,600 円
■保健衛生教育	ASUFOR手法を啓蒙普及したサイトの住民に対して、安全な水、保健衛生(水因性疾患など)、栄養等の有用な情報を住民に提供するためにシネバス(巡回型ビデオ放送)をグループ1、グループ2およびタイバンジャイ村にて各2回実施する。シネバスの上映ではJICA専門家およびカウンセラーと協力しながら実施する。	G1・G2・タイハ G3	2005/5/11	2005/5/12	2005/5/13	1,669,200 円 2,054,400 円
■マニュアル標準化	地方給水事業の改革に関わるマニュアルの標準化を推進する。標準化の主な対象は、ASUFOR啓蒙普及・モニタリング関連、給水施設維持管理関連、生産活動多様化関連と、ロギングの作成と優先順位付け、記載事項の確認、農業・水利省による標準マニュアル認定のための準備作業(ドラフト作成)を実施する。	—	2005/5/11	2005/5/12	2005/5/13	2,033,000 円
第4年次 合計						

付属資料 7-2

**セネガル国 安全な水とコミュニティー活動支援計画
終了時評価調査
専門家向け質問票**

以下の質問項目は、「JICA 事業評価ガイドライン改訂版 2004」に基づき、PDM に従って終了時評価を実施するために作成したものであります。お忙しいなか恐縮ではありますが、ご回答いただきたく御願ひ申し上げます。終了時評価に使用する PDM につきましては、

なお、JICA の評価ガイドライン(旧版)では評価に際しては、既存の PDM を現実にあわせて評価用 PDM を作成するのが一般でありましたが現行の改訂ガイドラインでは原則として既存の PDM(複数の PDM がある場合は最新のもの)に基づき評価を行うことに成っています。本質問票においては、2005 年 3 月作成の Version 3 (PDM₃)を評価用 PDM として使用しています。

また、一部の設問に関しましては、既に JICA 本部宛にご送付いただいた資料で回答済みであり、入れ違いになっているかもしれません。また、別途当該設問の回答となるような資料を作成いただいている場合もあろうかと思ひます。そのような場合には「回答済み」と記載頂ければ結構です。また、本質問票は、JICA プロジェクト評価のガイドラインに従いその内容が包括的なものとなっています。担当外の事項である等の理由で回答が不可能あるいは困難な設問に関しては回答欄を空欄とし、回答可能な項目のみをできるだけ早く回答いただきたく御願ひ申し上げます。またコメント欄は特にご意見が無ければ無回答で結構です。

専門家それぞれに別個に回答いただいても、プロジェクトでまとめて一本の回答としていただいてもどちらでも結構です。

よろしく御願ひします。

回答者： 石井信行

担当分野： 総括/啓蒙普及(行政)

第一部 プロジェクト実施のプロセスに関する質問

F1. 活動は計画通りに実施されたか。成果は計画通り発現しているか。

- () 活動は計画通り順調に実施され、2006 年 1 月末までには予定された成果がすべて発現する見込みである。
- (○) 多少の問題、遅延は見られるが予定された成果は 2006 年 1 月末までには概ね発現する見込みである。
- () 進捗に遅れが見られ、予定された成果の一部は 2006 年 1 月末までに発言しない懸念があるが、プロジェクト目標達成への影響は小さい。
- () 2006 年 1 月末では、重要な成果が未達に終わると思われ、プロジェクト目標達成が困難と思われる。

コメント：

プロジェクト活動によりそれぞれ状況は異なるが、予定されている各活動の成果は 2006 年 1 月末までには概ね発現する見込みである。

F2. 技術移転の方法に問題はなかったか。

- (○) 特に問題はない。
- () 若干問題あり。
- () 大いに問題あり。

コメント：

技術移転の方法に特筆すべき問題はない。

F3. プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか。

F3-1 モニタリングの仕組み

F3-1-1 プロジェクト内部での進捗状況の確認はどのように行われたか。

a. 頻度

毎月。 三ヶ月ごと。 半年ごと。 年一回。

b. 誰が

まず C/P が行き、のち専門家と C/P が協議する。

C/P と専門家が共同で行う。

まず専門家が行い、のち C/P に説明する。

その他

説明：

ASUFOR 啓蒙普及活動実施後のモニタリングは、維持管理センター（BPF）スタッフの巡回により月 1 回の割合で実施され、専門家の現地調査による状況確認も適宜行う体制で実施された。

F3-1-2 進捗上の問題点や、外部条件の変化に応じて活動内容は適切に修正されたか。

説明：

進捗の上、発生した幾つかの問題点については、プロジェクトチーム内で協議を行い必要な修正が行われた。

F3-2 上記計画修正を含め、プロジェクト活動上の重要事項における意思決定過程の概略をご説明ください。

説明：

活動日程の調整やアプローチの修正については、プロジェクトチーム（C/P 及び専門家）内で協議が行われた。協議では問題点のポイントを整理し、チームメンバーの提案をもとにその効果・妥当性を検討の上決定された。PDM の改訂を必要とする事項についてはチーム内でワークショップを開催した。

F3-3 JICA 本部・在外事務所の支援・協力は機能したか。

F3-3-1 実施期間中のモニタリング結果等による軌道修正等に迅速に対応したか。

よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

JICA 本部・在外事務所より適切な業務連絡や安全管理情報を含む多方面で支援・ご協力を頂いた。

F3-3-2 必要に応じて適切な助言・支援を行ったか。

よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

プロジェクトの開催したセミナーや委員会に参加頂き、各種レポート等に対しても適切な助言を頂いた。

F3-3-3 プロジェクト実施現場（派遣専門家等）とのコミュニケーションはよかったか。

よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

派遣専門家からの月例報告の際、又は随時電話連絡等で必要十分なコミュニケーションを持って頂いた。

F3-3-4 その他支援・協力状況

よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

プロジェクトに関わる日程調整等においても迅速に対応して頂いた。

F3-4 プロジェクト内のコミュニケーションの仕組み。専門家と C/P との関係（十分なコミュニケーションがあるか等）

F3-4-1 定例会議の状況（毎月、隔週、毎週等にどのような会議があったか。等）

説明：

維持管理局（DEM）本部にて専門家と C/P 間で日常的にコミュニケーションが図られた他、プロジェクト活動の内容や進捗に応じて団内会議が開催された。定例会議としては下記の 3 種がプロジェクト期間を通じて継続開催された。

1) 維持管理本部長連絡協議会：

地方在住（ルガ、カオラック、タンバクンダ）の C/P である 3 名の維持管理本部長との協議会で、1 回/2-3 ヶ月の頻度で開催し、主に維持管理業務や民間業者に関する検討・提案が行われた。

2) 省内 3 局連絡協議会：

維持管理局（DEM）、水利局（DH）、水資源計画管理局（DGPRE）の代表者と C/P により 1 回/3 ヶ

月の頻度で開催し、主に 3 局の役割分担の確認や水資源に係わるモニタリング体制に関する協議が行われた。

3) DEM プロジェクト代表者連絡協議会：

PEPTAC、REGEFOR、PARPEBA、PRS2 のプロジェクト代表者による連絡協議会で 1 回/3 ヶ月の頻度で開催し、類似プロジェクトの進捗状況・有効手法の共有化、マニュアル標準化、民間業者選定などに関する協議が行われた。

F3-4-2 日常のコミュニケーション

() よかった。 (○) まあまあだった。 () あまりよくなかった。

コメント：

C/P 間（本部と地方）のコミュニケーションに未だ改善の余地が散見される。プロジェクトで供与した FAX 機の有効利用を継続してコミュニケーション活性化の継続が望まれる。

F3-4-3 問題認識の共有・共同作業による課題設定の状況

(○) よかった。 () まあまあだった。 () あまりよくなかった。

コメント：

当初、実施機関側に JICA や技プロのシステムに対して不慣れな面があり、他ドナーの類似プロジェクトのスキームとの混同も見られたが、プロジェクト活動を通じて、技プロや本プロジェクトの特徴について理解を得られた。

F3-4-4 信頼関係の確立

(○) よかった。 () まあまあだった。 () あまりよくなかった。

コメント：

プロジェクト活動における目標の共有化や、諸問題を改善するための協働作業を通じて、信頼関係が徐々に構築された。

F3-4-5 C/P の主体性・参加意識は高いか

(○) よかった。 () まあまあだった。 () あまりよくなかった。

コメント：

維持管理センター（BPF）スタッフ等の地方在住の C/P にはプロジェクトへの参加意識に個人差が見受けられた。日常業務の多忙さ故にプロジェクトへの参加に積極性を欠く地方スタッフもいたが、概ね C/P の主体性・参加意識は高く、ルガ、マタム、ジゲンシヨールの BPF では、プロジェクトによって得た知見（プロジェクトで実施したアニメータ研修を受講）とツール（啓蒙普及用紙芝居）を利用して、プロジェクトのサポートに頼らずに独自に ASUFOR 啓蒙普及活動を実施した。

F3-4-6 その他

コメント：

F3-5 プロジェクトとセネガル側関係機関との関係（コミュニケーションは良好か、十分な協力を得られているか）

F3-5-1 農業・水利省維持管理局（DEM）との関係

(○) 良好。 () まあまあ。 () あまりよくない。

コメント：

JICA プロジェクトの特徴や技プロのシステム等への認識を実施機関から得るには、信頼関係を基に十分な説明が必須となる。プロジェクト開始以来、DEM 局長の交代が 2 回あり、現在 3 人目の局長であるが、信頼関係の構築と適切な説明を繰り返し行い、徐々に JICA 及びプロジェクトへの認識が得られた。

F3-5-2 農業・水利省水資源計画管理局（DGPRES）との関係

(○) 良好。 () まあまあ。 () あまりよくない。

コメント：

既に十分な信頼関係を構築しており、十分な協力を得られている。

F3-5-3 農業・水利省水利局（DH）との関係

(○) 良好。 () まあまあ。 () あまりよくない。

コメント：

DH は、1979 年以来 JICA が継続してきた無償資金協力案件（地方給水）の実施機関でもあり、JICA に対する十分な信頼関係を有しており、本プロジェクトへも十分な協力が得られている。

F3-5-4 地方上下水道支所との関係

(○) 良好。 () まあまあ。 () あまりよくない。

コメント：

の地方支所は、給水に係わる地方行政の窓口でもあり、本プロジェクト開始以来、各地方支所と良好な関係を有している。特にルガ及びタンバクンダ地方支所については、第2年次に「アニメータ研修」を現地で実施し良好な協力関係にある。

F3-5-5 生産活動多様化関連省庁との関係

良好。 まあまあ。 あまりよくない。

コメント：

合同調整委員会には農業局 (Direction de l'Agricultur) や園芸局 (Direction de l'Horticulture)、牧畜局 (Directeur de l'Elevage) 等の生産活動多様化関連の省庁代表者がメンバーとして参画しており、プロジェクト活動や目標・成果に関する認識が得られている。

F3-5-6 生活環境向上関連省庁等との関係

良好。 まあまあ。 あまりよくない。

コメント：

上記 F3-5-5 のコメントに同じ。

F3-5-7 その他関係機関との関係で特記すべきことがあれば記載ください。

コメント：

特になし

F3-6 国際機関や外国援助機関、NGO、現地民間業者等との関係で本プロジェクトの円滑な実施にプラスあるいはマイナスに働いた例があれば記載ください。

F3-6-1 プラスに作用した例：

2004年12月に地方給水事業の改革に関わるドナー会合を提唱し、ASUFOR 啓蒙普及関連プロジェクトを実施している AFD (GEREFOR)、CTB (PARPEBA)、EU (PRS2) 及び JICA による会合を開催した。この会合の開催により、ドナー間及びプロジェクト間の協調・連携が更に促進された。

F3-6-2 マイナスに作用した例：

特になし

F4. 相手国実施機関のオーナーシップは確立されているか。

F4-1 本プロジェクトの実施に係わる問題が生じた場合、どの省庁・部局の誰に話をすればよいか。権限、責任は明確かつ適切か。

- 明確かつ適切である。
 多少の問題はあるがプロジェクト活動への悪影響はあまりない。
 問題があり、プロジェクトの円滑な実施に支障あり。

コメント

現在セネガルでは、地方給水事業の改革が進められており、この改革の中で DEM は、近い将来、技術的な維持管理業務を推進する組織から監理業務を主とした組織への改変が求められている。組織改変後の DEM の将来像については様々な議論が継続されており、未だ明確な将来像が行政側で共有されていない面があるが、DEM は「ASUFOR 啓蒙普及活動の推進主体」として認識されており、行政、ASUFOR 及び民間業者による維持管理体制の構築を目指す本プロジェクトに対するオーナーシップは十分に確立されている。

F4-2 責任者のプロジェクトマネジメントへの参加の度合い

- 高い。良好
 まあまあ
 低い。悪い

コメント：

プロジェクト開始以来、DEM 局長の交代が 2 回あり、現在 3 人目の局長であるが、信頼関係の構築と適切な説明を繰り返し行い、JICA 及びプロジェクトへの認識が得られた。

F4-3 活動に必要な予算の手当

- 適切な予算が配分されている
 まあまあ
 適切な予算が配分されず、プロジェクト活動に支障を来している。

コメント：

セネガルでの地方給水事業における改革の背景には、行政が管轄する動力式給水施設の急増に相反する

DEM 職員の人員削減や予算規模の縮小がある。行政側が維持管理活動を行うために必要な移動用燃料費も不足しているのが現状である。プロジェクト活動の実施に支障をきたすほどの影響は受けていないが、プロジェクト活動に係わる旅費や移動用燃料費はプロジェクト側での準備が不可欠である。

F4-4 C/P 他人員配置の適性度（数、質、専門分野等）

- 適切な人員（数・質・職種・専門分野）が配置されている
 まあまあ
 適切な人員が配置されず、プロジェクト活動に支障を来している。

コメント：

上述したように、実施機関が直接的な維持管理活動を行うには人員が不足しており、ASUFOR と民間業者の契約をベースとした維持管理業務実施への委託を必要とする要因の一つとなっている。今後 DEM は直接的・技術的な維持管理業務を推進する組織から監理業務を主とした組織への改変が行なわれるが、本プロジェクトにおいて維持管理センター（BPF）スタッフ等に対してアニメータ研修を実施し、必要なツールを供与したことにより、組織・業務の改変に先立って、BPF スタッフが独自に ASUFOR 啓蒙普及を開始する等の成果も出ており、自立発展の上では今後更なる人材の育成と、その効果的な配置が望まれる。

本プロジェクトの実施機関 DEM は地方給水施設の維持管理局であるため、営農や放牧畜といった生産活動多様化実証活動に係わる適切な C/P を配置することが困難であったが、農業・水利省植物保全局 Notto 支所長である Ndiaye 氏が C/P として選定されて以来、同氏による定期的な現場巡回指導が行われている。

F4-5 機材の引き取り、施設整備の円滑度

- 高い。良好
 まあまあ
 低い。悪い

コメント：

本プロジェクトでは井戸カメラ、水位計、pH/EC メータ等の水資源管理機材、ASUFOR 啓蒙普及用紙芝居、プロジェクター、スクリーン等の啓蒙普及用機材、コンピュータ、プリンター、FAX 機等の OA 危機やデータ通信機器、従量制料金徴収に必要な水量計等各種活動に必要な機材を供与している。また、施設オペレータ研修のための研修室の整備（ルガ、カオラック、タンバクンダ）を実施した。これらの機材については有効に使用され適切に保管されており、2004 年 5 月に JICA セネガル事務所、官房長等の出席の下、DEM への引渡し式も実施された。

F4-6 関係省庁のプロジェクトに対する認識は高いか。

F4-6-1 農業・水利省各部署の認識

- 高い。良好
 まあまあ
 低い。悪い

コメント：

特になし

F4-6-2 生産活動多様化関連省庁の認識

- 高い。良好
 まあまあ
 低い。悪い

コメント：

特になし

F4-6-3 生活環境向上関連省庁の認識

- 高い。良好
 まあまあ
 低い。悪い

コメント：

特になし

F4-6-4 地方水道局の認識

- 高い。良好
 まあまあ

() 低い。悪い

コメント：

特になし

F4-7 C/P やターゲットグループその他関係者のプロジェクトに対する認識は高いか。

(○) 高い。良好

() まあまあ

() 低い。悪い

コメント：

特になし

F5. プロジェクト開始の前提条件は満たされていたか。

F5-1 PDM では以下の前提条件が満たされない限りプロジェクトは実施できないとしています。この前提条件は満たされていますか。

F5-1-1 前提条件 1. 使用可能な給水施設が存在する

(○) この条件は満たされていた。

() 多少問題はあるがプロジェクトにとって大きな影響はない。

() 大いに問題あり、プロジェクトの実施に悪影響をもたらしている。

コメント

特になし

F5-1-2 前提条件 2. 住民に水料金負担能力がある

(○) この条件は満たされていた。

() 多少問題はあるがプロジェクトにとって大きな影響はない。

() 大いに問題あり、プロジェクトの実施に悪影響をもたらしている。

コメント

特になし

F6. その他プロジェクトの円滑な実施に大きな悪影響を与えた事項はあるか。逆に予期以上に好影響を与えた事項はあるか。

(○) 特になし (深刻な悪影響を及ぼす事項はないが、今後の見通しに関する不確定な要素を以下に記す)

() 下記が大きな悪影響を与えた。

() 下記が予期以上に好影響を与えた。

コメント

セネガル政府は、2005年4月にミレニアム開発目標等の達成のための国家戦略として、PEPAM プログラムを公表した。このプログラムには、給水セクターに関わる包括的な戦略の一つとして、本プロジェクトの実施機関である農業・水利省維持管理局 (DEM) について、従来の給水施設の修理などを主体とする技術的な維持管理業務から、監理を主体とする間接的な維持管理業務への移行が謳われ、その達成時期 (2007年6月) についても明記された。この国家戦略は、セネガル政府が推進している地方給水事業の改革を更に推し進めるものであり、本プロジェクトの目的にも合致するものであり、本プロジェクトへの好影響を与えているものである。

一方で、この国家戦略を受けて、農業・水利省及び実施機関側では、業務移行に関する詳細なプランの策定を開始し、現在は、そのプロセスの途上にあるため、達成期限は明確になっているものの、その詳細については見通しが不確定な状況にあり、本プロジェクトの目指す持続的な給水施設維持管理体制の構築に伴う民間セクターの導入について実施機関側の認証等の点において、遅れの出る可能性もある。

第二部 評価五項目に関する質問

A. 妥当性 (PDM に示された「プロジェクト目標」「上位目標」「スーパーゴール」は評価時においても目標として意味を持つか。セネガルの国策、受益者のニーズ、日本側方針等に合致しているか)

A1. 本プロジェクトの実施協議調査報告書(2002年11月)に添付されたプロジェクトドキュメントでは、以下の5点から本プロジェクト実施の妥当性は高いとされている。実施協議以後に、プロジェクト目標や上位目標の重要性、その他プロジェクトの実施に対しプラスあるいはマイナスの影響を与えるようなセネガル国の政策・経済・社会などの変化はあったか。

A1-1 案件内容の公共事業・ODAとしての適格性。

[プロジェクトドキュメントの記述]

給水セクターはいうまでもなく公共事業として最も基本的な分野の1つであり、安全な水を安定的に供給することは、あらゆる村落開発の基礎に位置づけられる。

我が国のODAは、常に対象国民ひとりひとりの生活改善を目的として活動が行われており、セネガルでは20年以上に亘り、地方村落の給水施設整備が続けられてきている。本プロジェクトでは、整備してきたそれらの給水施設のさらなる有効利用を促進することで、もう一步進んだ住民の生活改善を図ることを目的としており、ODA事業としての適格性は確保されていると判断される。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[○] より重要になった。[] 重要性は変わっていない。[] 重要度は低下した。[] 分からない。

理由/コメント：：

本プロジェクトの妥当性については、プロジェクトドキュメントに記載されている案件内容の公共事業としての適格性に变化はない。セネガルでは20年以上に亘り給水施設整備が継続しているが、同国の地方部の遠隔地には、民営化が進む都市給水とは異なり、未だBHNの充足の上で安全な水の安定供給が必要な状況にある村落が多数存在することから、公共事業としてその重要性に関しては益々高くなってきていると判断される。

A1-2 我が国の援助政策、国別事業実施計画との整合性。

[プロジェクトドキュメントの記述]

我が国は、セネガルに対し20年に亘って給水施設整備の無償資金協力を行ってきた実績を有しており、同分野への協力は我が国の援助政策の一環として高い優先順位で取り組まれている。また、近隣諸国への波及効果も期待でき、広域協力を推進する我が国の援助政策と合致する。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[] より重要になった。[○] 重要性は変わっていない。[] 重要度は低下した。[] 分からない。

理由/コメント：：

地方給水分野への協力は我が国の援助政策の一環として高い優先順位にあり、その重要性は変わっていない。また、途上国の地方給水における開発援助では、持続的な給水施設の運営・維持管理のためコミュニティベースによる施設の運営・維持管理が模索され、民間セクターの導入等が検討されている。本プロジェクトの推進は、安全な水の安定供給が望まれている地方部遠隔地へのBHNの充足や「人間の安全保障」等の我が国援助戦略に合致しており、今後の近隣諸国への波及効果や広域協力を目指す我が国の援助政策とも合致する。

A1-3 相手国ニーズへの一致。

[プロジェクトドキュメントの記述]

セネガルの国家開発計画で優先的課題とされている給水セクターへの取組みの一環として要請されたものであり、先方のニーズとの一致は確保されている。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[] より重要になった。[○] 重要性は変わっていない。[] 重要度は低下した。[] 分からない。

理由/コメント：：

本プロジェクトは、第9次社会経済開発計画、PSH(特別給水計画)、OMD(ミレニアム開発目標)、DSRP(貧困削減戦略)、PLT(水長期計画)等の上位計画に沿ったものである。政府は2015年を目標年次とするミレニアム開発目標達成のための、地方給水に関わる一連の上位計画を包括したPEPAMプログラムを公表するなど、地方給水事業に係わる改革が、近年更にダイナミックな潮流の中で推進されている。本プロジェクトの目的・活動・成果等は、PEPAMプログラムにおける地方給水に関わるセクターポリシ

一と合致しており、先方のニーズとの一致は確保されている。

A1-4 参加型の計画作成

〔プロジェクトドキュメントの記述〕

本プロジェクトの技術移転の対象は、セネガル鉱山・エネルギー・水利省職員であると同時に、給水施設を維持管理する地域住民である。また本プロジェクトでは、いくら有用な情報が伝達されても、住民の実際の活動が伴わなければ、水管理委員会は機能せず、プロジェクトが期待する成果は得られない。住民参加は、成否のカギを握る重要な位置づけにある。

これまでの啓蒙普及といえ、プロジェクト側から住民に一方通行的に情報を伝達する形式が大半であり、それで満足してしまう傾向が強かった。しかし、本プロジェクトではさらに踏み込んで啓蒙普及チームが実際に村落に入り、地域住民と水管理委員会の運営支援に取り組む。

他方、既に水管理委員会が順調に機能しているサイトの住民を啓蒙普及役として、プロジェクトに参加してもらうこと（村落間協力）も、1つの住民参加と位置づけることができる。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

〔 〕より重要になった。〔 〕重要性は変わっていない。〔 〕重要度は低下した。〔 〕分からない。

理由/コメント：：

本プロジェクトのASUFOR啓蒙普及活動では、C/Pと専門家で構成されたチームが村落に入り啓蒙普及を実施したが、先進村落の水管理委員会役員もチームメンバーとして参画し、同じ地方村落住民の視点からASUFOR設立の意義、設立時の問題解決方法についての協議・質疑応答の場を持つなど、参加型アプローチや村落間協力を手法として採用した。その妥当性・重要性に変化はない。

A1-5 日本の技術の優位性

〔プロジェクトドキュメントの記述〕

(1) 給水施設関連

本プロジェクトは日本の援助により建設された給水施設を対象としており、それぞれ基本設計段階で日本の技術基準をベースに、対象地域に適合するように設計されている。20年以上に亘り継続的に建設されてきたそれら給水施設は109箇所及び、そのほとんどが稼働中であるという実績からも、日本の技術水準は十分に実証済みであり、現地でも評価されている。

(2) 住民参加型水管理組合（ASUFOR）組成手法

これまで実施されてきた我が国の給水施設整備計画実績のなかで、水管理委員会への支援はセネガルのカウンターパート（C/P）機関に任されてきた。他方、他の援助機関によるプロジェクトのなかには、水管理委員会への支援を中心とした活動もあり、成果をあげている例もある。しかしながらASUFORの普及、モニタリングについてはまだ改善の余地が残されており、本プロジェクトでは、現地リソースを活用しつつ、その普及を促進することで、十分な優位性を確保できると考える。

なお、ASUFORについては現地語に対する対応、より分かりやすい啓蒙普及教材の制作等改良の余地もあり、今後予定されているプロジェクトではソフト面についての優位性についても確保できるものと考えられる。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

〔 〕より重要になった。〔 〕重要性は変わっていない。〔 〕重要度は低下した。〔 〕分からない。

理由/コメント：：

特になし

A1-6 その他プロジェクトドキュメントではふれていない面で本プロジェクトの妥当性にプラスあるいはマイナスの変化をあたえた要素はありますか。プロジェクト開始時と比べ現在どうなっているか。

〔 〕プラスの要素がある。〔 〕特にない。〔 〕マイナスの要素がある。〔 〕分からない。

理由/コメント：：

特になし

A2. 本プロジェクトの実施協議調査（2002年10月）以後に実施関係諸機関（農業・水利省維持管理局、水資源計画管理局、上下水道局、地方上下水道支所、生産活動多様化関連省庁、生活環境向上関連省庁等）の役割、組織、人事等に本プロジェクトの実施に対しプラスあるいはマイナスの影響があるような変化があったか。

〔 〕特にない。

- () プラスの変化があった。
 () マイナスの変化があった。

コメント：

A3. プロジェクトはセネガル国の給水分野の課題に対する戦略として適切か。

[○] たいへん適切だった。[] まあまあである。[] あまり適切でなかった。[] 分からない。

理由/コメント：

持続的な水利用体制の構築を目指す本プロジェクトは、**OMD**（ミレニアム開発目標）や**DSRP**（貧困削減戦略）の達成を課題とするセネガル国の地方給水分野への戦略として適切である。

A4. プロジェクトのアプローチ、目標達成への方法論は適切か。

[○] たいへん適切だった。[] まあまあである。[] あまり適切でなかった。[] 分からない。

理由/コメント：

持続的な維持管理体制の構築や住民の生活レベル向上を目指す本プロジェクトでは、**ASUFOR** 啓蒙普及活動、社会・ジェンダー配慮、施設オペレータ育成環境の整備、水資源管理体制の構築、生産活動多様化実証などの諸活動を通じて、各レベルの **C/P** への技術移転を図り、住民参加の促進や組織活動における透明性・公平性の確保に努めた。各活動における方法論は、セネガル政府の推進する地方給水事業におけるリフォーム「改革」に沿ったものであり適切なものである。

A5. 対象サイトの選定は、現時点で見て適切だったか否か。

[] たいへん適切だった。[○] まあまあである。[] あまり適切でなかった。[] 分からない。

理由/コメント：

本プロジェクトの **ASUFOR** 啓蒙普及対象サイトは、我が国無償資金協力により建設された全国に位置する **109** サイトより、施設の稼動状況の良好なものが選定され、セネガル北部（ルガ州、サンレイ州、マダム州）に **12** サイト、セネガル南部（タンバクンダ州）に **12** サイトとなった。このサイト選定に関しては下記の長所・短所がある。

<長所>

他の類似プロジェクトの対象地域セネガル国中部（チェス州、カオラック州、ファティック州、デューベル州）を中心としており、本プロジェクトで他ドナーが活動を実施していないセネガル北部及び南部を対象地域とすることにより、競合・重複を避けるだけでなく、今後の **ASUFOR** 全国展開の上で他ドナーのプロジェクトにない貴重かつ有効なモデルを提示することが可能である。また、プロジェクトが入るケースの少ない遠隔地を対象とすることは、当該地域の人的資源の開発・人材育成の面でも効果的である。

<短所>

対象地域を限定している他ドナーの類似プロジェクトでは、地域全体をまとめて同時に啓蒙普及活動を行うことが可能であり、効率的な活動が可能である。料金徴収を定額制から従量制へ移行する場合などでも近隣村落が同時に移行することとなるため、村落間に格差は発生しにくい。本プロジェクト対象サイトは広範囲な地域に点在しているため、啓蒙普及対象サイトと対象外の近隣村落の間に水料金やその徴収方法に格差を生みやすく、ダカールからサイトへの頻繁な巡回調査やモニタリングについても全対象サイトを短期間に実施するのは困難である。

A6. JICA は過去 20 年に亘り、セネガル国に対して給水分野での無償資金協力を実施してきた他、対象地域において教育や保健衛生分野での協力も実施してきている。これら他の協力と本プロジェクトの間には整合性があるか。

- (○) 整合性があり、相互補完ないし相互波及効果が見られ、有効である。
 () 重複や相互阻害が見られ、効率の面から問題がある。
 () 相互の関係はあまりない。

コメント：

これまでの地方給水分野の無償資金協力案件では、学校や保健ポストへの給水を踏まえた計画とすべく、関係機関との協議や連携を行っており、教育や保健衛生分野との整合性がある。

A7. 他のドナーあるいはセネガル自身による他のプロジェクトとの整合性はあるか。重複ないし競合関係はないか。

- (○) 整合性があり、相互補完ないし相互波及効果が見られ、有効である。

- () 重複や相互阻害が見られ、効率の面から問題がある。
- () 相互の関係はあまりない。

理由/コメント：

本プロジェクトでは地方給水に関わる他の類似プロジェクトとは定期的に協議会を開催し、それぞれの進捗状況の確認や、有効手法の共有化を図っている。類似プロジェクトのドナー会合の開催やマニュアル標準化等の協働推進を通じて、活動手法やアプローチの共有化等も積極的に進められている。類似プロジェクトは、いずれもセネガル政府の改革方針に沿っており、整合性に問題はない。またプロジェクト間で対象地域についての競合・重複はない。

B. 有効性（「プロジェクト目標」は、協力期間終了時（2007年7月30日）までに達成されるか。「成果」は「プロジェクト目標」達成のために、どの程度貢献できるか）

B1. 現在までの進捗状況から判断して下記プロジェクト目標「プロジェクト対象サイトでの活動を通じ、持続的な水利用体制が確立される。」は全体として期限までに達成されると思われるか。

- () 予期した以上のレベルで達成されるであろう。
- ほぼ期待したレベルで達成されるであろう。
- () 期待レベルには届かないが一応達成といえるレベルには届くであろう。
- () 目標達成というレベルにはとどかないであろう。

コメント：

PDM 上に示された各成果の詳細な達成状況は、それぞれに異なるが、概ね期待されていたレベルで達成されると思われる。

B1-1 PDM ではプロジェクト目標の達成度をはかる指標として以下の2項目を定めています。これらの指標の達成見込みにつき以下お答えください。

指標1. 2006年までに20サイト以上が運営維持管理能力評価で最優良又は優良と判定される。

- この指標は終了時までに達成できると確信する。
- () この指標は終了時までに達成できるか否か微妙である。
- () この指標は終了時までに達成困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

運営維持管理能力が最優良又は優良と評価されるサイト数は、2004年12月段階で13サイト、2005年5月段階で19サイトである。なお、詳細については別紙（No.01）参照。

指標2. 各サイトで給水停止となる施設事故の発生頻度が減少する。

- この指標は終了時までに達成できると確信する。
- () この指標は終了時までに達成できるか否か微妙である。
- () この指標は終了時までに達成困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

詳細については別紙（No.02：後日送付予定）参照。

B1-2 上記指標はプロジェクト目標の達成度を計る指標として適切か。なお、適切な指標とはできるだけ少ない指標でプロジェクト目標の達成度を端的に表すものであること、プロジェクト実施者にとって定期的にその時点での現在値が容易に得られ、進捗管理に活用できること、（現在値が簡単に答えられないというものがあれば、それはあまり適切な指標とはいえない）できるだけ客観的であること、できれば数値化（定量化）できるものであること、数値化が困難で定性的指標の場合もできれば YES/NO で簡単に答えられるものであること等が求められる。たとえば能力レベルが指標である場合は、試験の点数や施工実績数等で数値化するか、あるいは何々ができるレベルに到達したかといった YES/NO で答えられる形が望まれる。

- 上記2項目が達成されればプロジェクト目標は達成されたといえ、適切な指標と考える。
- () 上記2項目が達成されてもプロジェクト目標が達成されたとはいえず、他にも重要な要素がある。以下に指標の代替案（追加案）を提案する。
- () 上記2項目が達成されればプロジェクト目標は達成されたといえるが、データ入手が困難で進捗管理には活用できない。以下に指標の代替案を提案する。

代替案、その他コメント：

特になし

B2. プロジェクトにおける「成果」はそれが達成すれば、上記「プロジェクト目標」が達成するように設定されているか。過不足はあるか。

B2-1 全ての成果はプロジェクト目標の達成に有効に貢献するように設定されているか。(不要あるいはあまり効果がないと見られる成果は含まれていないか)

全ての成果はプロジェクト目標の達成に有効に貢献すると見られる

不要あるいはプロジェクト目標達成にあまり貢献しないものが含まれている。

理由/コメント：

PDM に記載されている「成果」はいずれも目標達成に貢献するものであり、不要な「成果」あるいは、効果の疑わしい「成果」は PDM 上含まれていないと判断される。

B2-2 成果はプロジェクト目標を達成するために十分であるか。プロジェクト目標達成のために必要あるいは極めて有効な項目が欠けていないか

必要な成果は網羅されており、成果を全て達成できればプロジェクト目標は達成できる。

プロジェクト目標達成に必要なあるいは極めて有効なものが欠けている。

理由/コメント：

限られた期間・予算内にプロジェクト目標である「持続的な水利用体制の構築」を実施する上で、現在 PDM に記載されている「成果」はいずれも妥当であると判断される。

B3. PDM では、成果が達成された上で、プロジェクト目標が達成されるために必要な外部条件として「大規模な旱魃が発生しない。」ことを挙げている。この条件は満たされる見込みか。

現時点までに大規模な旱魃が発生しておらず、プロジェクト目標達成への影響はなさそうである。

中小規模の旱魃が発生し、プロジェクト目標達成にある程度の影響がある。

既に大規模な旱魃が発生し、プロジェクト目標達成に大きな影響を与えている。

コメント：

特になし

B4. 上記 PDM に記載された外部条件以外で、プロジェクト目標達成に影響を与えた外部要因はあるか。

プロジェクト内部ではどうしようもない外部阻害要因が発生し、目標達成を難しくしている。

外部阻害要因が発生したが計画内容（投入、活動、成果等）の改訂や実施の工夫により克服し、目標達成への悪影響を最小限にとどめた。

特筆すべき外部阻害要因はないかあるいは合っても軽微であり、目標達成は可能である。

説明/コメント：

プロジェクト目標へ間接的な影響を与えた外在的な要因としてバツタの大発生があった。2004 年雨季後にバツタが大発生し、生産活動 Moukh Moukh サイトの野菜栽培に甚大な被害をもたらし、当初想定していた野菜の売り上げを達成することが出来なかった。

B5. プロジェクト目標達成に対する「貢献要因」は何か。

B5-1 計画内容（PDM に記された投入・活動等）でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項は何か。

コメント：

PDM に記載された活動はいずれもプロジェクト目標の達成に特に効果があった。また投入機材では 2003 年 12 月にデスクトップコンピュータ、プリンター、FAX 機等が各 BPF に配置されたことにより、地方部遠隔地における BPF のモニタリング活動・サイト巡回指導結果が、迅速に DEM 本部に送られるなど、地方と中央のコミュニケーションの改善に寄与している。これら OA 機器及び通信機器が有効に使用されることにより ASUFOR 活動状況に関するデータの送受信により、モニタリング活動や現地の状況把握が円滑に行われるようになった。

B5-2 PDM には記載が無いが、プロジェクトの実施の過程で工夫した事等でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項はあるか。

コメント：

2004 年 12 月に JICA 主導により、ASUFOR 啓蒙普及案件を推進するドナー（JICA、AFD、CTB、EU）

による会合を開催し、JICA 側より地方給水の改革に関わるマニュアルの整備・標準化を提唱し、各ドナーの賛同を得た。本プロジェクトで継続実施している DEM プロジェクト代表者協議会においても、このマニュアル標準化の協働作業の必要性を呼びかけ、現在 DEM 内部には本業務の推進を目的とした委員会が設置され、関係者による協議が行われている。本プロジェクトでは委員会に対し積極的な提案をすべく、関係諸機関からのマニュアル・ガイドラインに係わるデータ収集や、インベントリー、ロングリストの作成等の作業を現地再委託により実施し、マニュアル標準化の推進によって、持続的な水利用体制の構築を推進する上で必要となる有効手法・ツールの共有化に高い効果があると判断される。

B5-3 制度や規則の改定、民間の協力等プロジェクト外部の要因で、プロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項はあるか。

コメント：

目標とされる給水施設の持続的な維持管理体制は、各ドナーの推進するプロジェクトでモデルとして実証されつつあるが、今後セネガルにおいて、これらの実証モデルを一般化させ更に普及させて行くには、間接的な監理業務を主体とする今後の行政側（DEM）の役割と、ASUFOR との契約をベースとした維持管理業務を委託される民間セクター導入の推進に係わる法的な整備が必要であり、本プロジェクトの目標をより効果的に敷衍させる上で重要と判断される。

B6. プロジェクト目標達成に対する「阻害要因」は何か。

B6-1 計画内容（投入や活動の内容等）のなかでプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント：

特になし

B6-2 実施の過程においてプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分（プロジェクト内部の状況）があったか。

コメント：

特になし

B6-3 プロジェクト外部の要因でプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような事柄があったか。

コメント：

特になし

C. 効率性（投入／活動内容がどれくらい成果に結びついたか）に関する質問

C-1. 成果の発現状況は適切か

C1-1 PDM では、成果の発現状況をはかる指標として以下が設定されています。これらの指標について、ベースライン（プロジェクト開始直前あるいは直後の状況）、現在値（現時点でどこまで達成されたか）、終了時見込み（2006年1月末の状況予測）を下記ください。

なお、下記において終了時見込み値が目標値を下回る項目があればその理由をコメント欄に記載してください。（コメント欄にはそれ以外のコメントも自由に記載ください）

成果 1. 行政、村落住民及び民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される。

指標 1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が 100%水管理委員会の積立金から賄われる。

（軽微な故障に関する維持管理費がほぼ 100%水管理委員会の積立金から賄われているサイトの数）

ベースライン：

修理費を都度住民から徴収するケースや宗教指導者等からの寄付に頼るケースが見られた。

現在値：

軽微な故障に関する維持管理費がほぼ 100%積立金から賄われているサイト数=全 24 サイト

終了時見込み値：

軽微な故障に関する維持管理費がほぼ 100%積立金から賄われているサイト数=全 24 サイト

コメント：

詳細については別紙（No.11：後日送付予定）参照。

(軽微な故障：配管の漏水、メータの故障、発電機・ポンプ等の簡易な修理を要する故障等)

指標 1-2. 行政側は契約に基づいた水管理委員会と民間業者の役割に関する監理を行う

(行政の役割)

ベースライン：

行政側はこれまで給水施設の修理、補修等の技術的な維持管理業務を実施して来た。

現在値：

ASUFOR 啓蒙普及活動やモニタリング・フォローアップの実践経験を蓄積している。

終了時見込み値：

ASUFOR 活動への助言、民間業者委託業務の監理、調停業務等で適切な対応が可能となる。

コメント：

詳細については別紙 (No.12：後日送付予定) 参照。

指標 1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される

(維持管理契約が締結されたサイトの数)

ベースライン：

維持管理契約が締結されたサイト数=0

現在値：

維持管理契約が締結されたサイト数=0 (現在の進捗状況については下記コメント参照)

終了時見込み値：

維持管理契約が締結されたサイト数=6~12 サイト

コメント：

維持管理契約の締結は下記のステップにより段階的に推進されている。

() 内の数値は、この段階に至っているサイト数を示す。

- 1) 契約締結・継続に必要な ASUFOR 積立金の確認 (契約に必要な金額を確保しているサイト数=15)
- 2) 維持管理契約に関する住民側の合意 (合意取付完了サイト数=3)
- 3) 住民による ASUFOR ライセンスの申請 (申請済みサイト数=15)
- 4) 州政府による ASUFOR 活動内容の確認/申請受領書の交付 (交付済みサイト数=1)
- 5) DEM による ASUFOR ライセンスの交付 (交付済みサイト数=0)
- 6) 民間業者の公示 (2005 年 9 月 19 日新聞 Le Soleil に掲載済)
- 7) ASUFOR と民間業者による維持管理契約の締結

なお、ライセンス取得状況等の詳細については別紙 (No.13：後日送付予定) 参照。

(ASUFOR ライセンス：ASUFOR が給水施設に関わる契約を締結する際に要する行政からの許可証)

指標 1-4. 対象地域で行政側により、年に 1 回の割合で水質が検査される

(年に 1 回の割合で水質が検査されることが定例化したサイトの数。なお、サイト別水質検査実施頻度一覧表を作成・送付ください。表はフランス語で作成下さい。)

ベースライン：

行政側 (DGPRE) により必ずしも定期的ではないが水質検査が行われていた。

現在値：

年 1 回の割合で水質検査が定例化したサイト数=24 サイト

終了時見込み値：

年 1 回の割合で水質検査が定例化したサイト数=24 サイト

コメント：

行政側 (DGPRE) の検査は年 2 回の実施を基本とし、適正な観測井を選定の上実施されている。

詳細については別紙 (No.14：後日送付予定) 参照。

指標 1-5. 持続的な水利用体制の構築に必要なマニュアル (ドラフト) が作成される

(作成されたマニュアルドラフトの数。なお作成されたマニュアル (ドラフト) の一覧表をフランス語で作成し送付下さい。)

ベースライン：

マニュアル (ドラフト) の数=0 (類似プロジェクト毎にマニュアルが作成されていた)

現在値：

マニュアル (ドラフト) の数=15

終了時見込み値：

マニュアル (ドラフト) の数=42

コメント：

上記指標（1-5）「持続的な水利用体制の構築に必要なマニュアル（ドラフト）の作成」は、PDM に記載されていないが、上記質問表 B5-2 に記した如く、マニュアル標準化を関係諸機関と共に協働で推進することにより有効手法・ツールの共有化に高い効果があると判断される。

成果 2. 水管理委員会が適正に運営される

指標2-1. 対象サイトで従量制により水料金が徴収される

（従量制により水料金が徴収されるサイトの数）

ベースライン：

従量制により水料金が徴収されるサイト数=0（部分的・短期的な従量制の実施は対象外とした）

現在値：

従量制により水料金が徴収されるサイト数=23（現在 Gaoudi Gotti は従量制を停止している）

終了時見込み値：

従量制により水料金が徴収されるサイト数=24

コメント：

詳細については別紙（No.21）参照。

指標2-2. 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる

（水料金徴収率が80%以上となったサイトの数。なおサイト別水料金徴収率の一覧表をフランス語で作成し送付下さい）

ベースライン：

水料金徴収率が 80%以上となったサイト数=0

現在値：

水料金徴収率が 80%以上となったサイト数=16（現在確認中のサイトを除く）

終了時見込み値：

水料金徴収率が 80%以上となったサイト数=20

コメント：

詳細については別紙（No.22）参照。

指標2-3. 対象サイトの水管理委員会で銀行口座が開設される

（銀行口座が開設されたサイトの数）

ベースライン：

銀行口座が開設されたサイト数=11

現在値：

銀行口座が開設されたサイト数=23

終了時見込み値：

銀行口座が開設されたサイト数=24

コメント：

詳細については別紙（No.23）参照。

指標2-4. 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が監査される

（定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイトの数）

ベースライン：

定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイト数=1（Moukh Moukh）

現在値：

定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイト数=20

終了時見込み値：

定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイト数=24

コメント：

詳細については別紙（No.24）参照。

指標2-5. 全サイトにおいて事務局女性メンバーの割合が少なくとも1/3を占める

（事務局女性メンバーの割合が1/3以上を占めるサイトの数。なおサイト別男女別事務局メンバー数の一覧表をフランス語で作成ください）

ベースライン：

事務局女性メンバーの割合が 1/3 以上を占めるサイト数=0

現在値：

事務局女性メンバーの割合が 1/3 以上を占めるサイト数=確認中

終了時見込み値：

事務局女性メンバーの割合が 1/3 以上を占めるサイト数=確認中

コメント：

詳細については別紙 (No.25 : 後日送付予定) 参照。

指標2-6. 代表委員会のメンバーが全サイトにおいて男女同数となる。

(代表委員会女性メンバーの割合が 1/2 以上を占めるサイトの数。なおサイト別男女別代表委員会メンバー数の一覧表をフランス語で作成送付ください)

ベースライン：

代表委員会女性メンバーの割合が 1/2 以上を占めるサイト数=0

現在値：

代表委員会女性メンバーの割合が 1/2 以上を占めるサイト数=確認中

終了時見込み値：

代表委員会女性メンバーの割合が 1/2 以上を占めるサイト数=確認中

コメント：

詳細については別紙 (No.26 : 後日送付予定) 参照。

指標 2-7. 選出された事務局、理事会メンバーの各会合出席率が男女とも 80%を超える。

(各会合出席率が男女とも 80%を超える。サイト別男女別出席比率の一覧表をフランス語で作成送付ください)

ベースライン：

各会合出席率が男女とも 80%を超えるサイト数=0

現在値：

各会合出席率が男女とも 80%を超えるサイト数=確認中

終了時見込み値：

各会合出席率が男女とも 80%を超えるサイト数=確認中

コメント：

詳細については別紙 (No.27 : 後日送付予定) 参照。

成果 3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行われる。

指標3-1. 対象サイトで、月1度の割合で井戸の揚水量が検査される。

(月 1 度の割合で井戸の揚水量が検査されるサイト数。なおサイト別揚水量検査頻度一覧表をフランス語で作成送付ください)

ベースライン：

従来から揚水量の検査は行われていたが、継続実施が困難なケースが多く、記録も不備であった

現在値：

月 1 度の割合で井戸の揚水量が検査されるサイト数=21

終了時見込み値：

月 1 度の割合で井戸の揚水量が検査されるサイト数=24

コメント：

詳細については別紙 (No.31) 参照。

指標 3-2. 対象サイトのオペレータと水管理委員が、水利用ガイドラインについて説明できる。

(説明できるレベルにあるサイト数)

ベースライン：

説明できるレベルにあるサイト数=0

現在値：

説明できるレベルにあるサイト数=確認中

終了時見込み値：

説明できるレベルにあるサイト数=確認中

コメント：

詳細については別紙 (No.32 : 後日送付予定) 参照。

成果 4. 実証サイトにおける生産活動が多様化する。

指標4-1. 水管理委員会事務局が生産活動への資金援助を行う。

(資金援助実施件数。なお実施された資金援助の内容－援助対象、援助金額等－を示す一覧表を作成送付ください)

ベースライン:

資金援助実施件数＝確認中

現在値:

資金援助実施件数＝確認中

終了時見込み値:

資金援助実施件数＝確認中

コメント

詳細については別紙 (No.41 : 後日送付予定) 参照。

指標 4-2. 生産活動多様化プログラムに参加している営農・放牧畜グループ住民の収入が向上する。

(営農・放牧畜による平均収入額。なお、サイト別に収入向上が見えるデータを作成送付ください)

ベースライン:

営農・放牧畜による平均収入額＝確認中

現在値:

営農・放牧畜による平均収入額＝確認中

終了時見込み値:

営農・放牧畜による平均収入額＝確認中

コメント

詳細については別紙 (No.42 : 後日送付予定) 参照。

成果 5. 対象サイト住民の安全な水に係わる衛生慣習が改善される。

指標5-1. 各サイトのシネバス上映会に一定以上の住民が参加する

(シネバス上映会参加住民総数。なお、年度別サイト別住民数及び参加者数の一覧表を作成送付ください)

ベースライン:

シネバス上映会参加住民総数＝0 (プロジェクト開始以前にはシネバス上映会は実施されていない)

現在値:

シネバス上映会参加住民総数＝確認中

終了時見込み値:

シネバス上映会参加住民総数＝確認中

コメント

詳細については別紙 (No.51 : 後日送付予定) 参照。

指標 5-2. インパクト調査を通じて住民の保健衛生意識が向上する。

(住民の保健衛生意識。なおインパクト調査のデータを提出ください)

ベースライン:

住民の保健衛生意識＝確認中

現在値:

住民の保健衛生意識＝確認中

終了時見込み値:

住民の保健衛生意識＝確認中

コメント

詳細については別紙 (No.52 : 後日送付予定) 参照。

C1-2 上記の指標目標値は適切か。不適切と思われる項目があれば、その理由等を含めお書き下さい。

コメント:

上記指標目標値は適切と判断される。

C-2. プロジェクトの活動について

C2-1 PDM に設定された活動項目は成果を達成するのに適切であったか。(過不足などは無かったか。成果達成のためにあまり効果のない活動はなかったか、あるいは重要な活動が欠けており、記述され

ていない活動を、補完的に行ったりしたか)

- (○) 適当(必要・十分)であった。
 () 不要あるいはあまり効果のないものが含まれていた。
 () 必要あるいは極めて有効な項目がかけていた。

理由/コメント:

PDM に設定された活動項目は、成果を達成する上で過不足はなく適切であったと判断される。

C2-2 活動はタイミングよく実施されたか

- (○) タイミングよく実施された。
 () タイミングに問題あった。

理由・コメント:

各活動は適切な時期にタイミングよく実施された。但し、専門家の現地アサインの時期については、プロジェクトの進捗状況に踏まえた調整が必要であったため、各年度末の国内委員会でプロジェクト活動の進捗を報告すると共に、JICA 側に了承を得て現地アサイン時期の調整を行った。

C3. 活動に必要な投入は質・量・タイミングに問題なく実施され、成果の達成に有効に貢献したか。

(以下該当箇所に X を記入ください)

C3-1 セネガル側の投入

C/P リスト (氏名、担当分野、配置期間を示す C/P 配置一覧表)

担 当		C/P		
1	PM/啓蒙普及 (行政)	M. Masse NIANG		第1年次より継続
2	給水施設	セネガル北部	M. Ndiame DIOP	第1年次より継続
		セネガル中部	M. Mamadou GASSAMA	第3年次後期より新規
		セネガル南部	M. Moussa DIOP	第3年次前期より継続
3	住民組織化	セネガル北部	M. Mamadou SAMB	第3年次前期より継続
		セネガル南部	M. Amadou SALL	第3年次前期より継続
4	啓蒙普及 (住民)	Mme. Aminata Sow GUEYE		第2年次前期より継続
5	社会/ジェンダー配慮	Mme. Aminata Sow GUEYE		第2年次前期より継続
6	水資源	M. Mamadou SARR		第2年次前期より継続
7	村落開発 (営農)	M. Ousmane LY		第2年次後期より継続
		M. Abdou Wakhab NDIAYE		第4年次前期より新規
8	村落開発 (放牧畜)	M. Moustapha Thiam		第2年次後期より継続

専門家と協働でプロジェクト活動を行い、技術移転を受けるC/Pは上記12名であるが、本プロジェクトでは実施機関 (DEM) の地方組織である維持管理センター (BPF) のスタッフについても準C/Pとして位置づけている。

提供施設リスト (プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室、研修施設、村落でのプロジェクト活動拠点等)

プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室:

農業・水利省維持管理局 (DEM) 内の一室がプロジェクト執務室として提供された。

研修施設:

ダカールではセミナーや合同調整委員会を開催し、ルガやタンバクンダ等の地方部で研修を実施したが、行政側にはこれらの活動に適した研修施設がないため、プロジェクト側の予算でそれぞれの開催地で会場の借上げを行った。

村落でのプロジェクト活動拠点等

村落での活動に必要な協議及び準備を行う拠点として、当該村落を管轄する維持管理センター (BPF) や

維持管理本部（SM）の事務所が使用された。

村落での活動に必要な協議及び準備については、管轄する維持管理センター（BPF）の事務所にて行った。

年度別予算表

セネガル側の投入には特に年度別の予算は組まれていない。

その他の投入（もしあれば）

特になし

C3-1-1 C/P の配置

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
専門分野		X	
配置のタイミング	X		
技術力	X		
コミュニケーション力	X		

コメント：

実施機関（DEM）が給水施設の維持管理局であるため、生産活動多様化実証活動に関する専門性を持ったC/Pの選定が困難であった。

C3-1-2 補助要員（経理、秘書、運転手、通訳等）の配置

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
人数			
能力・質			
タイミング			

コメント：

通訳、運転手等に関するセネガル側の投入は無く、プロジェクト側の予算に計上された。

C3-1-3 プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
面積	X		
質	X		
タイミング	X		
場所	X		

コメント：

停電が雨期に頻発し、パソコンやコピー機、FAX機等の使用を要する等業務の進捗に影響した。

C3-1-4 研修施設

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
面積	X		
質	X		
タイミング	X		
場所	X		

コメント：

研修等の活動に適した研修施設を行政側が所有していないことが事前に判明していたため、研修施設についてはプロジェクト予算で借上げを行っており、借上げた施設に関して特に問題は発生していない。

C3-1-5 村落でのプロジェクト活動拠点

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
面積	X		
質	X		
タイミング	X		
場所	X		

コメント：

村落での活動に必要な協議及び準備を行う拠点として、当該村落を管轄する維持管理センター（BPF）や維持管理本部（SM）の事務所が使用され、特に問題は発生していない。

C3-1-6 運営コストの負担 (オペレータ及び水管理委員に対する研修開催費、電気、水、電話設備などのプロジェクト運営費、執務に必要な備品等)

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
予算額	X		
支出のタイミング	X		

コメント:

日本人専門家の執務室として、農業・水利省維持管理局 (DEM) 内の一室がプロジェクト執務室として提供された。その他では執務室内の備品 (机及び椅子) と電気代がセネガル側の提供である。研修開催費はプロジェクト側の予算で実施された。

C3-2 日本側の投入

下記日本側投入リストを作成送付ください。

派遣専門家リスト (氏名、担当分野、派遣期間を示す専門家派遣一覧表)

別紙 (No.61) 参照。

供与機材リスト (年度別金額及び主要機材名)

別紙 (No.62) 参照。

年度別現地運営経費表 (2004 年度までの実績及び 2005 年度予算額)

別紙 (No.63 : 後日送付予定) 参照。

施設整備 (年度別施設別金額。2004年度までの実績及び2005年度予算額)

別紙 (No.64 : 後日送付予定) 参照。

日本での C/P 研修 (氏名、担当分野、日本派遣期間を示す C/P 研修一覧表)

別紙 (No.65) 参照。

その他の投入 (もしあれば)

特になし

C3-2-1 長期専門家の派遣

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
専門分野	X		
派遣期間	X		
タイミング	X		
技術力	X		
コミュニケーション力	X		

コメント:

特になし

C3-2-2 短期専門家の派遣

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
専門分野	X		
派遣期間	X		
タイミング	X		
技術力	X		
コミュニケーション力	X		

コメント:

特になし

C3-2-3 C/P の日本研修

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
研修内容	X		
研修期間	X		
タイミング	X		
研修生の人選	X		

コメント：

C/P 研修については、C/P 毎に「研修評価会」が帰国前に日本で開催され、研修プログラムやその成果についてご評価を受けている。詳細については、この研修評価会に参加者（JICA 担当、TIC 担当）等からのコメント入手が客観的な評価材料として有効と判断される。

C3-2-4 施設整備

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
施設の種類	X		
数、面積	X		
質、仕様	X		
タイミング	X		

コメント：

特になし

C3-2-5 機材供与

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
機種	X		
仕様	X		
数量	X		
供与のタイミング	X		

コメント：

特になし

C3-2-5 プロジェクト運営経費の支出

	適切であった	多少問題あり	大いに問題あり
金額	X		
支出のタイミング	X		

コメント：

特になし

C4. 活動から成果に至るまでの外部条件の設定は現時点においても正しいか。外部条件の影響はあったか。

C4-1 PDM の外部条件「1. トレーニングを受けたオペレータが勤務を続ける」について

現在までのところ特に問題は生じておらず、予見しうる将来においても大きな問題はないと見られる。

現在までのところ特に問題は生じていないが終了時までには問題が生じる懸念がある。

既に問題が発生しプロジェクト活動に悪影響があった。

理由/コメント：

トレーニングを受けたオペレータが死去や高齢化等で勤務不能となる可能性は当然予見される。本プロジェクトでは、通常の新規施設のオペレータを対象とするトレーニングの他に、オペレータの交代を考慮した「オペレータ再訓練パッケージ」を提唱している。

C4-2 PDMの外部条件「2. 経済活動推進のための市場が確保され続ける」について

現在までのところ特に問題は生じておらず、予見しうる将来においても大きな問題はないと見られる。

現在までのところ特に問題は生じていないが終了時までには問題が生じる懸念がある。

既に問題が発生しプロジェクト活動に悪影響があった。

理由/コメント：

現在のところ、セネガルでは経済活動推進のための市場に大きな悪影響を及ぼす要因はなく、市場は確保され続ける、と判断される。

C5. 円滑に活動を実施し、成果を達成する上でプラスに働いた貢献要因について

C5-1 計画内容（実施機関や場所の選定、PDM に記された投入・活動の内容等）で成果の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項:

PDM に記された投入・活動は一樣に成果の達成に必要であり効果があると判断される。

C5-2 PDM には記載無いがプロジェクトの実施の過程で工夫した事等で成果の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項:

セネガル政府が地方給水事業の改革を推進する中、本プロジェクトが維持管理体制の構築を目指す上で、類似プロジェクトとの共通の状況認識を持って活動を進めることが不可欠であり、そのための具体的な手段として意見交換の機会を積極的に提案し、実施・継続することがプロジェクトの成果達成に繋がるものと判断される。JOCV への研修の公開や、プロジェクト活動での連携も PDM に記載されていない本プロジェクトの特徴である。

C5-3 制度や規則の改定、民間の協力、自然条件等プロジェクト外部の要因で成果の達成にプラスの効果があった（あるいはあると思われる）事項:

特になし

C6. 上記外部条件関連以外で、円滑に活動を実施し、成果を達成する上での阻害要因

C6-1 計画内容（実施体制や場所の選定、投入や活動の内容等）のなかで成果の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント:

特になし

C6-2 実施の過程において成果の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント:

特になし

C6-3 プロジェクト外部の要因で成果の効果的、効率的達成を阻害するような事象があったか。

コメント:

特になし

C7. 類似プロジェクトと比較して、成果の発現度・プロジェクト目標の達成度は投入コストに見合ったものであるか。

C7-1 より低いコストで達成する代替手段は無かったか。同じコストでより高い達成度を実現することはできなかったか。

コメント:

AFD 等の類似プロジェクトでは、プロジェクト管理が実施機関（DEM）側に任されており、ドナー側は鑑査やプロジェクト評価が中心として関わるプロジェクトの遂行方式を採っている。専門家が投入される本プロジェクトと運営方式・形態が異なるため、単純な比較は困難であるが、C/P への技術移転にも主眼を置いている本プロジェクトは、その成果の発現度・プロジェクト目標の達成度は投入コストに見合ったものと判断される。

D. インパクト（プロジェクトを実施した結果、どのような正負の変化が直接的、間接的に現れたか）

D1. 上位目標の達成見通し

D1-1 PDM では下記上位目標の達成度をはかる指標を以下の通り設定しています。これらの指標の達成見込みはどうか。

上位目標 1. 持続的な水利用体制普及のための行政能力が向上する。 2. 対象地域において住民の生活が改善される
--

指標1. 持続的な水利用体制の全国展開に向けた指針が示される。

() この指標は既に達成されている。

- () この指標は5年以内に達成するであろう。
(○) この指標は10年以内に達成するであろう。
() この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

セネガル政府は、持続的な水利用体制普及のための地方給水事業の改革を推進しており、PEPAM プログラムが公表され、新たな給水施設の維持管理体制構築へ向けてその達成期限（DEMの技術的な維持管理業務から監理を主体とした業務への移行期限=2007年6月）が明確にされており、農業・水利省はじめ関係諸機関は具体的なアクションを始動させていることから、持続的な水利用体制普及のための行政能力向上、という上位目標は遅くとも10年以内（2015年：ミレニアム開発目標達成時期）の達成が可能と判断される。

指標2-1. 水因性疾患数が__%のまま維持される。

- () この指標は既に達成されている。
() この指標は5年以内に達成するであろう。
(○) この指標は10年以内に達成するであろう。
() この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

指標 2-1は、「水因性疾患率が給水施設建設前と比較して約 50%減で維持される」に修正された（プログレスレポート 3 参照）。詳細コメントについては別途送付予定。

指標 2-2. 初等教育におけるドロップアウト率が__%まで減少する。

- () この指標は既に達成されている。
() この指標は5年以内に達成するであろう。
(○) この指標は10年以内に達成するであろう。
() この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

指標 2-2は、「初等教育におけるドロップアウト率(%)が全国平均以下(20%)まで減少する」に修正された（プログレスレポート 3 参照）。詳細コメントについては別途送付予定。

D1-2 上位目標のインパクト

上位目標の達成によりセネガル国開発計画へのインパクトは見込めるか。

コメント：

プロジェクト目標・上位目標は、セネガル政府が推進する地方給水改革に沿うものであり、ミレニアム開発計画や貧困削減戦略の達成を目指す PEPAM プログラム、及びそのアクションプランをはじめとしたセネガル国の上位計画・開発計画へのインパクトが見込めると判断される。

D1-3 PDM では上位目標達成のための外部条件として一項目「給水施設以外の公共サービスが維持される」をあげている。これについての見通しはどうか。

- [] 上記条件が満たされる可能性は非常に高い。
[○] 多少問題はあろうが概ね満たされると思われる。
[] 上記条件が満たされない懸念が高く上位目標達成が危ぶまれる。
[] なんともいえない。

コメント：

上位目標の 1 つである「対象地域において住民の生活が改善される」の達成には、持続的な給水施設の運営・維持管理事業の確立と安定が不可欠であるが、生活レベルの改善には給水以外の公共サービスの維持も併せて必要要件となる。現状では確実な予想は困難であるが、概ね満たされると判断される。

D1-4 プロジェクト目標が達成され上記外部条件が満たされれば上位目標は達成されるだろうか。他に上位目標を達成するために必要な要件があれば記載ください。

必要要件及びその要件が満たされる見込みに関するコメント：

プロジェクト目標が達成され上記外部条件が満たされれば、上位目標は達成されると判断される。

D2. 上位目標以外に何らかの正負のインパクト・波及効果が生じたか。横断的視点(政策、技術、環境、文化・社会、制度・組織、経済・財政面)で、プロジェクトほどの程度影響を与えたか。(あるいは与えそうか)

D2-1 政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響

影響度： 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

水政策の包括的な推進を目指す PEPAM プログラムでは法制度や政策策定等も盛り込まれており、本プロジェクトの同プログラムに与えるプラスのインパクトから、セネガル側の政策策定や法律・制度・基準などの整備への影響度は大きいと判断される。

D2-2 ジェンダー、人権、貧富、など社会・文化面への影響

影響度： 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

本プロジェクトはコミュニティーベースの給水施設維持管理体制の構築を目指し、住民組織である ASUFOR の啓発普及を行ってきた。対象となった各村落にはジェンダー、人権、貧富等の格差が存在する。その中での住民組織の透明性や公平性等に関わる啓発活動は、社会的文化的な影響度が大きいと判断される。

D2-3 実施機関の人事・組織・予算等への影響

影響度： 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

実施機関 (DEM) の役割は、これまでの技術的な維持管理業務から監理を主体とした業務へ移行する予定である。本プロジェクトでは実施機関の地方職員を中心にアニメータ研修を行ってきており、こうした人材育成や技術移転の成果は、実施機関の人事・組織・予算等への影響度が大きいと判断される。

D2-4 環境保護への影響

影響度：[] 大きい。 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

生産活動多様化実証活動として、堆肥・緑肥の利用による土壌の改善を実現、化学肥料や害虫・殺鼠剤使用の抑制等を含む「持続的な営農活動」を進めており、環境へのプラス要因と考えられる。また、数量的には多くはないが、防風林の設置と飼料木の植栽、一部 ASUFOR サイトへの果樹苗木の配布は、樹木の増加(植生の改善)に繋がるなど、いる。直接的な環境保護と異なるが、環境への配慮としての影響があるものと判断される。

D2-5 技術面での変革による影響

影響度： 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

ASUFOR 啓発普及における手法・技術(ジェンダー配慮を含め)や、オペレータ研修手法・技術、更に生産活動多様化実証活動における節水技術や集約型牧畜技術モデル等、本プロジェクト活動における技術面での影響度は大きいと判断される。

D2-6 C/P 他プロジェクト関係者の意識や生活への影響

影響度： 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

維持管理センター(BPF)等の実施機関の地方スタッフを対象としたアニメータ研修を行い、彼らを中心としたチーム編成で ASUFOR 啓発普及活動を行った。従来、地方の遠隔地にこうした投入が行われることが少なく、地方スタッフの多くはプロジェクト活動を通じて、中央政府が推進する地方給水事業の改革の必要性を認識し、プロジェクトのサポートを受けずに独自に ASUFOR 啓発普及活動を行う等の成果

も出ており、C/P への問題意識への影響度が大きいと判断される。

D2-7 人種、民族、性別、宗教、社会的階層などの違いにより異なったプラス・マイナスの影響は生じていないか。

影響度：[○] 大きい。[] 多少ある。[] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

地方部の村落では、民族間の差異や性的な差異、社会的な階層により文化的・慣習的に異なった様相を示している。本プロジェクトの対象村落では、様々なコミュニティーレベルで正の効果をもたらしている。特にプロジェクト活動におけるジェンダー配慮を通じて、女性の参加拡大だけでなく、情報開示の促進、ASUFOR の信頼性の向上及び透明性の確保に大きな効果が認められ、村落内の既存組織（青年組織、女性組織、菜園・牧畜などのグループ）や民族間（農耕民と牧畜民）、中心村落と周辺村落間の関係にプラスのインパクトが確認されている。

D2-8 プロジェクト実施の結果、環境汚染や女性の労働強化その他のマイナスインパクトは発生していないか。それを取り除くための方策は何か。

影響度：[] 大きい。[] 多少ある。[○] ない。[] 分からない。

理由/コメント：

持続的な ASUFOR 運営管理の確立は、深井戸施設の故障や修理期間を最小限に抑えるため、従来のような故障時の近隣地への水の確保に多大な時間を割く必要がなくなり、(女性に限らないが) 労働の軽減に貢献している。生産活動多様化プログラムでは、「持続的な営農活動」の観点から、農薬や化学肥料の使用を極力抑えた営農方法を指導しており、本プロジェクトの実施によって環境汚染や女性の労働強化、その他のマイナスの影響は発生していない。

E. 自立発展性（援助終了後、被援助国の機関・組織がどれだけプロジェクトの正の効果を維持することが出来るか。組織、財政、技術、人材育成など）

E1. 政策・制度面

E1-1 政策支援の継続性

[] 政府の「安全な水とコミュニティー活動支援」への支援は現状程度で推移する。

[○] 支援の増大が期待できる。

[] 支援は今後低下する懸念がある。

コメント/ご意見；

本プロジェクトの目指す持続的な維持管理体制の構築は、ASUFOR の啓発普及や民間業者への技術的な維持管理業務の委託等、セネガル政府側の政策に沿ったものであり、PEPAM プログラムの始動に対するセネガル政府や関係機関の積極性などから、本プロジェクト終了後もその連続性は持続され、支援の増大が維持できると判断される。

E1-2 関連規制・法制度の整備予定

() 既によく整備されている。

[○] 整備のための作業が具体的に動き始めている。

() 関係者の念頭にはあるが、具体的動きはまだない。

() 現在そのような動きはほとんど見られない。

コメント/ご意見；

本プロジェクトを含む関連プロジェクトの成果を踏まえ、今後の活動を推進する上で必要な関連規制・法制度の整備が望まれている。特に維持管理業務の民間への委託に関わる法制度については早急な整備が必要であるとの認識をセネガル政府、関係諸機関ともに有しており、既に PEPAM プログラムには法整備を含む活動フレームワークが明文化されるなど具体的に動きは始めているが、詳細なプランに付いては検討途上であり、今後 JICA を初めとしたドナー側のサポートをセネガル政府は期待している。

E2. 組織・財政面

E2-1 協力終了後も、プロジェクトのもたらした効果を継続・発展させていくための体制（組織、人材配置、予算配分等）整備の可能性はどうか。

E2-1-1 プロジェクトが対象としたサイトにおいて今後セネガル側だけで活動を継続していく体制はあるか。

- () 十分できると思う。
 (○) できるが強固ではない。
 () 難しい。

コメント：

プロジェクトが対象としたサイトにおいて今後セネガル側だけでフォローアップ等の活動を継続していくには、プロジェクト終了後しばらくは、実施機関が技術的な維持管理業務から監理を主とする間接的業務へ移行する過渡期であり、車輛の燃料費不足等の業務遂行予算が不足している状況から、定期的に行うべきモニタリングや必要なタイミングで実施すべきフォローアップが困難となる可能性がある。

E2-1-2 プロジェクトが実施した手法や作成した教材に従ってセネガル側だけで対象サイトを拡大していく体制はあるか。

- () 十分できると思う。
 (○) できるが強固ではない。
 () 難しい。

コメント：

本プロジェクト終了後からしばらくは、実施機関が技術的な維持管理業務から監理を主とする間接的業務へ移行する過渡期であること、車輛の燃料費不足等の業務遂行予算が不足している状況を考慮すると、セネガル側だけで対象サイトを拡大していく事は可能ではあるが、拡大のペースはスローダウンせざるを得ない状況にある。実施機関側及び村落側のモチベーションへの悪影響、効率や効果が低下する恐れも懸念される。

E3. 技術面

E3-1 プロジェクトで用いられた技術移転の手法は受容されつつあるか。(技術レベル、社会的・慣習的要因など)

プロジェクトで用いられた技術移転の手法は受容されている。手法は必ずしも固定すべきものではなく、サイトごと村落ごとの文化的社会的な背景や状況に応じて適用し、見直しや改良の必要性も含めてセネガル側への技術移転を実施している。また、野菜栽培指導における節水農法、有機的農法は、現地で調達できる材料で可能であり、C/P の賛同を得ている。対象住民グループにも、実証を通じて理解されつつある。

E3-2 資機材の維持管理は適切に行われているか。

コメント：

調達機材は適切に配置・使用され、配置先で管理されている。但し、ルガ、カオラック、タンバクンダの各維持管理本部に配置された3台の井戸カメラについては、現在(2005年9月)、米国で修理行われている。

E4. 社会・文化・環境面

E4-1 女性、貧困層、社会的弱者への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか。

コメント：

ASUFOR 組織化では女性、貧困層、社会的弱者へ特に配慮しており、理事会メンバーへの女性グループ、青年グループ、周辺村落からの代表者の参加を義務付けている。また、9名の事務局員にもなるべく半数は女性が就任するよう、啓蒙普及を行ってきた。

E4-2 環境への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか。

コメント：

特になし

E5. 上記のような側面を総合的に勘案して、自立発展性は高いのか、低いのか。

- (○) かなり高い
 () なんとかなる
 () 自立発展性には不安が大きい。

コメント：

セネガル政府が目指す地方給水事業の改革に沿った本プロジェクトの活動内容・成果は自立発展性の高いものと判断される。一方で、本プロジェクト終了後からしばらくの間は、PEPAM プログラム等が推

進され、新たな体制へ移行する過渡期である。この過渡期をセネガル側のみ任せるか、あるいはドナー側が過渡期に適したサポート（新たな体制への移行プロセスを後押しする等）を行うかで、「自立発展性」の質や規模に大きな違いが出てくると判断される。

E6. プロジェクト終了後セネガル側が上位目標に向けての活動を継続する上で直面すると思われる主要な問題点は何か

問題点：

1. 新たな体制への移行プロセスに関わる法整備
2. 民間セクターの発掘・育成

G. その他

G1. 本プロジェクトは、従来の主流であった省庁依存方式ではなく、いわゆるコンサルタント委託方式で実施されました。コンサルタント委託方式の長所、問題点、留意点等につきご意見下さい。

ご意見：

<コンサルタント委託方式の長所>

- ・現地の知見や類似業務の経験を有するコンサルタントの中から専門家を選定することが可能である
- ・民間との契約ベースであることからプロジェクトの成果監理が比較的容易である
- ・従来の派遣専門家に比べ、プロジェクト予算が比較的安価である

<コンサルタント委託方式の問題点>

- ・制度的な面が確立されていない（現状の制度は、従来の派遣専門家用のものである）
- ・活動内容の変更や補正が困難である
- ・精算手続きが煩雑である

G2. 今回の経験をふまえ、今後セネガル国において別のプロジェクトを企画・実施する場合、あるいは他の国において村落給水分野で類似の協力を行う場合、留意すべき事項等につきご意見下さい。

ご意見：

現地語のマニュアル、各種書類の整備は、プロジェクト活動に着いての認識や理解を住民から得る上で非常に有効である。可能であれば、セネガルの主要言語であるウォロフ、プル語だけでなく、その次に使用頻度が高いセレール語やマンディング系言語、プロジェクトの係わり方によっては南部のジョラ語等への翻訳も地方遠隔部での活動には有効である。

以上

セネガル国 安全な水とコミュニティー活動支援計画
 終了時評価調査
 専門家向け質問票

以下の質問項目は、「JICA 事業評価ガイドライン改訂版 2004」に基づき、PDM に従って終了時評価を実施するために作成したものであります。お忙しいなか恐縮ではありますが、ご回答いただきたく御願ひ申し上げます。終了時評価に使用する PDM につきましては、

なお、JICA の評価ガイドライン(旧版)では評価に際しては、既存の PDM を現実にあわせて評価用 PDM を作成するのが一般でありましたが現行の改訂ガイドラインでは原則として既存の PDM(複数の PDM がある場合は最新のもの)に基づき評価を行うことになっています。本質問票においては、2005 年 3 月作成の Version 3 (PDM₃)を評価用 PDM として使用しています。

また、一部の設問に関しましては、既に JICA 本部宛にご送付いただいた資料で回答済みであり、入れ違いになっているかもしれません。また、別途当該設問の回答となるような資料を作成いただいている場合もあろうかと思ひます。そのような場合には「回答済み」と記載頂ければ結構です。また、本質問票は、JICA プロジェクト評価のガイドラインに従ひその内容が包括的なものとなっています。担当外の事項である等の理由で回答が不可能あるいは困難な設問に関しては回答欄を空欄とし、回答可能な項目のみをできるだけ早く回答いただきたく御願ひ申し上げます。またコメント欄は特にご意見が無ければ無回答で結構です。

専門家それぞれに別個に回答いただいても、プロジェクトでまとめて一本の回答としていただいてもどちらでも結構です。

よろしく御願ひします。

回答者： 浜岡真紀
 担当分野： 社会ジェンダー配慮

第一部 プロジェクト実施のプロセスに関する質問

F1. 活動は計画通りに実施されたか。成果は計画通り発現しているか。

- () 活動は計画通り順調に実施され、2006 年 1 月末までには予定された成果がすべて発現する見込みである。
- () 多少の問題、遅延は見られるが予定された成果は 2006 年 1 月末までにはおおむね発現する見込みである。
- () 進捗に遅れが見られ、予定された成果の一部は 2006 年 1 月末までに発現しない懸念があるが、プロジェクト目標達成への影響は小さい。
- () 2006 年 1 月末では、重要な成果が未達に終わると思われ、プロジェクト目標達成が困難と思われる。

コメント：

F2. 技術移転の方法に問題はなかったか

- () 特に問題はない。
- () 若干問題あり。
- () 大いに問題あり。

コメント：

F3. プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか。

F3-1 モニタリングの仕組み

F3-1-1 プロジェクト内部での進捗状況の確認はどのように行われたか

- a. 頻度 (頻度は毎月を基本としているがサイトによってかなりばらつきがある)
- (○) 毎月。 () 三ヶ月ごと。() 半年ごと。 () 年一回。

b. 誰が

- まず C/P が行い、のち専門家と C/P が協議する。
 C/P と専門家が共同で行う。
 まず専門家が行い、のち C/P に説明する。
 その他

説明：

社会ジェンダーについては、成果指標のひとつである男女別の定期ミーティングへの参加状況を毎月モニタリングする仕組みを整えていた（ASUFOR→規定の理事会ミーティング議事録フォーマットを BPF 送付→BPF→ダカールプロジェクト事務所→担当 C/P→専門家）。従量制開始以降はこのフローに従い、担当専門家である当方のアサイン期間外にもデータを送付することとしていたが、以下の理由からこれらが十分に遂行されたとは言い難い。

- 1) ASUFOR→管轄 BPF への定期報告がなされていない。
- 2) 1)がなされた場合でも BPF からプロジェクト本部（ダカール）に定期報告がなされていない。
（上記2点の遂行状況についてプロジェクトで早い時期からフォローがなされていたのは言い難い）
- 3) 2)がなされた場合でも担当 C/P による月例確認がルーティン化しなかった（C/P 自身も複数の活動を兼務しているため、忘れがちとなっていたようである）。また実際に受領しても状況分析・フィードバックするまで至っていない（ひとつにはコンピュータスキル上入力するだけで手一杯であったようである）。
- 4) 3)をフォローすべき担当専門家（当方）は都度データ送付を促してきたが、東京もしくは出張先からのフォローには限界があった（現地アサイン期間中にこうした作業をルーティン化できなかったことは担当専門家として反省している）。

F3-4-2 日常のコミュニケーション

- よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

社会ジェンダー担当専門家と C/P とのコミュニケーションについては以下の通りです。

- 1) 当方の現地アサイン期間中は当方が仏語を解すことや同性であることから C/P にとってもコミュニケーションが取りやすかったようである（と理解している）。
- 2) アサイン期間外はメールでのコミュニケーションを2年次から試みてきたが、実際には C/P はコンピュータ操作が相当苦手としており、メールでのやり取りは終盤ようやく諸についたところである。

F3-4-3 問題認識の共有・共同作業による課題設定の状況

- よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

3年次より担当専門家と C/P が協働で実施したプロジェクト内部のモニタリング評価は（聞き取り調査及びグループディスカッション）、BPF のスタッフも含め現場で直接課題を共有し（特に女性参加が期待されたように促進されていないサイトについて）、住民と解決策を見出すプロセスを共有することが可能となった。

全体の作業プロセスという点では報告書作成作業も含めて C/P に技術移転をするには専門家のアサイン期間は十分ではなく、個別作業の後、専門家が報告書に取りまとめることになったのは残念であった。

F3-4-4 信頼関係の確立

- よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

上記現場作業を通じ、信頼関係は徐々に構築されていったのではないかとと思われる。

F3-4-5 C/P の主体性・参加意識は高いか

- よかった。 まあまあだった。 あまりよくなかった。

コメント：

- 1) 社会ジェンダー担当 C/P については、自身が女性参加促進のための活動を行っていることもあり、当該分野への関心が非常に高かったといえる。実際、現場でも当該 C/P の働きかけから女性参加の意義が理解できたとの声を ASUFOR 理事会メンバーから聞いているように、プロジェクト開始時のトレーニング、ASUFOR 啓蒙普及時の組織化において女性参加促進に貢献していたといえる。
- 2) こうした意欲を受けて、2年次に実施した「社会ジェンダー分析調査」は現地再委託で実施したが、3年次、4年次の現場における内部モニタリング評価は直営方式（専門家と C/P 及び BPF スタッフ）で実施した。

- 3) 従来 DEM スタッフはローカルコンサルタントのクライアントとして業務監理をする立場にあり、2年次に感じたのは、自分が使っているという妙なコントロール意識故か（ここは当方の憶測でしかないが）、現地コンサルタントに対する不平不満を漏らすばかりで、DEM 職員として委託業務のクオリティを高めようという意識があまり感じられなかった。直営方式は、C/P 自身も現地コンサルタントへの再委託を好まず、同時にこのような C/P の意識に対し疑問を感じ、1 度自分でひとつの調査を主体的に実践し、現場作業のプロセスを習得することで今後の業務監理にも役立つのではないかと感じたためである。
- 4) 当初（3 年次の現場調査開始時）は、現場でのプログラム調整(*)にしても専門家（当方）のクライアントであるように振舞う場面も見られた。恐らくこれは不慣れであることや、当方の説明が十分でなかったためでもあろう。しかしながら、現場調査が進むにつれて徐々に改善され、4 年次には専門家滞在中に ASUFOR 定着の遅延から内部モニタリング評価を実施できなかった 4 サイトは、C/P 独自に BPF 職員と共に現場調査を実施できるようになった。
- 5) 繰り返しになるが、唯一能力向上の面で達成度が低かったテーマに「レポーティング」が挙げられる。理想としては、現場調査実施後、聞き取り調査のデータ処理・解析、グループディスカッションのまとめ、モニタリング内容等を報告書として C/P もレポートすることが本当の意味での「協働」として望ましかった。しかしながら、元々の報告書作成能力、コンピュータ操作能力等が他の C/P に比べても決して高いといえない C/P に対して、年間 2 ヶ月のアサイン期間でこうした能力向上のための指導をじっくりと行うに至らなかった。

*ここでいう現場でのプログラム調整とは、調査時のグループインタビューの日時設定や聞き取り調査の対象サンプル数（7 割を目途）に対する調査の進捗管理等を指す。

C3. 活動に必要な投入は質・量・タイミングに問題なく実施され、成果の達成に有効に貢献したか。

（以下該当箇所に X を記入ください）

C3-1 セネガル側の投入

C/P リスト（氏名、担当分野、配置期間を示す C/P 配置一覧表）

担 当		C/P	
1	PM/啓蒙普及（行政）	M. Masse NIANG 第 1 年次より継続	
2	給水施設	セネガル北部	M. Ndiame DIOP 第 1 年次より継続
		セネガル中部	M. Mamadou GASSAMA 第 3 年次後期より新規
		セネガル南部	M. Moussa DIOP 第 3 年次前期より継続
3	住民組織化	セネガル北部	M. Mamadou SAMB 第 3 年次前期より継続
		セネガル南部	M. Amadou SALL 第 3 年次前期より継続
4	啓蒙普及（住民）	Mme. Aminata Sow GUEYE 第 2 年次前期より継続	
5	社会/ジェンダー配慮	Mme. Aminata Sow GUEYE 第 2 年次前期より継続	
6	水資源	M. Mamadou SARR 第 2 年次前期より継続	
7	村落開発（営農）	M. Ousmane LY 第 2 年次後期より継続	
		M. Abdou Wakhab NDIAYE 第 4 年次前期より新規	
8	村落開発（放牧畜）	M. Moustapha Thiam 第 2 年次後期より継続	

C3-1-1 C/Pの配置

	適切であった。	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
専門分野	X		
配置のタイミング	X		
技術力		X	
コミュニケーション力	X		

コメント：

繰り返しになるが、活動報告書取りまとめ等を含めた技術力（レポート能力）を含めると、他分野のC/Pに比べても苦勞があった（C/P本人にはスクールに通って習得したい旨申し入れがあったが、2年次から4年次までC/Pの中でも特に現場出張が多かった当該C/Pにはその余裕も無く、結局この部分の十分に伸ばすに至らなかった。

C3-1-2 補助要員（経理、秘書、運転手、通訳等）の配置

	適切であった。	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
能力・質	X		
タイミング	X		

コメント：

特になし

C3-2 日本側の投入

下記日本側投入リストを作成送付ください。

派遣専門家リスト（氏名、担当分野、派遣期間を示す専門家派遣一覧表）

C3-2-2 短期専門家の派遣（社会ジェンダー）

	適切であった。	多少問題あり	大いに問題あり
人数	X		
専門分野	X		
派遣期間		X	
タイミング		X	
技術力	X		
コミュニケーション力	X		

コメント：

当該プロジェクトへの参画が決定した時点では見込みでしかなかった他案件を受注した関係で、3年次以降は現場作業のみならず、報告書執筆やデータ整理なども含めたもう少し広範な技術移転を計画したかった。しかし、当方のスケジュール上その余裕がなく、民間企業として利益確保が求められる以上、（例えば自社に交代要員がない場合に他社要員に交代するなど）容易に要員の交代ができなかったため、満足いく業務であったと言い難く、またC/Pに対しても申し訳なく思う次第である。

その他ご意見等がありましたら記入下さい。

ご意見：

社会ジェンダー担当の当方のみが評価ミッション来セ時に現地不在のため、引き続きお問い合わせが必要な場合にはプロジェクト総括にCCで配信の上、ご連絡下さい。

社会ジェンダー担当

浜岡真紀

Jat.tun@planet.tn

セネガル国 安全な水とコミュニティー活動支援計画
終了時評価調査
カウンターパート向け質問票

以下の質問項目は、「JICA 事業評価ガイドライン改訂版 2004」に基づき、PDM に従って終了時評価を実施するために作成したものであります。お忙しいなか恐縮ではありますが、ご回答いただきたく御願ひ申し上げます。終了時評価に使用する PDM につきましては、

なお、JICA の評価ガイドライン(旧版)では評価に際しては、既存の PDM を現実にあわせて評価用 PDM を作成するのが一般でありましたが現行の改訂ガイドラインでは原則として既存の PDM(複数の PDM がある場合は最新のもの)に基づき評価を行うことに成っています。本質問票においては、2005 年 3 月作成の Version 3 (PDM₃)を評価用 PDM として使用しています。

また、一部の設問に関しましては、既に JICA 本部宛にご送付いただいた資料で回答済みであり、入れ違いになっているかもしれません。また、別途当該設問の回答となるような資料を作成いただいている場合もあろうかと思ひます。そのような場合には「回答済み」と記載頂ければ結構です。また、本質問票は、JICA プロジェクト評価のガイドラインに従ひその内容が包括的なものとなっています。担当外の事項である等の理由で回答が不可能あるいは困難な設問に関しては回答欄を空欄とし、回答可能な項目のみをできるだけ早く回答いただきたく御願ひ申し上げます。またコメント欄は特にご意見が無ければ無回答で結構です。

個々のカウンターパートそれぞれに別個に回答いただいても、プロジェクトでまとめて一本の回答としていただいてもどちらでも結構です。

よろしく御願ひします。

回答者： 4名 Nianga Masse(Hydraulic), Amadou Lamine Gassang (Kaolac SM 所長、Moussa Dior Diop (所長)、(水資源)

選択肢設問については回答欄に当該選択肢を選択した人数を記載。合計数が 4 にならないのはその設問に対して無回答の回答者があるため。

第一部 プロジェクト実施のプロセスに関する質問

F1. 活動は計画通りに実施されたか。成果は計画通り発現しているか。

- (2) 活動は計画通り順調に実施され、2006 年 1 月末までには予定された成果がすべて発現する見込みである。
- (0) 多少の問題、遅延は見られるが予定された成果は 2006 年 1 月末までには概ね発現する見込みである。
- (0) 進捗に遅れが見られ、予定された成果の一部は 2006 年 1 月末までに発現しない懸念があるが、プロジェクト目標達成への影響は小さい。
- (0) 2006 年 1 月末では、重要な成果が未達に終わると思われ、プロジェクト目標達成が困難と思われる。

コメント：

F2. 技術移転の方法に問題はなかったか。

- (1) 特に問題はない。
- (1) 若干問題あり。
- (0) 大いに問題あり。

コメント：一部に言語書壁及び文化の違いの問題有り。

F3. プロジェクトのマネジメント体制に問題はなかったか。

F3-1 モニタリングの仕組み

F3-1-1 プロジェクト内部での進捗状況の確認はどのように行われたか

- a. 頻度 (頻度は毎月を基本としているがサイトによってかなりバラツキがある)

毎月。 三ヶ月ごと。 半年ごと。 年一回。

b. 誰が

まず C/P が行い、のち専門家と C/P が協議する。

C/P と専門家が共同で行う。

まず専門家が行い、のち C/P に説明する。

その他

説明：

F3-1-2 進捗上の問題点や、外部条件の変化に応じて活動内容は適切に修正されたか。

説明：

F3-2 上記計画修正を含め、プロジェクト活動上の重要事項における意思決定過程の概略をご説明ください。

説明：

専門家の提案が検討されプロジェクトチームは一致して目標に前進した。

F3-3 JICA 本部・在外事務所の支援・協力は機能したか。

F3-3-1 実施期間中のモニタリング結果等による軌道修正等に迅速に対応したか。

(1) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-3-2 必要に応じて適切な助言・支援を行ったか。

(2) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-3-3 プロジェクト実施現場（派遣専門家等）とのコミュニケーションはよかったか。

(1) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-3-4 その他支援・協力状況

(0) よかった。 (2) まあまあだった。 () あまりよくなかった。

コメント：

F3-4 プロジェクト内のコミュニケーションの仕組み。専門家と C/P との関係（十分なコミュニケーションがあるか等）

F3-4-1 定例会議の状況（毎月、隔週、毎週等にどのような会議があったか等）

説明：

プロジェクト初期には毎週定例会議が開催された。特定テーマに関する会議は随時開催された。

F3-4-2 日常のコミュニケーション

(0) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-4-3 問題認識の共有・共同作業による課題設定の状況

(0) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-4-4 信頼関係の確立

(1) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-4-5 C/P の主体性・参加意識は高いか

(1) よかった。 (1) まあまあだった。 (0) あまりよくなかった。

コメント：

F3-4-6 その他

コメント：

F3-5 プロジェクトとセネガル側関係機関との関係（コミュニケーションは良好か、十分な協力を得られているか）

F3-5-1 農業・水利省維持管理局（DEM）との関係

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

F3-5-3 農業・水利省水利局（DHY）との関係

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

F3-5-4 地方上下水道支所との関係

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

F3-5-5 生産活動多様化関連省庁との関係

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

F3-5-6 生活環境向上関連省庁等との関係

(1) 良好。 (0) まあまあ。 (0) あまりよくない。

コメント：

F3-5-7 その他関係機関との関係で特記すべきことがあれば記載ください。

コメント：

F3-6 国際機関や外国援助機関、NGO、現地民間業者等との関係で本プロジェクトの円滑な実施にプラスあるいはマイナスに働いた例があれば記載ください。

F3-6-1 プラスに作用した例：

F3-6-2 マイナスに作用した例：

F4. 相手国実施機関のオーナーシップは確立されているか。

F4-1 本プロジェクトの実施に係わる問題が生じた場合、どの省庁・部局の誰に話をすればよいか。権限、責任、は明確かつ適切か。

(2) 明確かつ適切である。

(0) 多少の問題はあるがプロジェクト活動への悪影響はあまりない。

(0) 問題があり、プロジェクトの円滑な実施に支障あり。

コメント

F4-2 責任者のプロジェクトマネジメントへの参加の度合い

(1) 高い。良好

(0) まあまあ

(0) 低い。悪い

コメント：

F4-3 活動に必要な予算の手当

() 適切な予算が配分されている。

() まあまあ。

() 適切な予算が配分されず、プロジェクト活動に支障を来している

コメント：

F4-4 C/P 他人員配置の適性度（数、質、専門分野等）

(0) 適切な人員（数・質・職種・専門分野）が配置されている。

(1) まあまあ。

(0) 適切な人員が配置されず、プロジェクト活動に支障を来している

コメント：

F4-5 機材の引き取り、施設整備の円滑度

- (2) 高い。良好
- (0) まあまあ
- (0) 低い。悪い

コメント：

F4-6 関係省庁のプロジェクトに対する認識は高いか。

F4-6-1 農業・水利省各部署の認識

- (1) 高い。良好
- (0) まあまあ
- (0) 低い。悪い

コメント：

F4-6-2 生産活動多様化関連省庁の認識

- (1) 高い。良好
- (0) まあまあ
- (0) 低い。悪い

コメント：

F4-6-3 生活環境向上関連省庁の認識

- (1) 高い。良好
- (0) まあまあ
- (0) 低い。悪い

コメント：

F4-6-4 地方水道局の認識

- 高い。良好
- まあまあ
- 低い。悪い

コメント：

F4-7 C/P やターゲットグループその他関係者のプロジェクトに対する認識は高いか。

- (1) 高い。良好
- (0) まあまあ
- (0) 低い。悪い

コメント：

F5. プロジェクト開始の前提条件は満たされていたか。

F5-1 PDM では以下の前提条件が満たされない限りプロジェクトは実施できないとしている。この前提条件は満たされているか。

F5-1-1 前提条件 1. 使用可能な給水施設が存在する

- (2) この条件は満たされていた。
- (0) 多少問題はあるがプロジェクトにとって大きな影響はない。
- (0) 大いに問題あり、プロジェクトの実施に悪影響をもたらしている。

コメント

F5-1-2 前提条件 2. 住民に水料金負担能力がある

- (2) この条件は満たされていた。
- (0) 多少問題はあるがプロジェクトにとって大きな影響はない。
- (0) 大いに問題あり、プロジェクトの実施に悪影響をもたらしている。

コメント

F6. その他プロジェクトの円滑な実施に大きな悪影響を与えた事項はあるか。逆に予期以上に好影響を与えた事項はあるか。

- (0) 特になし
- (2) 下記が大きな悪影響を与えた。
- (0) 下記が予期以上に好影響を与えた。

コメント

第二部 評価五項目に関する質問

A. 妥当性 (PDM に示された「プロジェクト目標」「上位目標」「スーパーゴール」は評価時においても目標として意味を持つか。セネガルの国策、受益者のニーズ、日本側方針等に合致しているか)

A1. 本プロジェクトの実施協議調査報告書(2002年11月)に添付されたプロジェクトドキュメントでは、以下の5点から本プロジェクト実施の妥当性は高いとされている。実施協議以後に、プロジェクト目標や上位目標の重要性、その他プロジェクトの実施に対しプラスあるいはマイナスの影響を与えるようなセネガル国の政策・経済・社会などの変化はあったか。

A1-1 案件内容の公共事業・ODAとしての適格性。

[プロジェクトドキュメントの記述]

給水セクターはいうまでもなく公共事業として最も基本的な分野の1つであり、安全な水を安定的に供給することは、あらゆる村落開発の基礎に位置づけられる。

我が国のODAは、常に対象国民ひとりひとりの生活改善を目的として活動が行われており、セネガルでは20年以上に亘り、地方村落の給水施設整備が続けられてきている。本プロジェクトでは、整備してきたそれらの給水施設のさらなる有効利用を促進することで、もう一步進んだ住民の生活改善を図ることを目的としており、ODA事業としての適格性は確保されていると判断される。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[0] 分からない。

理由/コメント：：

A1-2 我が国の援助政策、国別事業実施計画との整合性。

[プロジェクトドキュメントの記述]

我が国は、セネガルに対し20年に亘って給水施設整備の無償資金協力を行ってきた実績を有しており、同分野への協力は我が国の援助政策の一環として高い優先順位で取り組まれている。また、近隣諸国への波及効果も期待でき、広域協力を推進する我が国の援助政策と合致する。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[1] 分からない。

理由/コメント：：

A1-3 相手国ニーズへの一致。

[プロジェクトドキュメントの記述]

セネガルの国家開発計画で優先的課題とされている給水セクターへの取組みの一環として要請されたものであり、先方のニーズとの一致は確保されている。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[0] 分からない。

理由/コメント：：

A1-4 参加型の計画作成。

[プロジェクトドキュメントの記述]

本プロジェクトの技術移転の対象は、セネガル鉱山・エネルギー・水利省職員であると同時に、給水施設を維持管理する地域住民である。また本プロジェクトでは、いくら有用な情報が伝達されても、住民の実際の活動が伴わなければ、水管理委員会は機能せず、プロジェクトが期待する成果は得られない。住民参加は、成否のカギを握る重要な位置づけにある。

これまでの、啓蒙普及といえ、プロジェクト側から住民に一方通行的に情報を伝達する形式が大半であり、それで満足してしまう傾向が強かった。しかし、本プロジェクトではさらに踏み込んで啓蒙普及チームが実際に村落に入り、地域住民と水管理委員会の運営支援に取り組む。

他方、既に水管理委員会が順調に機能しているサイトの住民を啓蒙普及役として、プロジェクトに参加してもらうこと(村落間協力)も、1つの住民参加と位置づけることができる。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[0] 分からない。

理由/コメント：：

A1-5 日本の技術の優位性。

[プロジェクトドキュメントの記述]

(1) 給水施設関連

本プロジェクトは日本の援助により建設された給水施設を対象としており、それぞれ基本設計段階で日本の技術基準をベースに、対象地域に適合するように設計されている。20年以上に亘り継続的に建設されてきたそれら給水施設は109箇所及び、そのほとんどが稼働中であるという実績からも、日本の技術水準は十分に実証済みであり、現地でも評価されている。

(2) 住民参加型水管理組合（ASUFOR）組成手法

これまで実施されてきた我が国の給水施設整備計画実績のなかで、水管理委員会への支援はセネガルのカウンターパート（C/P）機関に任されてきた。他方、他の援助機関によるプロジェクトのなかには、水管理委員会への支援を中心とした活動もあり、成果をあげている例もある。しかしながらASUFORの普及、モニタリングについてはまだ改善の余地が残されている。本プロジェクトでは、現地リソースを活用しつつ、その普及を促進することで、十分な優位性を確保できると考える。

なお、ASUFORについては現地語に対する対応、より分かりやすい啓蒙普及教材の制作等改良の余地もあり、今後予定されているプロジェクトではソフト面についての優位性についても確保できるものと考えられる。

上記観点での妥当性は、プロジェクト開始時と比べ現時点で見てどうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[0] 分からない。

理由/コメント：：

A1-6 その他プロジェクトドキュメントではふれていない面で本プロジェクトの妥当性にプラスあるいはマイナスの変化をあたえた要素はあるか。プロジェクト開始時と比べ現在どうなっているか。

[1] より重要になった。[0] 重要性は変わっていない。[0] 重要度は低下した。[0] 分からない。

理由/コメント：：

A2. 本プロジェクトの実施協議調査（2002年10月）以後に実施関係諸機関（農業・水利省維持管理局、水資源計画管理局、上下水道局、地方上下水道支所、生産活動多様化関連省庁、生活環境向上関連省庁等）の役割、組織、人事等に本プロジェクトの実施に対しプラスあるいはマイナスの影響があるような変化があったか。

(0) 特にない。

(1) プラスの変化があった。

(0) マイナスの変化があった。

コメント：

A3. プロジェクトはセネガル国の給水分野の課題に対する戦略として適切か。

[2] たいへん適切だった。[1] まあまあである。[0] あまり適切でなかった。[0] 分からない。

理由/コメント：

A4. プロジェクトのアプローチ、目標達成への方法論は適切か。

[0] たいへん適切だった。[1] まあまあである。[0] あまり適切でなかった。[0] 分からない。

理由/コメント：

A5. 対象サイトの選定は、現時点で見て適切だったか否か。

[1] たいへん適切だった。[0] まあまあである。[1] あまり適切でなかった。[1] 分からない。

理由/コメント：

A6. JICA は過去 20 年に亘り、セネガル国に対して給水分野での無償資金協力を実施してきた他、対象地域において教育や保健衛生分野での協力も実施してきている。これら他の協力と本プロジェクトの間には整合性があるか。

(1) 整合性があり、相互補完ないし相互波及効果が見られ、有効である。

(0) 重複や相互阻害が見られ、効率の面から問題がある。

(0) 相互の関係はあまりない。

コメント：

A7. 他のドナーあるいはセネガル自身による他のプロジェクトとの整合性はあるか。重複ないしは競合関係はないか。

- (2) 整合性があり、相互補完ないし相互波及効果が見られ、有効である。
- (0) 重複や相互阻害が見られ、効率の面から問題がある。
- (0) 相互の関係はあまりない。

理由/コメント：

B. 有効性（「プロジェクト目標」は、協力期間終了時（2007年7月30日）までに達成されるか。「成果」は「プロジェクト目標」達成のために、どの程度貢献できるか）

B1. 現在までの進捗状況から判断して下記プロジェクト目標「プロジェクト対象サイトでの活動を通じ、持続的な水利用体制が確立される」は全体として期限までに達成されると思われるか。

- (0) 予期した以上のレベルで達成されるであろう。
- (2) ほぼ期待したレベルで達成されるであろう。
- (1) 期待レベルには届かないが一応達成といえるレベルには届くであろう。
- (0) 目標達成というレベルにはとどかないであろう。

コメント：

B1-1. PDM ではプロジェクト目標の達成度をはかる指標として以下の2項目を定めています。これらの指標の達成見込みにつき以下お答えください。

指標1. 2006年までに20サイト以上が運営維持管理能力評価で最優良又は優良と判定される。

- (0) この指標は終了時までに達成できると確信する。
- (2) この指標は終了時までに達成できるか否か微妙である。
- (0) この指標は終了時までに達成困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

指標2. 各サイトで給水停止となる施設事故の発生頻度が減少する。

- (0) この指標は終了時までに達成できると確信する。
- (2) この指標は終了時までに達成できるか否か微妙である。
- (0) この指標は終了時までに達成困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

B1-2 上記指標はプロジェクト目標の達成度を計る指標として適切か。なお、適切な指標とはできるだけ少ない指標でプロジェクト目標の達成度を端的に表すものであること、プロジェクト実施者にとって定期的にその時点での現在値が容易に得られ、進捗管理に活用できること、（現在値が簡単に答えられないというものがあればそれはあまり適切な指標とはいえない）できるだけ客観的であること、できれば数値化（定量化）できるものであること、数値化が困難で定性的指標の場合もできれば YES/NO で簡単に答えられるものであること等が求められます。たとえば能力レベルが指標である場合は、試験の点数や施工実績数等で数値化するか、あるいは何々ができるレベルに到達したかといった YES/NO で答えられる形が望まれる。

- (0) 上記2項目が達成されればプロジェクト目標は達成されたといえ、適切な指標と考える。
- (1) 上記2項目が達成されてもプロジェクト目標が達成されたとはいえ、他にも重要な要素がある。以下に指標の代替案（追加案）を提案する。
- (0) 上記2項目が達成されればプロジェクト目標は達成されたといえるが、データ入手が困難で進捗管理には活用できない。以下に指標の代替案を提案する。

代替案、その他コメント：

B2. プロジェクトにおける「成果」はそれが達成すれば、上記「プロジェクト目標」が達成するように設定されているか。過不足はあるか。

B2-1 全ての成果はプロジェクト目標の達成に有効に貢献するように設定されているか。（不要あるい

はあまり効果がないと見られる成果は含まれていないか)

(2) 全ての成果はプロジェクト目標の達成に有効に貢献すると見られる

(0) 不要あるいはプロジェクト目標達成にあまり貢献しないものが含まれている。

理由/コメント：

B2-2 成果はプロジェクト目標を達成するために十分であるか。プロジェクト目標達成のために必要あるいは極めて有効な項目が欠けていないか

(0) 必要な成果は網羅されており、成果を全て達成できればプロジェクト目標は達成できる。

(0) プロジェクト目標達成に必要なあるいは極めて有効なものが欠けている。

理由/コメント：

B3. PDM では、成果が達成された上で、プロジェクト目標が達成されるために必要な外部条件として「大規模な早魘が発生しない。」ことを挙げている。この条件は満たされる見込みか。

(1) 現時点までに大規模な早魘が発生しておらず、プロジェクト目標達成への影響はなさそうである。

(1) 中小規模の早魘が発生し、プロジェクト目標達成にある程度の影響がある。

(0) 既に大規模な早魘が発生し、プロジェクト目標達成に大きな影響を与えている。

コメント：

B4. 上記 PDM に記載された外部条件以外で、プロジェクト目標達成に影響を与えた外部要因はあるか。

(1) プロジェクト内部ではどうしようもない外部阻害要因が発生し、目標達成を難しくしている。

(0) 外部阻害要因が発生したが計画内容（投入、活動、成果等）の改訂や実施の工夫により克服し目標達成への悪影響を最小限にとどめた。

(1) 特筆すべき外部阻害要因はないかあるいは合っても軽微であり、目標達成は可能である。

説明/コメント：

維持管理契約の締結。民間企業が関心を示さない。

B5. プロジェクト目標達成に対する「貢献要因」は何か。

B5-1 計画内容（PDM に記された投入・活動等）でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項は何か。

コメント：**実施途上の見直しが有効であった。**

B5-2 PDM には記載無いがプロジェクトの実施の過程で工夫した事等でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項はあるか。

コメント：**ASUFOR のみによる深井戸維持管理の代案の検討。**

B5-3 制度や規則の改定、民間の協力等プロジェクト外部の要因でプロジェクト目標の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項はあるか。

コメント：**地方政府の協力、受益者の参加、Reforme（改革）プランの試行。**

B6. プロジェクト目標達成に対する「阻害要因」は何か。

B6-1 計画内容（投入や活動の内容等）のなかでプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント：**維持管理契約の締結。**

B6-2 実施の過程においてプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分(プロジェクト内部の状況)があったか。

コメント：**なし。**

B6-3 プロジェクト外部の要因でプロジェクト目標の効果的、効率的達成を阻害するような事柄があったか。

コメント：**州政府当局による ASUFOR 登記事務の遅延。**

C. 効率性（投入/活動内容がどれくらい成果に結びついたか）に関する質問

C1. 成果の発現状況は適切か。

C1-1 PDM では、成果の発現状況をはかる指標として以下が設定されている。これらの指標について、ベースライン（プロジェクト開始直前あるいは直後の状況）、現在値（現時点でどこまで達成されたか）、終了時見込み（2006年1月末の状況予測）を下記ください。

なお、下記において終了時見込み値が目標値を下回る項目があればその理由をコメント欄に記載してください。（コメント欄にはそれ以外のコメントも自由に記載ください。）

成果 1. 行政、村落住民及び民間業者の連携による給水施設維持管理システムが構築される

指標 1-1. 対象サイトで軽微な故障に関する維持管理費が 100%水管理委員会の積立金から賄われる
（軽微な故障に関する維持管理費がほぼ 100%水管理委員会の積立金から賄われているサイトの数）

ベースライン：80%

現在値：80%

終了時見込み値：100%

コメント：

指標 1-2. 行政側は契約に基づいた水管理委員会と民間業者の役割に関する監理を行う

ベースライン：30%

現在値：50%

終了時見込み値：？

コメント：

指標 1-3. 対象サイトで民間業者との維持管理契約が締結される

ベースライン：4%（プロジェクト対象外を含む7全国の数字 40/1000）

現在値：同上

終了時見込み値：同上

コメント：

指標 1-4. 対象地域で行政側により、年に1回の割合で水質が検査される

ベースライン：行政側（DGPRE）により必ずしも定期的ではないが水質検査が行われていた。

現在値：同上

終了時見込み値：強化される。

コメント：

指標 1-5. 持続的な水利用体制の構築に必要なマニュアル（ドラフト）が作成される

ベースライン：なにもなかった。

現在値：PEPTAC マニュアルができています。

終了時見込み値：マニュアルがそろっている。

コメント：

成果 2. 水管理委員会が適正に運営される

指標2-1. 対象サイトで従量制により水料金が徴収される

（従量制により水料金が徴収されるサイトの数）

ベースライン：0（部分的・短期的な従量制の実施は対象外とした）

現在値：22/24

終了時見込み値：24/24

コメント：

指標2-2. 対象サイトで水料金徴収率が80%以上となる

（水料金徴収率が80%以上となったサイトの数。）

ベースライン：30%

現在値：90%

終了時見込み値：100%

コメント：

指標2-3. 対象サイトの水管理委員会で銀行口座が開設される

（銀行口座が開設されたサイトの数）

ベースライン：8/24
現在値：23/24
終了時見込み値：24/24
コメント：

指標2-4. 対象サイトで定期的に水管理委員会の活動が監査される
(定期的に水管理委員会の活動が監査されるサイトの数)

ベースライン：0
現在値：22/24
終了時見込み値：24/24
コメント：

指標2-5. 全サイトにおいて事務局女性メンバーの割合が少なくとも1/3を占める
(事務局女性メンバーの割合が1/3以上を占めるサイトの数。)

ベースライン：8/24
現在値：24/24
終了時見込み値：24/24
コメント：

指標2-6. 代表委員会のメンバーが全サイトにおいて男女同数となる。
(代表委員会女性メンバーの割合が1/2以上を占めるサイトの数。)

ベースライン：0
現在値：1/24
終了時見込み値：24/24
コメント：

指標2-7. 選出された事務局、理事会メンバーの各会合出席率が男女とも80%を超える
(各会合出席率が男女とも80%を超える。)

ベースライン：
現在値：
終了時見込み値：
コメント：

成果3. 水利用ガイドラインに沿った水利用が行われる。

指標3-1. 対象サイトで、月1度の割合で井戸の揚水量が検査される
(月1度の割合で井戸の揚水量が検査されるサイト数。)

ベースライン：0
現在値：0
終了時見込み値：
コメント：

指標3-2. 対象サイトのオペレータと水管理委員が、水利用ガイドラインについて説明できる
(説明できるレベルにあるサイト数)

ベースライン：0
現在値：15/24
終了時見込み値：24/24
コメント：

成果4. 実証サイトにおける生産活動が多様化する。

指標4-1. 水管理委員会事務局が生産活動への資金援助を行う。

(資金援助実施サイト数。)

ベースライン：0
現在値：2/25
終了時見込み値：
コメント：

指標 4-2. 生産活動多様化プログラムに参加している営農・放牧畜グループ住民の収入が向上する
(収入が向上したサイト数)

ベースライン：0

現在値：2/25

終了時見込み値：

コメント：

成果 5. 対象サイト住民の安全な水に係わる衛生慣習が改善される。

指標5-1. 各サイトのシネバス上映会に一定以上の住民が参加する

(シネバス上映会実施サイト数)

ベースライン：0

現在値：24/25

終了時見込み値：

コメント：

指標5-2. インパクト調査を通じて住民の保健衛生意識が向上する

(住民の保健衛生意識。なおインパクト調査のデータを提出ください。)

(シネバス上映会実施サイト数)

ベースライン：0

現在値：24/25

終了時見込み値：

コメント：

C1-2 上記の指標目標値は適切でしょうか、不適切と思われる項目があれば、その理由等を含め下記下さい。

コメント：

販売した水量/揚水量：この指標で給水ネットワークの改善がはかれる。

C2. プロジェクトの活動について。

C2-1 PDM に設定された活動項目は成果を達成するのに適切であったか（過不足などは無かったか。成果達成のためにあまり効果のない活動はなかったか、あるいは重要な活動が欠けており、記述されていない活動を、補完的に行ったりしたか）。

(2) 適当(必要・十分)であった。

(0) 不要あるいはあまり効果のないものが含まれていた。

(0) 必要あるいは極めて有効な項目がかけていた。

理由/コメント：

PDM に設定された活動項目は、成果を達成する上で過不足はなく適切であったと判断される。

C2-2 活動はタイミングよく実施されたか。

(1) タイミングよく実施された。

(0) タイミングに問題あった。

理由・コメント：

C3. 活動に必要な投入は質・量・タイミングに問題なく実施され、成果の達成に有効に貢献したか。

(以下該当箇所に X を記入ください)

C3-1 セネガル側の投入

C3-1-1 C/P の配置

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
人数		X	
専門分野		X	
配置のタイミング		X	
技術力		X	
コミュニケーション力		X	

コメント：

5分野、計9名が配置された。人数、分野、タイミング、技術力、コミュニケーション力とも概ね適切であった。

C3-1-2 補助要員（経理、秘書、運転手、通訳等）の配置

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
人数			
能力・質			
タイミング			

コメント：

配置されなかった。

C3-1-3 プロジェクト拠点における日本人専門家の執務室

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
面積		X	
質		X	
タイミング		X	
場所		X	

コメント：

C3-1-4 研修施設

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
面積		X	
質		X	
タイミング		X	
場所		X	

コメント：研修施設：カオラック、タンバクンダ及びブルガの3箇所を提供された。

C3-1-5 村落でのプロジェクト活動拠点

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
面積		X	
質		X	
タイミング		X	
場所		X	

コメント：村落でのプロジェクト活動拠点等：25サイトで提供された。

C3-1-6 運営コストの負担（オペレータ及び水管理委員に対する研修開催費、電気、水、電話設備などのプロジェクト運営費、執務に必要な備品等）

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
予算額			
支出のタイミング			

コメント：DEMの予算金額は長官しかわからない。

C3-2 日本側の投入

C3-2-1 長期専門家の派遣

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
人数		X	
専門分野		X	
派遣期間		X	
タイミング		X	
技術力		X	
コミュニケーション力		X	

コメント：

特になし

C3-2-2 短期専門家の派遣

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
人数		X	
専門分野		X	
派遣期間		X	
タイミング		X	
技術力		X	
コミュニケーション力		X	

コメント：

C3-2-3 C/P の日本研修

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
人数		X	
研修内容		X	
研修期間		X	
タイミング		X	
研修生の人選		X	

コメント：

C3-2-4 施設整備

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
施設の種類		X	
数、面積		X	
質、仕様		X	
タイミング		X	

コメント：

C3-2-5 機材供与

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
機種		X	
仕様		X	
数量		X	
供与のタイミング		X	

コメント：

C3-2-6 プロジェクト運営経費の支出

	適切であった	概ね適切であった	大いに問題あり
金額			
支出のタイミング			

コメント：わかりません。

C4. 活動から成果に至るまでの外部条件の設定は、現時点においても正しいか。外部条件の影響はあったか。

C4-1 PDM の外部条件「1. トレーニングを受けたオペレータが勤務を続ける」について

[0] 現在までのところ特に問題は生じておらず、予見しうる将来においても大きな問題はないと見られる。

[1] 現在までのところ特に問題は生じていないが終了時までには問題が生じる懸念がある。

[0] 既に問題が発生しプロジェクト活動に悪影響があった。

理由/コメント：

C4-2 PDMの外部条件「2. 経済活動推進のための市場が確保され続ける」について

[] 現在までのところ特に問題は生じておらず、予見しうる将来においても大きな問題はないと見られる。

[] 現在までのところ特に問題は生じていないが終了時までには問題が生じる懸念がある。

[] 既に問題が発生しプロジェクト活動に悪影響があった。

理由/コメント：

C5. 円滑に活動を実施し、成果を達成する上でプラスに働いた貢献要因について

C5-1 計画内容（実施機関や場所の選定、PDM に記された投入・活動の内容等）で成果の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項:

C5-2 PDM には記載無いがプロジェクトの実施の過程で工夫した事等で成果の達成に特に効果があった（あるいはあると思われる）事項:

セネガル側各 C/P 及び日本人専門家それぞれがコンスタントに業務に従事したこと

C5-3 制度や規則の改定,民間の協力,自然条件等プロジェクト外部の要因で成果の達成にプラスの効果があった（あるいはあると思われる）事項:

ある集落において対立関係にあった二つの民族間に神聖な同盟が成立したこと。

C6. 上記外部条件関連以外で、円滑に活動を実施し、成果を達成する上での阻害要因

C6-1 計画内容（実施体制や場所の選定、投入や活動の内容等）のなかで成果の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント:

C6-2 実施の過程において成果の効果的、効率的達成を阻害するような不適切な部分があったか。

コメント:

特になし

C6-3 プロジェクト外部の要因で成果の効果的、効率的達成を阻害するような事象があったか。

コメント:

特になし

C7. 類似プロジェクトと比較して、成果の発現度・プロジェクト目標の達成度は投入コストに見合ったものであるか。

C7-1 より低いコストで達成する代替手段は無かったか。同じコストでより高い達成度を実現することはできなかったか。

コメント:

特に思いつかない。

D. インパクト（プロジェクトを実施した結果、どのような正負の変化が直接的、間接的に現れたか）

D1. 上位目標の達成見通し。

D1-1 PDM では下記上位目標の達成度をはかる指標を以下の通り設定しています。これらの指標の達成見込みはどうか。

上位目標
1. 持続的な水利用体制普及のための行政能力が向上する。
2. 対象地域において住民の生活が改善される

指標1. 持続的な水利用体制の全国展開に向けた指針が示される。

- (1) この指標は既に達成されている。
- (0) この指標は5年以内に達成するであろう。
- (0) この指標は10年以内に達成するであろう。
- (0) この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）:

指標2-1. 水因性疾患数が__%まま維持される。

- (1) この指標は既に達成されている。
- (0) この指標は5年以内に達成するであろう。
- (0) この指標は10年以内に達成するであろう。

(0) この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。
コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

指標 2-2. 初等教育におけるドロップアウト率が__%まで減少する

- (1) この指標は既に達成されている。
- (0) この指標は5年以内に達成するであろう。
- (0) この指標は10年以内に達成するであろう。
- (0) この指標は10年以内に達成することは、困難と思う。

コメント（達成の可否を示唆する事実等があれば記載ください）：

D1-2 上位目標のインパクト

上位目標の達成によりセネガル国開発計画へのインパクトは見込めるか

コメント：

D1-3 PDM では上位目標達成のための外部条件として一項目「給水施設以外の公共サービスが維持される。」をあげている。これについての見通しはどうか。

- [1] 上記条件が満たされる可能性は非常に高い。
- [0] 多少問題はあるが概ね満たされると思われる。
- [0] 上記条件が満たされない懸念が高く上位目標達成が危ぶまれる。
- [0] なんともいえない。

コメント：

D1-4 プロジェクト目標が達成され上記外部条件が満たされれば上位目標は達成されるだろうか。他に上位目標を達成するために必要な要件があれば記載ください。

必要要件及びその要件が満たされる見込みに関するコメント：

上位目標は ASUFOR システムの一般化により達成されるであろう。

D2. 上位目標以外に何らかの正負のインパクト・波及効果が生じたか。横断的視点(政策、技術、環境、文化・社会、制度・組織、経済・財政面)で、プロジェクトはどの程度影響を与えたか。(あるいは与えそうか)

D2-1 政策の策定と法律・制度・基準などの整備への影響

影響度：[1] 大きい。[0] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-2 ジェンダー、人権、貧富、など社会・文化面への影響

影響度：[1] 大きい。[0] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-3 実施機関の人事・組織・予算等への影響。

影響度：[1] 大きい。[0] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-4 環境保護への影響

影響度：[0] 大きい。[1] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-5 技術面での変革による影響

影響度：[0] 大きい。[1] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-6 C/P 他プロジェクト関係者の意識や生活への影響

影響度：[0] 大きい。[1] 多少ある。[0] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-7 人種、民族、性別、宗教、社会的階層などの違いにより異なったプラス・マイナスの影響は生じていないか

影響度：[0] 大きい。[0] 多少ある。[1] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

D2-8 プロジェクト実施の結果環境汚染や女性の労働強化その他のマイナスインパクトは発生していないか。それを取り除くための方策は何か

影響度：[0] 大きい。[0] 多少ある。[1] ない。[0] 分からない。

理由/コメント：

E. 自立発展性（援助終了後、被援助国の機関・組織がどれだけプロジェクトの正の効果を維持することが出来るか。組織、財政、技術、人材育成など）

E1. 政策・制度面

E1-1 政策支援の継続性。

[1] 政府の「安全な水とコミュニティ活動支援」への支援は現状程度で推移する。

[0] 支援の増大が期待できる。

[0] 支援は今後低下する懸念がある。

コメント/ご意見；

E1-2 関連規制・法制度の整備予定

(1) 既によく整備されている。

(1) 整備のための作業が具体的に動き始めている。

(0) 関係者の念頭にはあるが、具体的動きはまだない。

(0) 現在そのような動きはほとんど見られない。

コメント/ご意見；

E2. 組織・財政面

E2-1 協力終了後も、プロジェクトのもたらした効果を継続・発展させていくための体制（組織、人材配置、予算配分等）整備の可能性はどうか。

E2-1-1 プロジェクトが対象としたサイトにおいて今後セネガル側だけで活動を継続していく体制はあるか。

(0) 十分できると思う。

(1) できるが強固ではない。

(0) 難しい。

コメント：

E2-1-2 プロジェクトが実施した手法や作成した教材に従ってセネガル側だけで対象サイトを拡大していく体制はあるか。

(0) 十分できると思う。

(1) できるが強固ではない。

(0) 難しい。

コメント：

E3. 技術面

E3-1 プロジェクトで用いられた技術移転の手法は受容されつつあるか。（技術レベル、社会的・慣習的要因など）

コメント：**ある。**

E3-2 資機材の維持管理は適切に行われているか。

コメント：**適切に行われている。**

E4. 社会・文化・環境面

E4-1 女性、貧困層、社会的弱者への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか。

コメント：**ない。**

E4-2 環境への配慮不足により持続的効果を妨げる可能性はないか。

コメント：ない。

E5. 上記のような側面を総合的に勘案して、自立発展性は高いのか、低いのか。

(1) かなり高い

(0) なんとかなる

(0) 自立発展性には不安が大きい。

コメント：

E6. プロジェクト終了後セネガル側が上位目標に向けての活動を継続する上で直面すると思われる主要な問題点は何か。

問題点：

1. 予算
2. 資材
3. 人材訓練

G. その他

G1. 本プロジェクトに対する感想、提案等何でも追記したい事柄をお書きください。

ご意見；

1. サイトの全般的フォローアップ
2. 民間の維持管理

以上

添付資料 7-3 面談記録

(1) 実施機関幹部・カウンターパート

カウンターパート面談メモ 1

日時：2005年11月7日 10:00

面談相手：Mr. Babou Sarr, le Directeur Exploitation et Maintenance

Mr. Moustapha Toure

面談場所：ダカール DEM 本部

面談者：監物

同席者：Mamadou Ndome (JICA Senegal)

要旨

- 従来セネガルにおいては、上下水道は大都市、村落を問わず政府の役割であった。大都市においては民営化が進行中である。
- 村落給水の維持管理に限っていえば、対象となる給水施設の数 は年々増加し、現在 1,023 箇所となっている。セネガル政府の財政事情もあり、この維持管理を担う DEM の職員数は逆に漸減傾向であり、また年間予算も過去数年継続して 5 億 5 千万 CFA フランと横這いである。
- セネガル政府は村落給水施設の建設、所有は政府の手に残したまま、その運営維持管理は 2007 年までに受益者による維持管理組合に移管し、政府の役割はその監理のみに限定する方針である。本プロジェクトは、村落給水改革計画 (Reforme) 推進に大いに貢献するものであり、日本の支援に感謝している。
- 類似プロジェクトとして、フランス及びベルギーによる ASUFOR 推進支援プロジェクトが進行しているが、他の類似プロジェクトは特定地域 (中部セネガル) において新たに給水網を建設するハード支援と新規受益地域において当初から ASUFOR の形成を義務づけてソフト支援が並行して行われているのに対して、JICA による支援は過去に JICA が無償資金協力により給水施設を建設し、DEM が維持管理を行っていた地域に対し、新たに政府の方針に沿った住民組織による維持管理を導入しようとしているものであるといった違いがある。これはどちらの方式が良いかという問題ではなく異なった状況に対して異なった対応となっているものであり、セネガルとしては、どちらにも感謝している。
- ただ、他のドナーにおいては中心村落から周辺村落への給水ネットワーク建設が同時に行われている利点があり、可能であれば JICA にも既存給水施設と周辺村落を結ぶ配水ネットワークの建設 (ハード) も同時並行して進めてもらえればより効果的である。

カウンターパート面談メモ 2

日時：2005年11月9日 8:00

面談場所：タンバクンダ維持管理本部

面談相手：Mr. Moussa DIOP, タンバクンダ維持管理本部長、セネガル南部給水施設担当カウンターパート

面談者：監物

同席者：吉川専門家、永沼専門家

概要：

- 全給水施設（手押しポンプを除き電動ポンプのみで全国 1,026 箇所）に対し 2007 年までに ASUFOR を導入し、DEM の役割を現在の維持管理、故障修理の実施部門から、監理・指導・教育・訓練の限定することは、セネガル政府の基本方針である。これに対し、中部セネガルではフランス等の支援がある。DEM タンバクンダ事務所が所管している地域では、一部 NGO の小規模支援があるが、外国政府機関による支援は JICA 支援の本件のみである。
- この3年間の JICA の支援は、大きな成果をあげた。日本人専門家とセネガル側カウンターパートの間には相互信頼が確立し、良好なチームワークが保たれている。
- JICA による支援は、日本が無償資金協力によって建設したサイトに限定されている。ASUFOR 導入は地区ごとにまとまって行う方が効率的であり、かつ経済的である。日本の援助は極めて効果的であるが、是非日本が建設したサイト（管内に 32 箇所）に限定せずタンバクンダ事務所の所管地域全体（サイト数 256）に拡大して欲しい。
- なお、現在の PEPTAC は比較的条件の良い新しいサイトに限定しているが、仮に日本が建設したサイトだけに限定しても、古いサイトに ASUFOR を導入する際にはリハビリもしくは近代化が必要になる。これも併せて支援して欲しい。
- 仮に日本の協力が現在実施されている 24 サイトで終了した場合、DEM にとっての最大の問題は、活動に必要な経費予算を十分につけてくれるかという懸念である。これら 24 サイトに対するフォローアップ活動は必要であり、重要であるが、巡回活動に必要なガソリン代すらまならないような予算では、せっかくこれまでやってきた努力の成果が後退する懸念がある。

カウンターパート面談メモ 3

日時：2005年11月9日 8:30

面談場所：タンバクンダ維持管理センター

面談相手：Mr. Amadou Sall, タンバクンダ維持管理センター長（BPF）（2005年8月グデリ維持管理センター長に配転）セネガル南部住民組織化担当カウンターパート

面談者：監物

同席者：吉川専門家、永沼専門家

PEPTAC により住民の組織化は進み、故障による給水停止時間は減少した。大成功といえる。現在タンバクンダ管内の給水場は電動ポンプによるもの、48 箇所、手動ポンプによるもの 272 箇所であ

るが、これを担当する維持管理センター常勤職員はセンター長、機械技師、運転手の3名のみで到底これまでのように修理業務を行うことはできない。

ASUFOR 普及はどうしても実現しなければならない命題であり、是非今年で終わらずに支援を継続して欲しい。また、支援の対象は新規サイトの拡大と既存サイトへのフォローアップとして欲しい。

カウンターパート面談メモ 4

日時：2005年11月9日 10:00

面談場所：Mbayen Negue サイト

面談相手：Mr. Abdou Wakhab Ndiaye, Chef de Base, de DPV, Notto 営農活動担当カウンターパート

面談者：監物

同席者：折田専門家、後藤専門家

そもそも井戸を掘った目的は、人間の飲料水の確保にあったが、水量が豊富で余っている地域における、余剰水を農牧業に使って収入増加を図ろうという住民の発想は、ごく自然なものに思えた。しかしこのプロジェクトに参加したことで、井戸水は高価なものであり、余っているからといって貴重な水をいくら使っても良いというものではないことを理解した。農業・水利省のなかでも、農業担当分野は水があるなら使えるだけ使って生産増加を図ればよいと考える人が多い。

このプロジェクトもある水は全部使って生産極大化をはかるものと思っていたが、実態は井戸水の使用を最小限に抑え、それでもやれる農牧業を見つけるプロジェクトであった。そしてそこに至る道路は日本が舗装してくれた。住民も理解したので初期の目的は達成されたと思う。今後はこの舗装道路のメンテナンスが必要であり、それも住民がやれるとは思う。しかし JICA（日本）には、何か問題がおきたときに相談できるよう、プロジェクトが終わっても専門家全員を引き揚げるのではなく、できれば一人は残してほしい。

カウンターパート面談メモ 5

日時：2005年11月12日 8:00

面談場所：ルガ維持管理本部

面談相手：Mr. Amadou Lamine Gassama, ルガ維持管理本部長, セネガル北部給水施設担当カウンターパート (2005年10月より)

面談者：監物

同席者：吉川専門家

- プロジェクトにより、ASUFOR は組織され、オペレータは訓練され、また生産活動多様化活動は ASUFOR にとっても資金源の一つになりつつある。
- ASUFOR の基本思想は井戸の管理を受益者に委託し、「自分のものは自分で面倒見る」との意識を持たせる点にある。サイトによってはこの意識が薄く、故障が生じても自分のものではないので長い間放置されていた例もある。

- JICA プロジェクトは、他の類似プロジェクトと比較して ASUFOR そのものの基本的考え方に差は無いし、アプローチや手法にも大きな差があるわけではない。最大の特徴は、他のプロジェクトに比して、少ないサイトが広い地域にバラついていることと、生産活動が取り組まれていることの二点にあると思う。他のプロジェクトが取り上げていない遠隔地や、生産活動に取り組んだ点は評価される。
- またプロジェクトにより供与された通信設備（FAX）や巡回指導用の車両は利用度が高く、ASUFOR の啓蒙・普及に大いに貢献している。
- プロジェクトにより整備されたルガ研修施設では、2004 年 3 月完成以降既に 5 回オペレータ研修が実施され、合計 54 名のオペレータが研修を受けた。
- 既に ASUFOR が順調に動きだしたサイトにおいても、当分の間は定期的なフォローアップ（巡回指導・管理）が絶対に必要である。プロジェクト終了後の最大の懸念は、フォローアップ活動に必要な予算が十分配分されるかにある。

カウンターパート面談メモ 6

日時：2005 年 11 月 12 日 12:00

面談場所：Thies BPF

面談相手：Mr. Ndiame Diop, 前ルガ維持管理本部長セネガル北部給水施設担当カウンターパート
(2005 年 10 月まで)

面談者：監物

同席者：吉川専門家

〔良かった点〕

- 政府の村落給水維持管理改革方針は、Reforme によって明確に示されている。このプロジェクトは、政府方針の具体化をテストするプロジェクトであった。
- ベルギーが類似プロジェクトをやっており、すでに ASUFOR と民間業者との契約まで締結済みで、形の上では完成した。しかし、できたことが実際に効果を見せるかはこれからである。
- 日本のプロジェクトは、住民指導を実際に行うことになるカウンターパート（SD, BPF）職員の CAPACITY BUILDING から開始している。彼らは訪日研修で学び、更に日本人専門家とチームを組んで協働実践活動を行うことにより、大いに力をつけた。
- また日本が供与した巡回用の車両や FAX 等の通信施設は、サイト、所管地方事務所、本部間のコミュニケーション改善に大きく寄与した。

〔問題点〕

- 日本のプロジェクトはサイト数が少なく、かつ遠隔地に点在している。この事は他がやれない地域にプロジェクトを広めた点で大いに意義があるが、維持管理整備委託契約を締結することになる民間業者にとってビジネス規模が小さくまたコストもかかり、魅力のないものとなっている。ベルギープロジェクトで契約した業者によると、ベルギー地区は狭い地域に多くの給水施設が集中しているので比較的低価格でも商売になるが、同一の価格レベルで日本地域に進出

することは拒否している。

- 一部の地域、特に北部牧畜地域では住民の合意形成が極めて困難である。まず住民が常に移動しており、居場所を追って集会を開くことが困難である上に、家畜の飲み水に従量制を適用する事に対する拒絶感が強い。

ベルギーでもこの対策には試行錯誤があったが、最終的に採用した家畜の水飲み場ごとに責任者を決め、当該水飲み場の一ヶ月の全給水量に水単価を乗じた額を当該責任者が責任をもって ASUFOR に納入し、それを利用者のなかでどう割り振るかは遊牧民集団にまかせる方式を採用した（一般には保有家畜頭数で割り振っている）。

〔今後の問題点〕

プロジェクトにより、対象サイトにおいては ASUFOR が形成され、活動を開始した。ASUFOR による維持管理体制を確固たるものにするために、今後当分の間は毎月の定期巡回フォローアップが必要である。フォローアップは主として BPF の役割である。対象サイト数は地域によって違うが平均すれば 50-60 箇所程度であり、一人の巡回員が 1 ヶ月に回れるサイト数は 15 箇所と見れば各 BPF に 3-4 名は必要となり、車両もその台数が必要になる。BPF 職員数、車両数は不足しており、さらに車両用燃料費が問題となる。

カウンターパート面談メモ 7

日時：2005 年 11 月 14 日 13:00

面談場所：ダカール BPF 本部

面談相手：Mr. Mass Niang, プロジェクトリーダー、啓蒙・普及（行政）担当カウンターパート

面談者：監物

PEPTAC は、村落給水改革に関する政府の方針に沿うものである。この方針は、以下の内容を含む。

- 水利用に関する住民のインフォーマルな組織は従来からあった。これを正式に政府が認証した法的な組織 ASUFOR を結成し、この組織が維持管理の主体となるものである。
- 政府が承認する条件としては、
 - ① 組織運営が規約に基づいた、しっかりしたものであること
 - ② 従量制料金設定がなされていること
 - ③ 銀行口座を開設し、修理費等に充当するため水代金を銀行口座に積み立てること
 - ④ 民間企業と維持管理契約を締結すること

が挙げられる。

PEPTAC では①②③は比較的順調に進んだが、④については遅れていた。その理由として法的存在であることを認める内務省の手続き遅延と、サイト数が少ない上に遠隔地に点在するため、能力のある民間企業が興味を示さなかった点にあるが、ルガを中心とした北部とタンバクンダを中心とした東部にサイトをまとめ、全国を 2 社にやらせる話が進行し、今週中にも北部で 1 サイトの契約が実現する見込みである。1 件できれば、あとはそれをパターンとして今後 1 年間に 12 サイト程度はできるのではないかと期待する。

(当方より、各地でのヒアリングではプロジェクト終了後の最大の問題点は何かとの質問に対し、フォローアップのための予算が付くかにありとの答えが多かった。については、本プロジェクト実施中のプロジェクト活動に対する予算実績はどうであったか、終了後フォローアップの予算は付くかと質問したところ、以下の回答)

プロジェクト期間中は人件費、土地建物、共益費といった固定経費については DEM 総務部の予算であり、プロジェクト別には計上していない。交通費、車両整備費、研修費といったプロジェクト固有の活動費については、他のプロジェクトにおいてもプロジェクト期間中はドナー頼りであって特に予算はない。終了後のフォローアップについては、例えば REGEFOR (フランスのプロジェクト) についてはプロジェクトが終わったが、2005 年度には全 350 サイト中の中核 102 サイトに対するフォローアップ予算 24 百万フランがついている。PEPTAC についても 2006 年度についてフォローアップ予算を要求している。

[PEPTAC の特徴]

(長所)

他のプロジェクトに無い、生産多様化活動により ASUFOR の収入増大が図られている点。

(短所)

他のプロジェクトが特定地域を面でとらえているのに対し、本プロジェクトは日本の無償協力のなかで 24 サイトを選定しており、サイト数が少なく、かつ遠隔地に点在しているため、効率が悪く、民間業者の興味を引きにくかった点。

カウンターパート面談メモ 8

日時：2005 年 11 月 14 日 14:00

面談場所：ダカール BPF 本部

面談相手：Ms. Aminata Gueye、啓蒙・普及(住民)、社会・ジェンダー配慮担当カウンターパート

面談者：監物

- 20 年間 DEM に勤務しているが、今回ほど短期間効果的に女性参加を実現した例は知らない。政府は ASUFOR 結成に際して女性が活動に参加することを進めている。しかし、村人は保守的でなかなか進まない。伝統的村落指導者や、宗教指導者は女性が話をしたいといっても会ってもくれず、女性参画推進は女性だけでやっても難しく、男性の参加が必要であるが、今回は日本のプロジェクトの用件で会いたいということ会って話を聞いてくれるケースがあった。無償資金協力により、日本は信用されていたからである。
- 村人は会議に出席し発言すること、報告書を書くことが嫌いである。PAPTEC の成果の一つとして村人が会議に出席し、発言し、報告書を書くようになったことが挙げられる。

カウンターパート面談メモ 9

日時：2005年11月14日 15:00

面談場所：ダカール NOVOTEL

面談相手：Mr.Mamadou Sarr, 水資源管理局 (DGPRES)、水資源担当カウンターパート

面談者：監物

PEPTAC に対する評価は POSITIVE である。プロジェクトがあるとないとに係わらず全国の水資源の量と質とを管理するのは DGPRES の責務であり、logistic を持たないにも拘わらずこのプロジェクトに参加した。

村人は科学的知識がなく、教えればメーターで測れるものを測って数値を連絡してくれる位はできると思うが、プロジェクトの基本でデータを集める段階ゆえ永沼専門家とともにサイトを回った。また DGPRES が持っているデータも提供した。

プロジェクトへの参加は有意義であった。

(2) 日本人専門家 面談

面談メモ 専門家 1

日時：2005年11月7日 11:00

面談場所：ダカール プロジェクト事務所

面談相手：石井専門家、総括・啓蒙普及 (行政)

面談者：監物

〔成功の要因〕

- 村落給水施設維持管理を国家の直轄から受益者による維持管理組合に移管し、国家の役割を指導・監理に限定することは、セネガル政府が策定したミレニアム目標達成計画や貧困削減戦略計画にも則った流れのなかにあり、セネガル政府の戦略に沿ったものであったことが成功の第一要因である。
- 同じ目標を目指し、異なったサイトで事業を実施していた他のドナー (フランス、ベルギー) によるプロジェクトとの連携が実現し、有益な情報 (現地民間維持管理業者情報、手法やツールの情報等) の交換が実現したことも本プロジェクトの特徴といえる。

〔苦勞した点〕

- カウンターパートの能力のバラツキ
- 中央と地方のバランス

面談メモ 専門家 2

日時：2005年11月7日 11:00

面談場所：ダカール プロジェクト事務所

面談相手：深井専門家、副総括／住民組織化

面談者：監物

〔成功の要因〕

● 住民参加

一般に住民参加型プロジェクトといっても、計画策定への住民参加にとどまっているケースが多い。本プロジェクトで推進している ASUFOR では、水料金の定額制から従量制への移行が大きな柱となるが、これは住民にとって痛みを伴うものである。住民総会で比較的短期間に納得してもらえたケースもあるが、長い時間をかけ、何回も説明、議論の結果やっと納得してもらえたケースもある。いずれの場合も納得の結果であり、水料金の不払いはほとんど発生していない。

● 現地語によるマニュアル、紙芝居等

仏語圏といっても誰もがフランス語に堪能な訳ではない。村落レベルでは日常住民が使用している現地語を使つての啓蒙・普及活動が極めて有効である。この点で専門家に JOCV のセネガル OB が多く、現地語でコミュニケーションできたこともプラスであった。

● 生産活動

生産活動を開始するにあたり、ASUFOR により組織とは、会計とは、資金とはといったことを経験したことがプラスになった。

〔苦勞した点〕

- 住民の痛みを伴うものである故、時間がかかる。
- 村落といっても単一民族ではない。定住民族と遊牧移動民族の混在、移動民族に住民集会に参加してもらうことは非常に困難である。
- 省庁の壁－実施機関 DEM は維持管理屋である。維持管理のハード屋にソフトをやらせることは容易ではない。

〔今後の課題〕

- 全国展開。1,000 余箇所の給水施設に対し、曲がりなりにも ASUFOR ができているところは約 40%に留まっている。残り 60%にどう展開するか。
- モニタリング

面談メモ 専門家3

日時：2005年11月7日 12:00

面談場所：ダカール プロジェクト事務所

面談相手：永沼専門家／水資源

面談者：監物

- セネガルは、アフリカ途上国のなかでは農業・水省の中に水資源局があることが示すように、水資源マインドは高い。
- この原因の一つには、首都ダカールの水資源問題があるからと思われる。従って水資源局でも、本省はよいが地方には人材がない。水質検査も本省から担当者が派遣されている（水質といっても検査項目は電気伝導度だけで十分）。
- 井戸の水位については、オペレータに対するモニタリングの指導を含む再訓練を開始している。

面談メモ 専門家4

日時：2005年11月8日 16:30

面談場所：Tambacounda

面談相手：吉川専門家 給水施設

面談者：監物

- 本プロジェクトの特徴
各サイトのオペレータを一箇所に集めた研修というのは、どこのプロジェクトでもやっているが、本プロジェクトでは専門家とカウンターパートがペアとなり、各サイトの現場でオペレータを中心に住民レベルまでの指導を実施しているところに特徴がある。
- 苦労した点
本プロジェクトで推進しようとした ASUFOR では、水料金の定額制から従量制への移行が大きな柱となる。
本プロジェクトでは、日本が過去に無償資金協力により施設を建設したところを対象としている。無償資金協力では原則として村落の中心に共同給水所を設置し、住民はバケツをもって給水所まで水をもらいに行くシステムであった。従って水道メーターも共同給水所に一個設置すればよいと想定していたが、実際に始めてみるとセネガルでは各戸給水が意外に普及していた。即ち彼らの自己努力で給水塔から各戸に配管していたために、メーターも各戸ごとに設置する必要が生じた。かつ、個別配管工事がてんでばらばらに実施されてために、使用されたパイプの径や継ぎ手、バルブ等の仕様も統一されておらず、適切なメーターの入手、設置に予想外に手間取った。
- 12月に専門家が引き揚げた後、セネガル側が直面すると思われる問題点

現在専門家とカウンターパートが共同で、終了を前にして対象全サイトの巡回フォローアップを実施している。この中で、各サイトの状況に応じてオペレータの再教育・指導を行っている。サイトの巡回フォローアップは今後とも必要であり、現在のカウンターパートは技術面では十分にそれを実施する能力があると見られるが、DEMの縮小を進めているセネガルがこのような人材をキープし、必要な経費予算（人件費、燃料代等）を配分できるか懸念される。

面談メモ 専門家5

日時：2005年11月8日 19:30

面談場所：Tambacounda

面談相手：井上専門家 生産活動多様化（営農）・ASUFOR 啓蒙普及・住民

面談者：監物

ASUFORの結成・運営については、地域の特性により簡単に住民合形成ができた場所と、合意形成が難しく何度も足を運び根気よくやって要約合意形成ができた場所がある。

特に移動牧畜民族の場合、行ってみたら相手がいらないというケースも多い。特に北部においては形式的には定住民族に見えても、男は季節によって家畜とともに草を追って移動し、留守宅には女性と子供しかいない出稼ぎ家族が多い。

合意の決め手は、

- (1) 今までは故障が発生するとDEMに修理を依頼した訳であるが、DEMは人員・予算に限界があり、迅速に修理にきてくれることが困難である。ASUFORにより積立金が貯まれば、それを使って業者から部品を買ったり、修理をしてもらったり委員会の活動により迅速な修理が可能となることを理解してもらう点にある。
- (2) 従量制への移行により、住民の負担は増加するため抵抗も大きいですが、その積立金の使途の透明化により住民が納得させることが重要である。
- (3) また民間契約では、45時間以内に修理するという条項が入ることになるがこれも魅力である。

以上により、住民にとって重要な水の安定供給ができる。

（水料金、それも従来より高くなる料金の不払いはでないか）

セネガル農村は大家族制である、親子孫三代同居は当たり前、時には四世代が同居している。家族の誰かが努めや出稼ぎに出ていたり、自らの農産物を売ったりで、家族に現金収入が皆無という例はまずない。家族の誰かに現金収入があれば、その中から大切な水への出費は優先される。

苦労の最大は他民族混住である。特に移動牧畜民族は、よほどタイミング良く会いに行かないと面談すらできない。

また定住民族でも周辺の状況を知っていて、よそでは水はもっと安いことを知っていたりすると難しい。この点でフランスは地域をまとめて同一料金設定を進めているが、JICAでは無償協力で建設したサイトの中で良好な状況にあるサイトを選定して行っているためサイトが点在しており、この点に関しては地域をまとめて一斉にASUFORに移行しようとするフランス方式が優れている。

点の広がりJICA方式よりは、面であるフランス方式の方が終了後のフォローアップも容易である。

面談メモ 専門家 6

日時：2005年11月11日 8:00

面談場所：Louga よりサイトへの車中

面談相手：折田専門家（生産活動多様化－牧畜）、後藤専門家（啓蒙・普及 2－住民）

面談者：監物

民族性は熱しやすく冷めやすい。容易に興味を持ってもらえるが、モチベーションが持続しにくい。結果が利益、楽しさといった目に見えた形で出ないと続かない。サイト選定については関与しなかった。プロジェクトとしては、日本の無償が入っているサイトで施設の維持管理状況が良好なところとの縛りがある。生産活動分野は、さらにその中で ASUFOR 活動状況の良好なところが選定されているため、来る前から決まっていたが、選定されたサイトの中でも自然条件、社会経済条件は一樣ではない。しかし比率の差はあっても、移動牧畜民族と定住農耕民族の利害不一致は一樣に存在する。

牧畜地域である Ndiayane は集落の近くにアルカリ度が高く、そのままでは飲用には不適だが、アルカリに強い作物には使える大きな水源があったので、その水を使つての牧草の栽培を始めた。これは牧畜民にとって乾期の飼料を確保するものであり、農耕民にとっては現金収入が得られるということで利害が一致している。

逆に水は雨期の雨水が給水塔からの貴重な水しかない Moukh, Moukhu では、徹底した節水農法を指導したが、それでも深井戸の水を使おうとした人からは ASUFOR 規定料金を徴収し、収穫物の価格と水代金を比較させ、如何に水が貴重かを懐の痛さで理解させた。

また、専門家が引き揚げた後の継続性を重視し、住民が自ら考えることを重視した。一応の説明をした後、忘れたり、理解できなかつたりして専門家に再度聞きに来た人には説明し、聞きに来ないひとはそのままにしておいたが、間違えた人の畑は見事に失敗した。失敗した後でなぜ失敗したかを住民集会で考えさせた。

また、導入する技術については地元で容易に入手できる材料・道具のみを使用するよう心掛けた（ペットボトルを使ったドリップ灌漑等）。化学肥料は使わず鶏糞や堆肥を使うようにし、また農薬の使用も極力抑えるようにしたが、市場に出すことを考えると無農薬農業は経済的に農薬多使用農業に勝てない。従って、売るのが主目的なら農薬を使い、自分で食べるのが主目的なら使わずにやってみよう、どちらにするか住民で相談して決めろと投げかけて、使わないことにした例もある。

結果として対象サイトでは、指導した範囲内での技術について住民はそれを習得し、専門家がいなくなっても彼らだけでやっていけるようになっている。対象地域は ASUFOR の優等生であることから、会計の透明性やマニュアルの重要性、合意形成の手法等は理解していることも成功の要因である。

最大の問題点は専門家のアサインが切れ切れであり、一旦指導したことが専門家の帰国により継続性を失わないかとの懸念であった。それをカバーするために、営農、畜産、さらに住民組織と名目的には担当分野が別々の専門家が担当分野にとらわれず不在中はカバーするように努力したこと、さらに畜産分野で派遣された JOCV 隊員にもプロジェクトの主旨を説明し、専門家不在中には住民の相談にのってもらえるよう連携を保ったこと等により、この懸念はカバーできた。